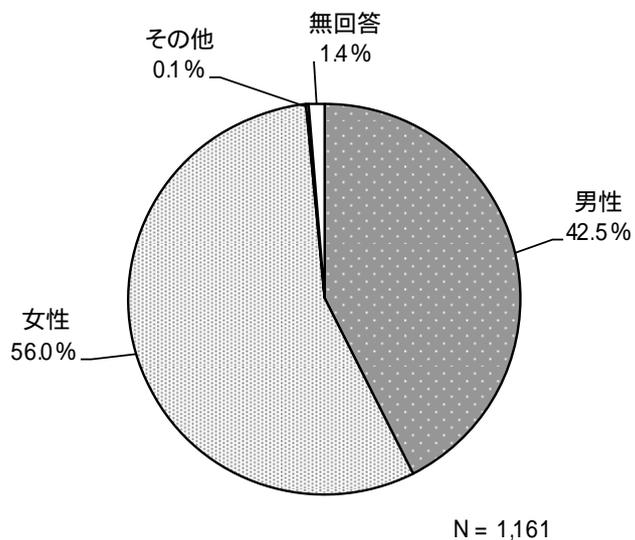


調査結果

(1) 回答者属性

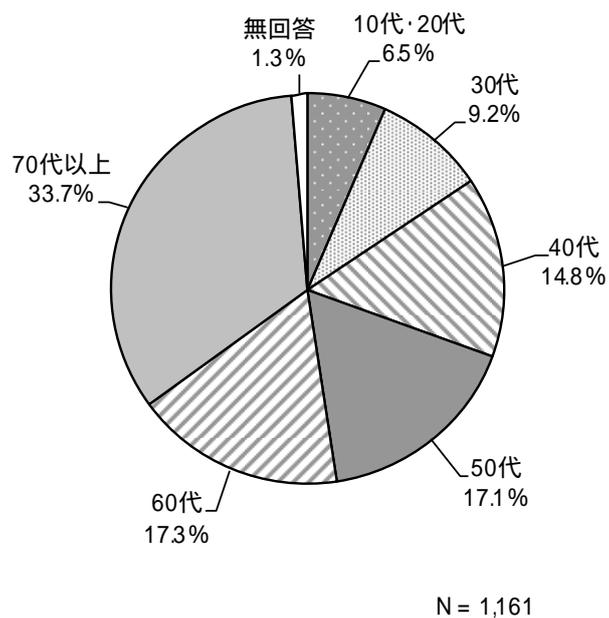
F 1 性別

「男性」の割合が 42.5%、「女性」の割合が 56.0%となっています。



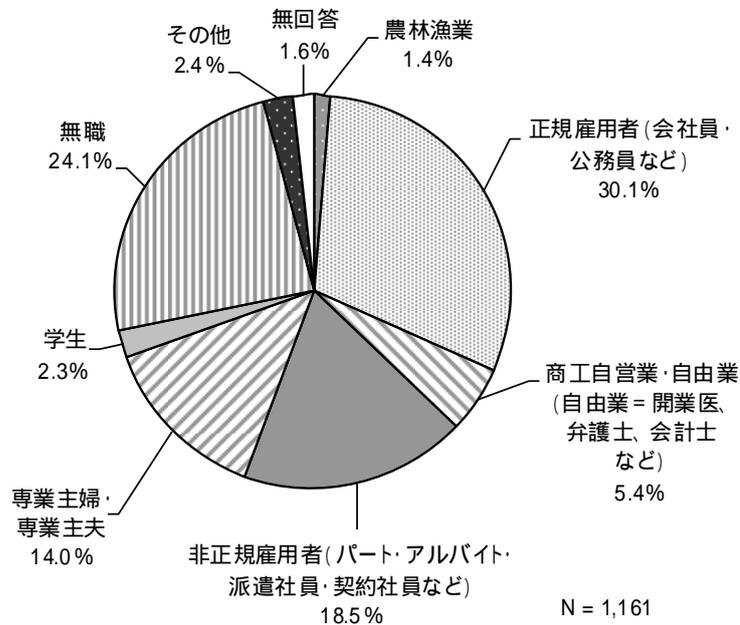
F 2 年齢

「70代以上」の割合が 33.7%と最も高く、次いで「60代」の割合が 17.3%、「50代」の割合が 17.1%となっています。



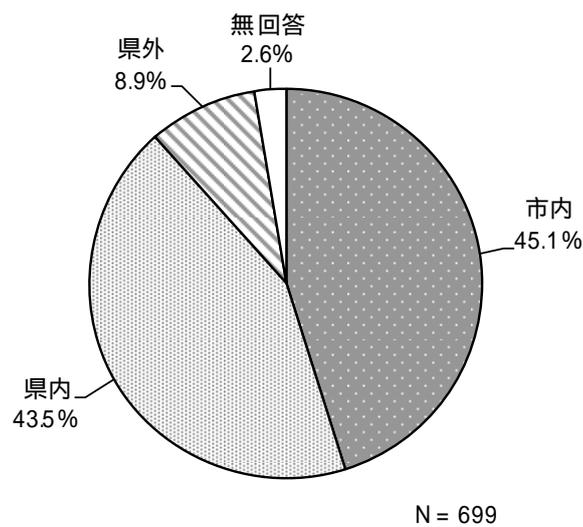
F 3 職業（主な職業にしてください）

「正規雇用者（会社員・公務員など）」の割合が30.1%と最も高く、次いで「無職」の割合が24.1%、「非正規雇用者（パート・アルバイト・派遣社員・契約社員など）」の割合が18.5%となっています。



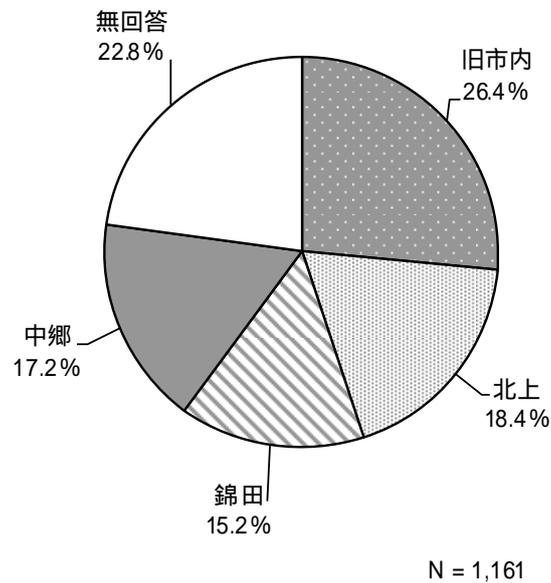
F 4 職場（通学地）の所在地

「市内」の割合が45.1%と最も高く、次いで「県内」の割合が43.5%となっています。



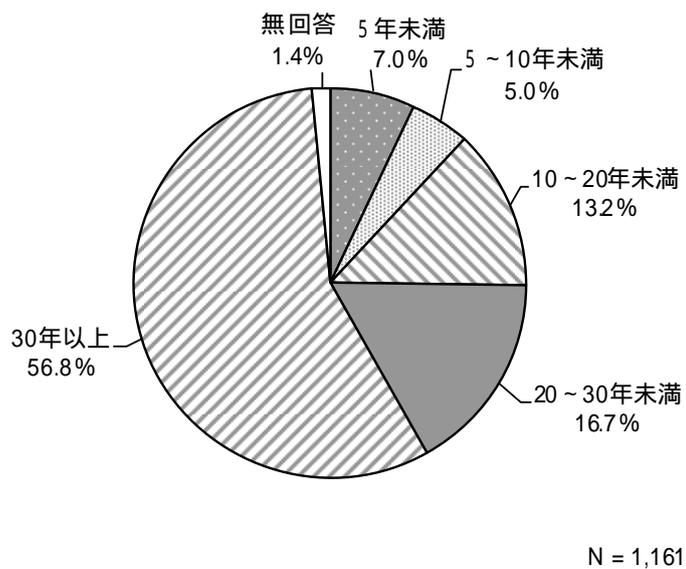
F 5 居住地区

「旧市内」の割合が26.4%と最も高く、次いで「北上」の割合が18.4%、「中郷」の割合が17.2%、「錦田」の割合が15.2%となっています。



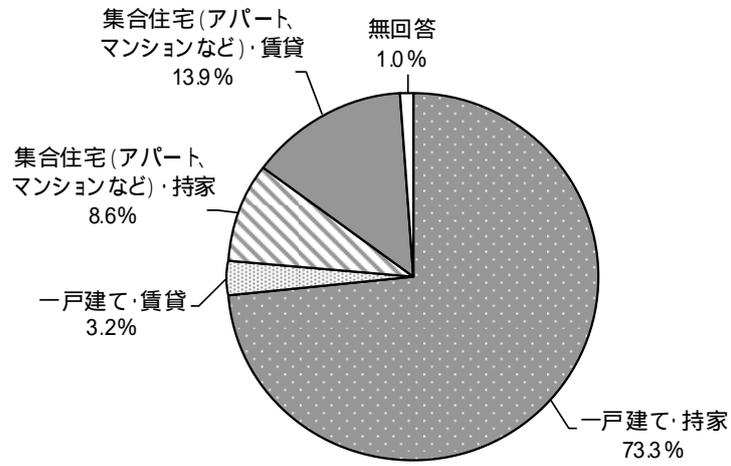
F 6 三島市在住歴

「30年以上」の割合が56.8%と最も高く、次いで「20～30年未満」の割合が16.7%、「10～20年未満」の割合が13.2%となっています。



F 7 お住まいの住宅

「一戸建て・持家」の割合が73.3%と最も高く、次いで「集合住宅（アパート、マンションなど）・賃貸」の割合が13.9%となっています。



N = 1,161

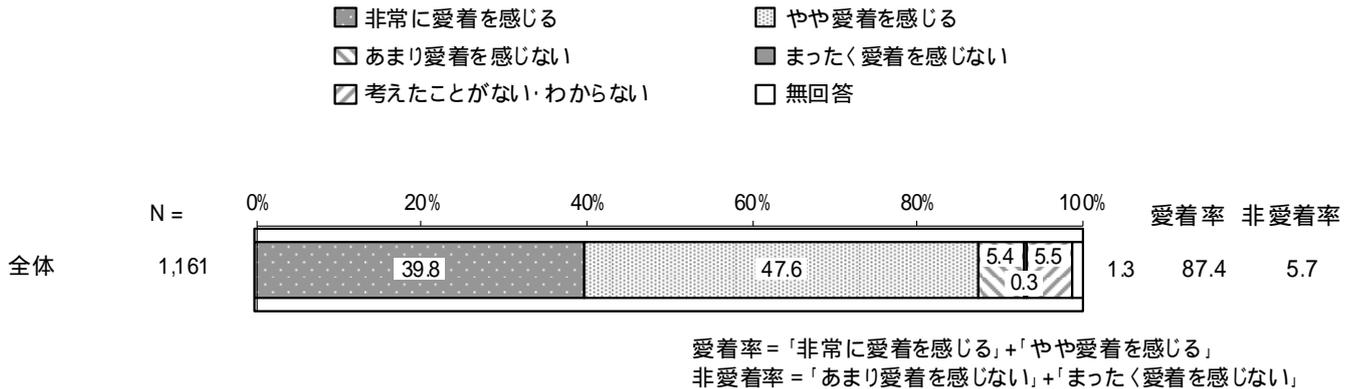
(2) 『居住環境』について

問1 あなたは、三島市に愛着を感じますか。(は一つ)

- “三島市への愛着率” は87.4% -

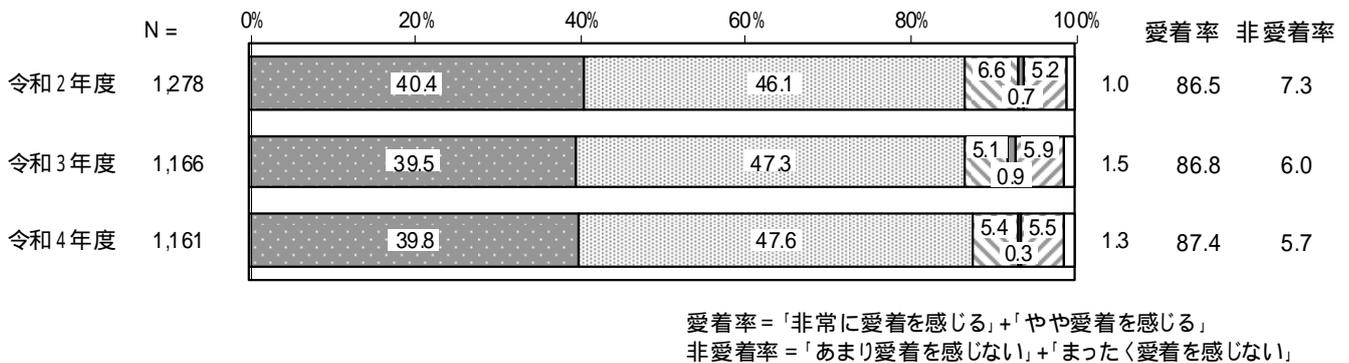
「非常に愛着を感じる」(39.8%)と「やや愛着を感じる」(47.6%)を合わせた“愛着率”は87.4%となっています。

「あまり愛着を感じない」(5.4%)と「まったく愛着を感じない」(0.3%)を合わせた“非愛着率”は5.7%となっています。



【経年比較】

時系列で見ると、大きな差異はみられません。

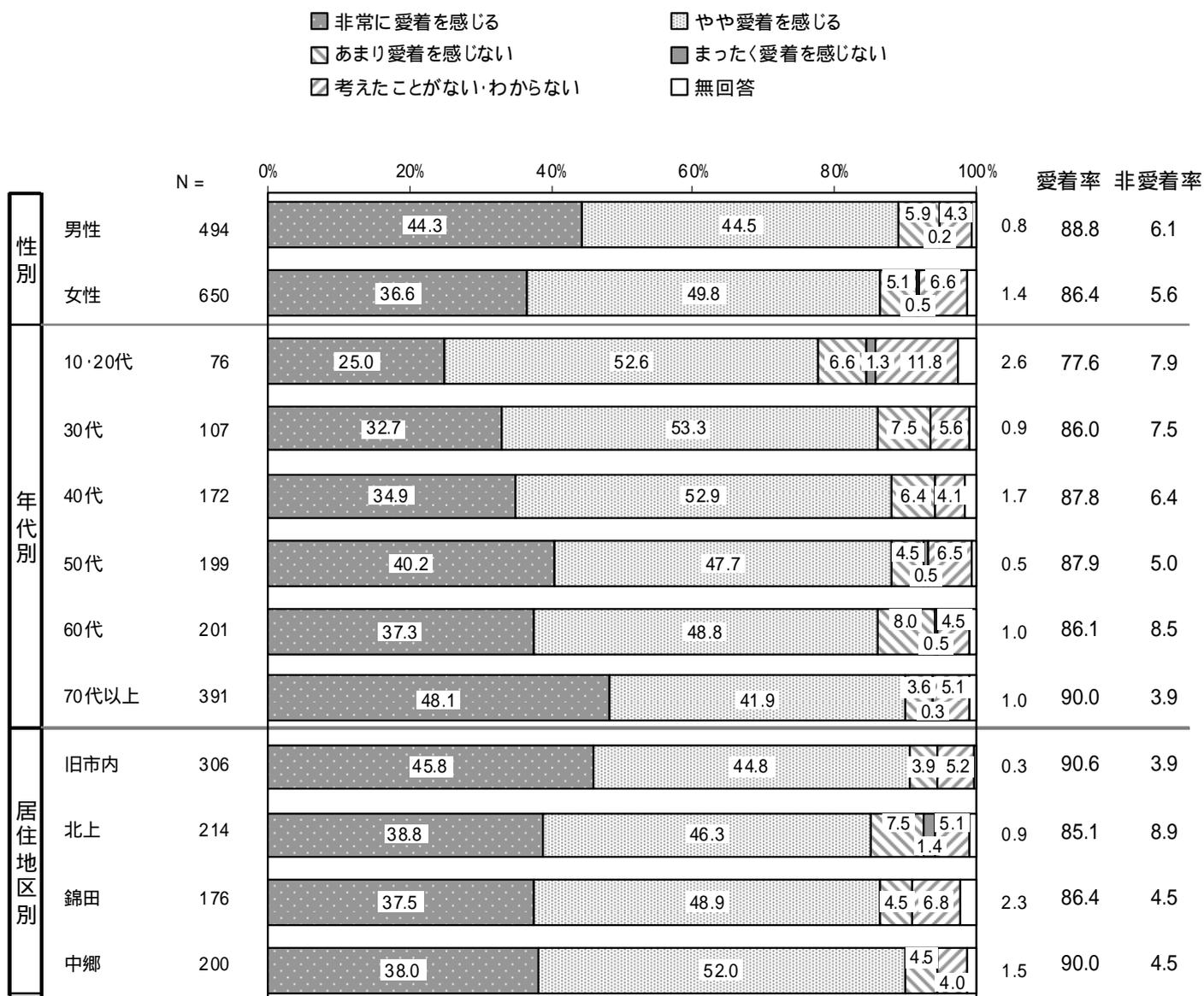


【属性別比較】

性別でみると、“愛着率”（男性 88.8%、女性 86.4%）は、大きな差異はみられません。

年代別でみると、“愛着率”は70代以上(90.0%)が、最も高くなっています。

居住地区別でみると、“愛着率”は旧市内(90.6%)が、最も高くなっています。



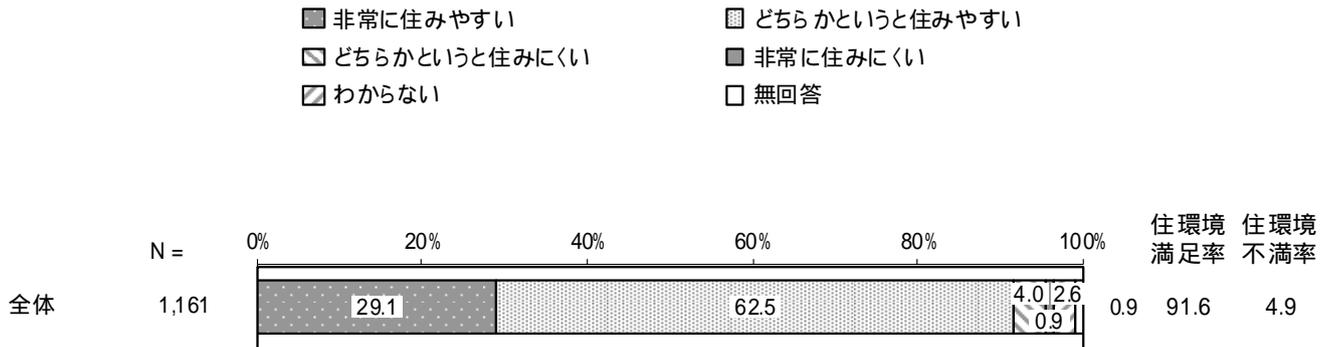
愛着率 = 「非常に愛着を感じる」+「やや愛着を感じる」
 非愛着率 = 「あまり愛着を感じない」+「まったく愛着を感じない」

問2 あなたは、三島市が住みやすいところだと思いますか。(一つ)

- 三島市が“住みやすい”と感じる人は91.6% -

「非常に住みやすい」(29.1%)と「どちらかというに住みやすい」(62.5%)を合わせた“住環境満足率”は91.6%となっています。

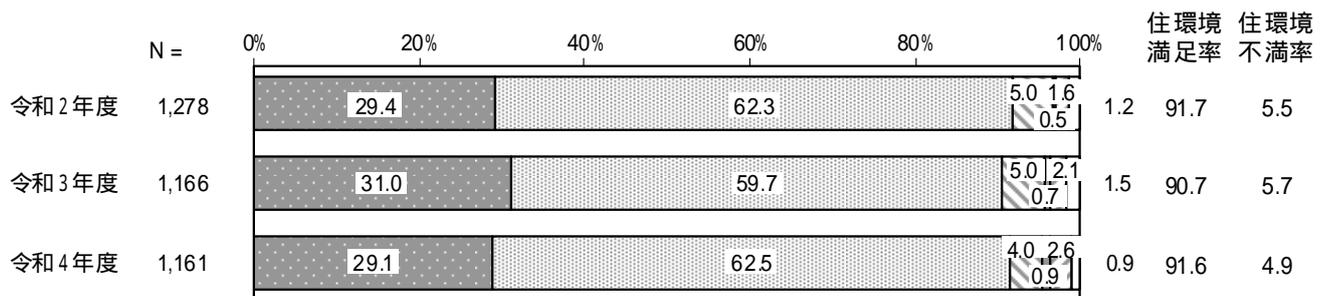
「どちらかというに住みにくい」(4.0%)と「非常に住みにくい」(0.9%)を合わせた“住環境不満率”は4.9%となっています。



住環境満足率 = 「非常に住みやすい」+「どちらかというに住みやすい」
 住環境不満率 = 「どちらかというに住みにくい」+「非常に住みにくい」

【経年比較】

時系列でみると、大きな差異はみられません。



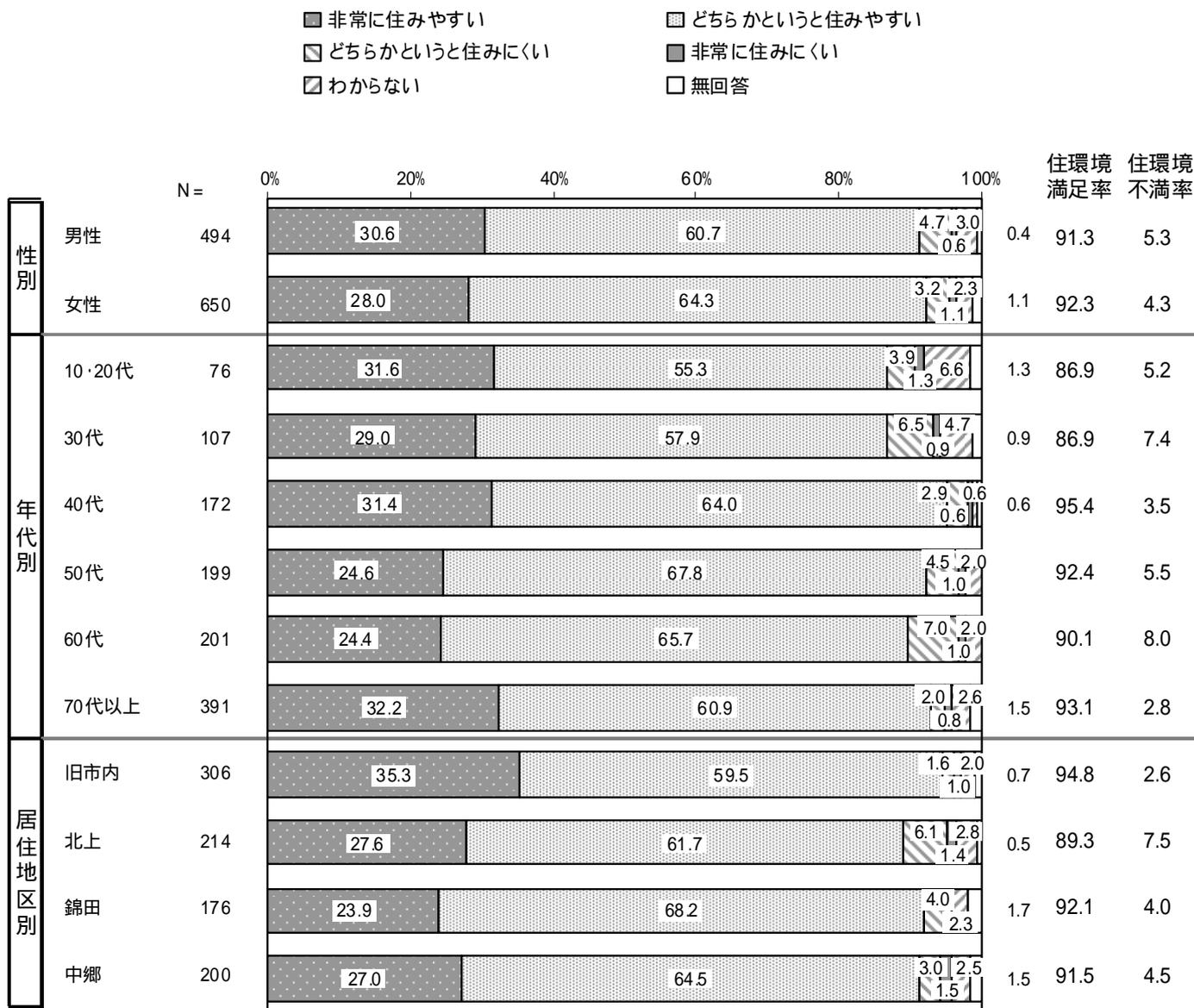
住環境満足率 = 「非常に住みやすい」+「どちらかというに住みやすい」
 住環境不満率 = 「どちらかというに住みにくい」+「非常に住みにくい」

【属性別比較】

性別でみると、“住環境満足率”（男性 91.3%、女性 92.3%）は、大きな差異はみられません。

年代別でみると、“住環境満足率”は40代(95.4%)が、最も高くなっています。

居住地区別でみると、“住環境満足率”は旧市内(94.8%)が、最も高くなっています。



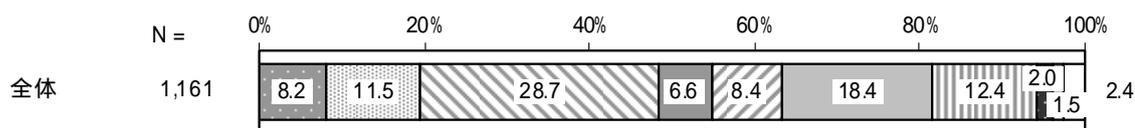
住環境満足率 = 「非常に住みやすい」+「どちらかという住みやすい」
 住環境不満率 = 「どちらかという住みにくい」+「非常に住みにくい」

問3 あなたは、三島市が将来どのようなまちになったらよいと思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。(は一つ)

- 三島市の将来像は「保健や医療、福祉の充実した優しさのあるまち」が28.7% -

「保健や医療、福祉の充実した優しさのあるまち」の割合が28.7%と最も高く、次いで「自然や環境に優しいやすらぎのあるまち」の割合が18.4%、「災害に強く安全で安心して暮らせるまち」の割合が12.4%となっています。

- 活発な産業・経済活動の盛んな活気に満ちたまち
- ▨ 歴史や文化を大切にした風格のあるまち
- ▧ 保健や医療、福祉の充実した優しさのあるまち
- 観光客が多く、商業が活性化した人が集まるにぎわいのあるまち
- ▨ 公園や道路、下水道などの生活基盤が整備されたまち
- 自然や環境に優しいやすらぎのあるまち
- ▨ 災害に強く安全で安心して暮らせるまち
- 考えたことがない・わからない
- その他
- 無回答



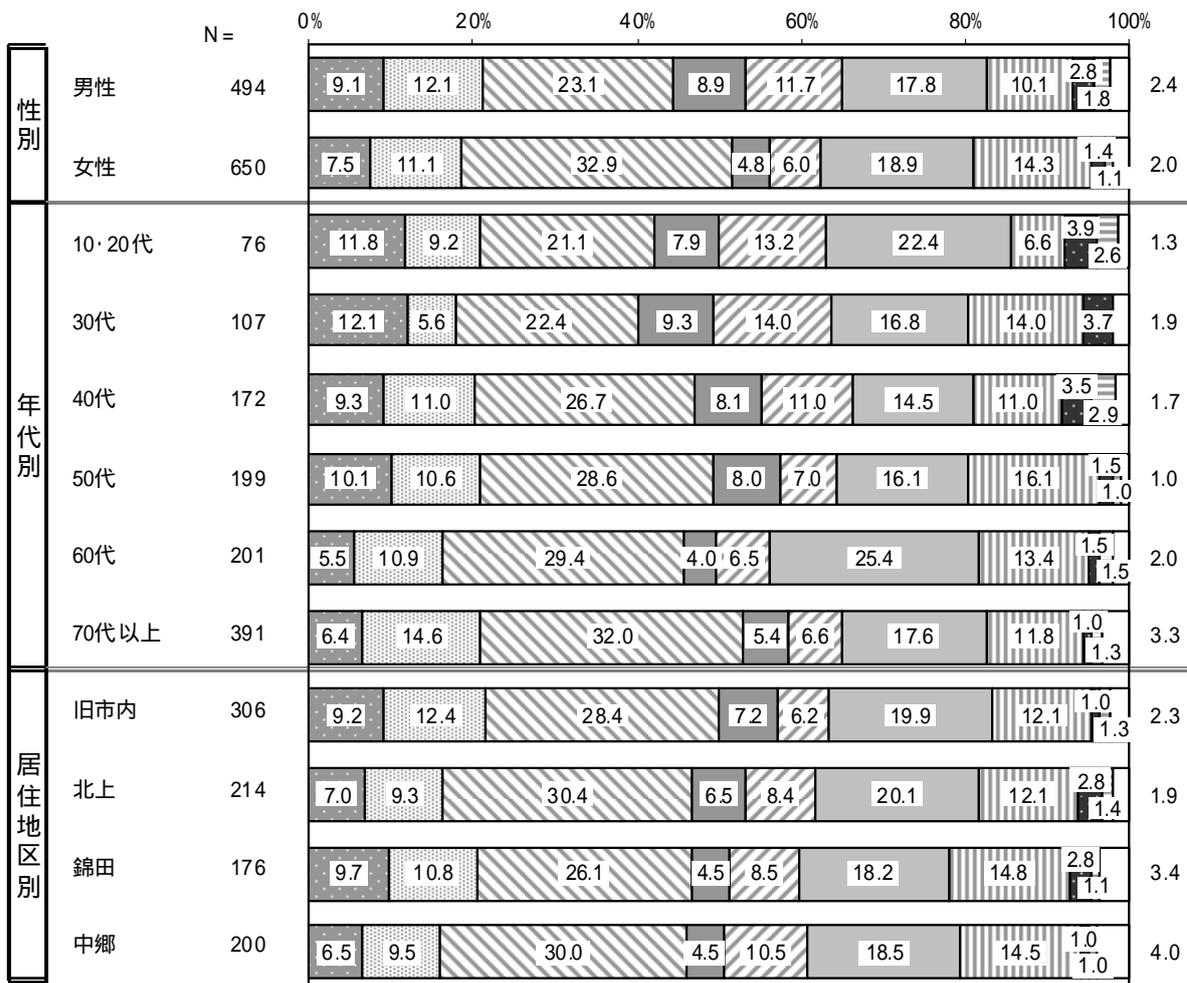
【属性別比較】

性別でみると、「保健や医療、福祉の充実した優しさのあるまち」は男性（23.1%）より女性（32.9%）の割合が、高くなっています。

年代別でみると、「自然や環境に優しいやすらぎのあるまち」は60代（25.4%）が、最も高くなっています。

居住地区別でみると、「保健や医療、福祉の充実した優しさのあるまち」は北上（30.4%）が、最も高くなっています。

- 活発な産業・経済活動の盛んな活力に満ちたまち
- ▨ 歴史や文化を大切にした風格のあるまち
- ▩ 保健や医療、福祉の充実した優しさのあるまち
- 観光客が多く、商業が活性化した人が集まるにぎわいのあるまち
- ▨ 公園や道路、下水道などの生活基盤が整備されたまち
- ▩ 自然や環境に優しいやすらぎのあるまち
- ▨ 災害に強く安全で安心して暮らせるまち
- 考えたことがない・わからない
- その他
- 無回答

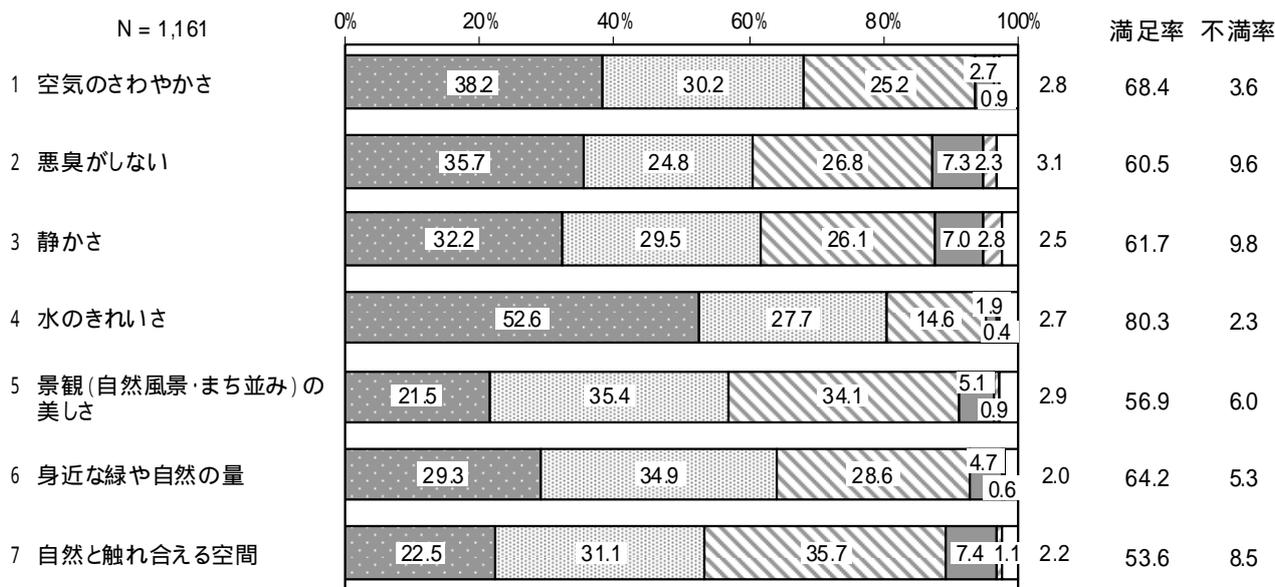


問4 あなたが住む地域の生活環境の満足度についてお答えください。1～7の項目ごとに該当する番号を選んでください。

- 生活環境の満足率で最も高いのは『水のきれいさ』で80.3% -

生活環境の満足度について聞いたところ、いずれの項目でも「満足」と「やや満足」を合わせた“満足率”が「やや不満」と「不満」を合わせた“不満率”を上回っています。

『4 水のきれいさ』で“満足率”の割合が高くなっています。

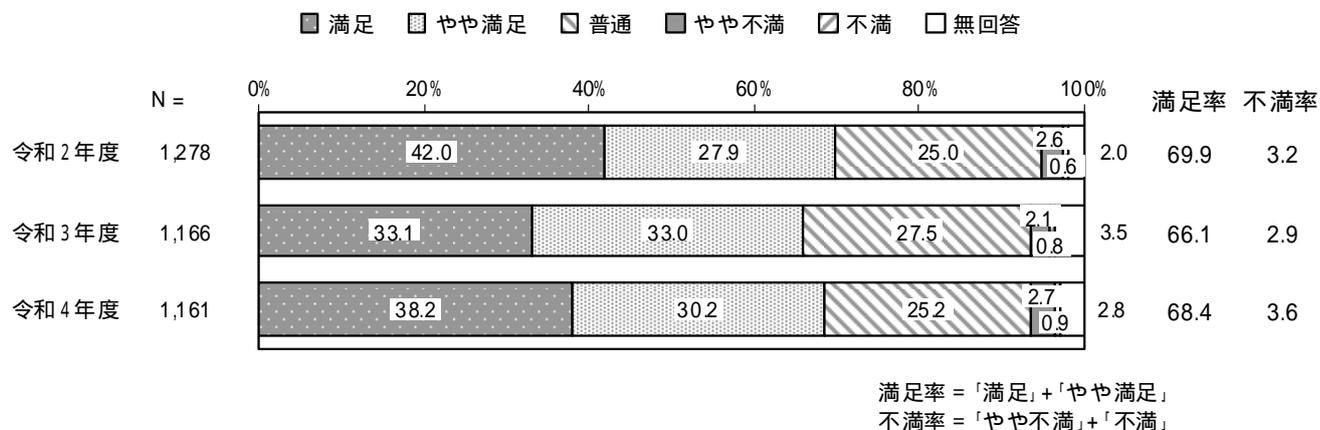


満足率 = 「満足」+「やや満足」
 不満率 = 「やや不満」+「不満」

1 空気のさわやかさ

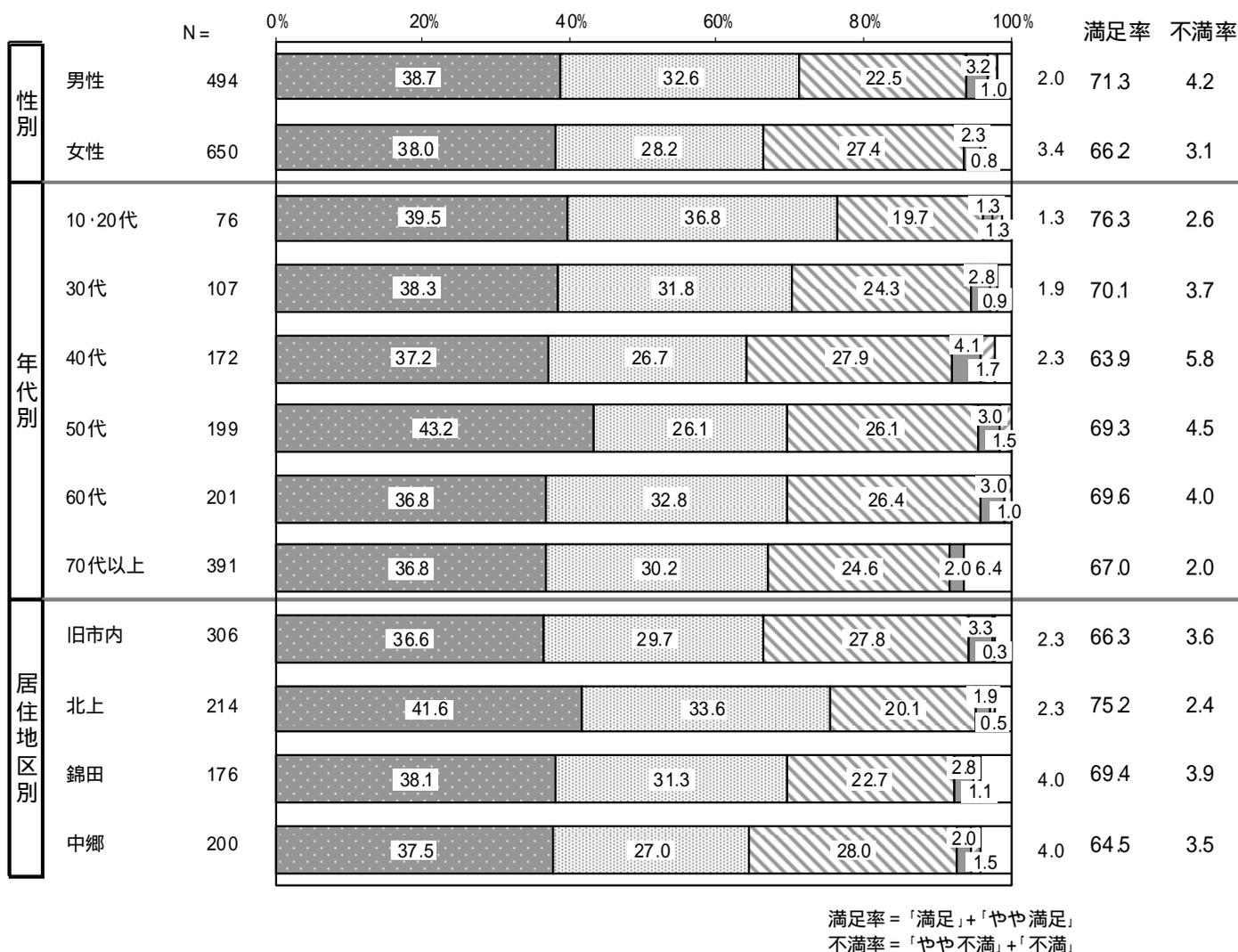
【経年比較】

時系列でみると、大きな差異はみられません。



【属性別比較】

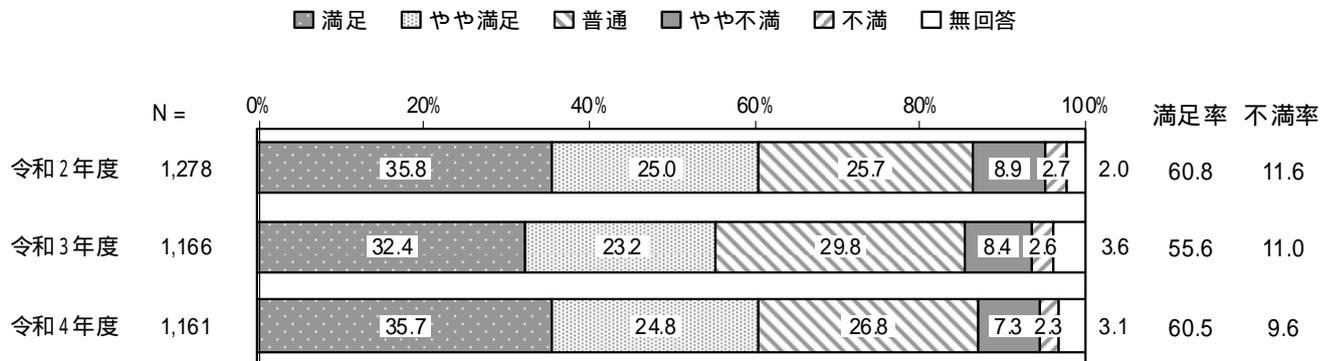
性別でみると、“満足率”は女性（66.2%）より男性（71.3%）の割合が高くなっています。
 年代別でみると、“満足率”は10・20代（76.3%）が、最も高くなっています。
 居住地区別でみると、“満足率”は北上（75.2%）が、最も高くなっています。



2 悪臭がしない

【経年比較】

時系列でみると、大きな差異はみられません。



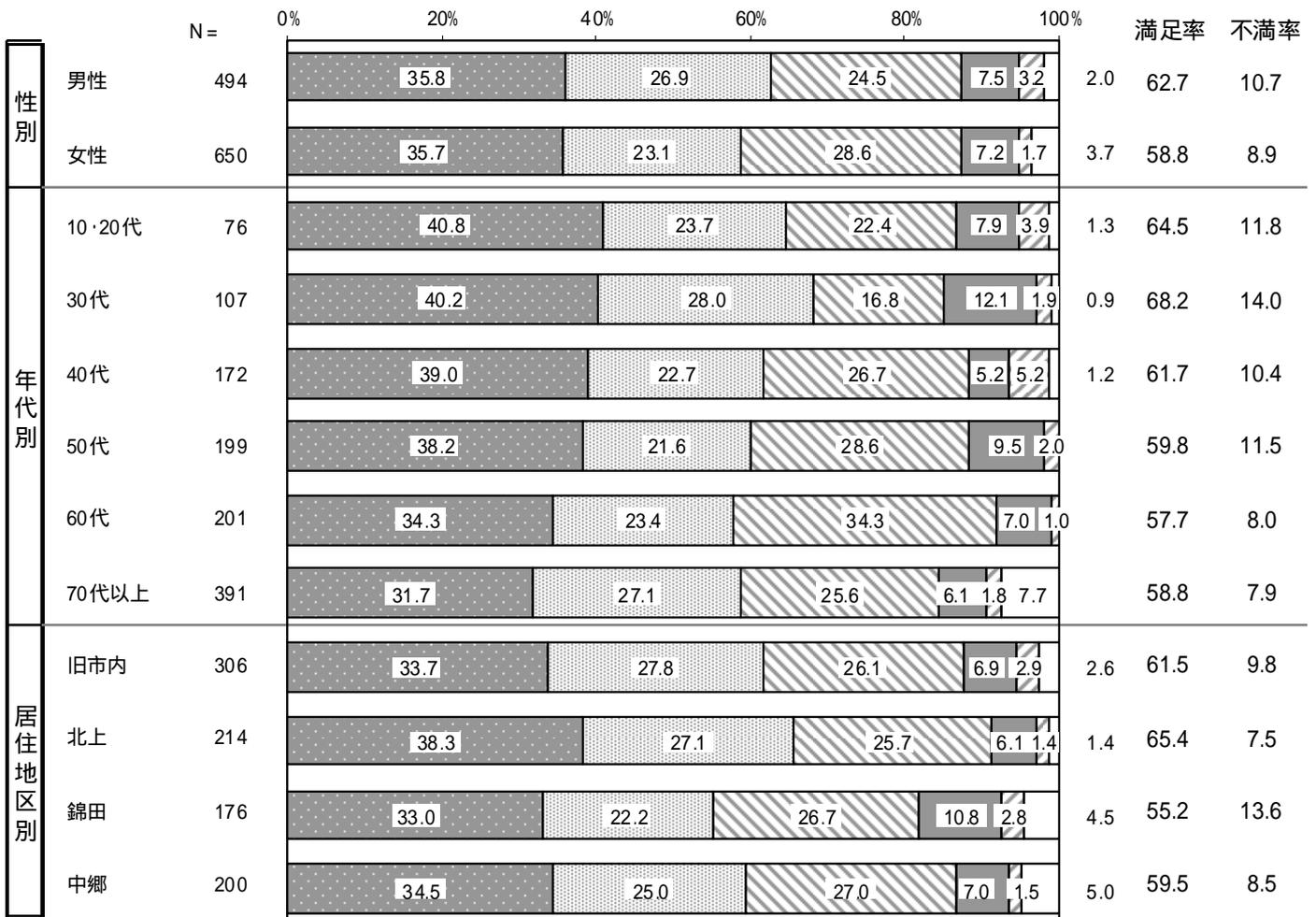
満足率 = 「満足」+「やや満足」
 不満率 = 「やや不満」+「不満」

【属性別比較】

性別でみると、“満足率”（男性 62.7%、女性 58.8%）は、大きな差異はみられません。

年代別でみると、“満足率”は30代(68.2%)が、最も高くなっています。

居住地区別でみると、“満足率”は北上(65.4%)が、最も高くなっています。

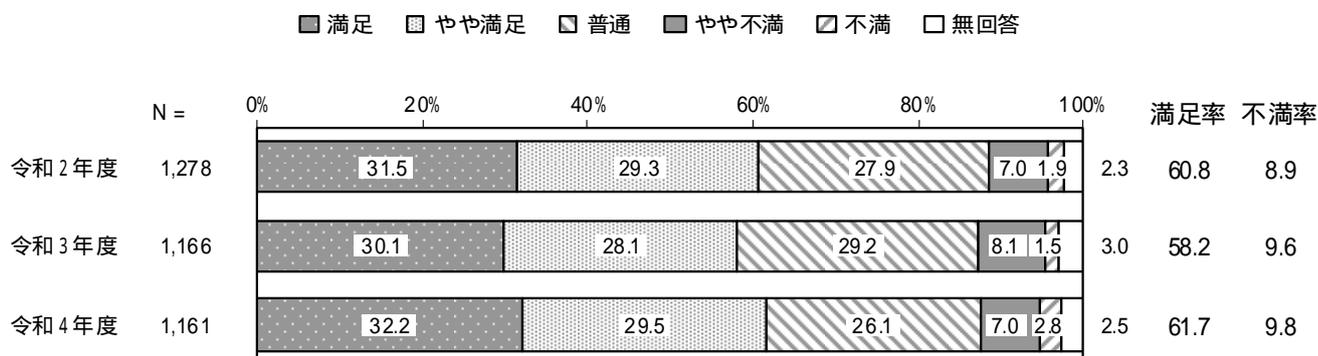


満足率 = 「満足」+「やや満足」
 不満率 = 「やや不満」+「不満」

3 静かさ

【経年比較】

時系列でみると、大きな差異はみられません。



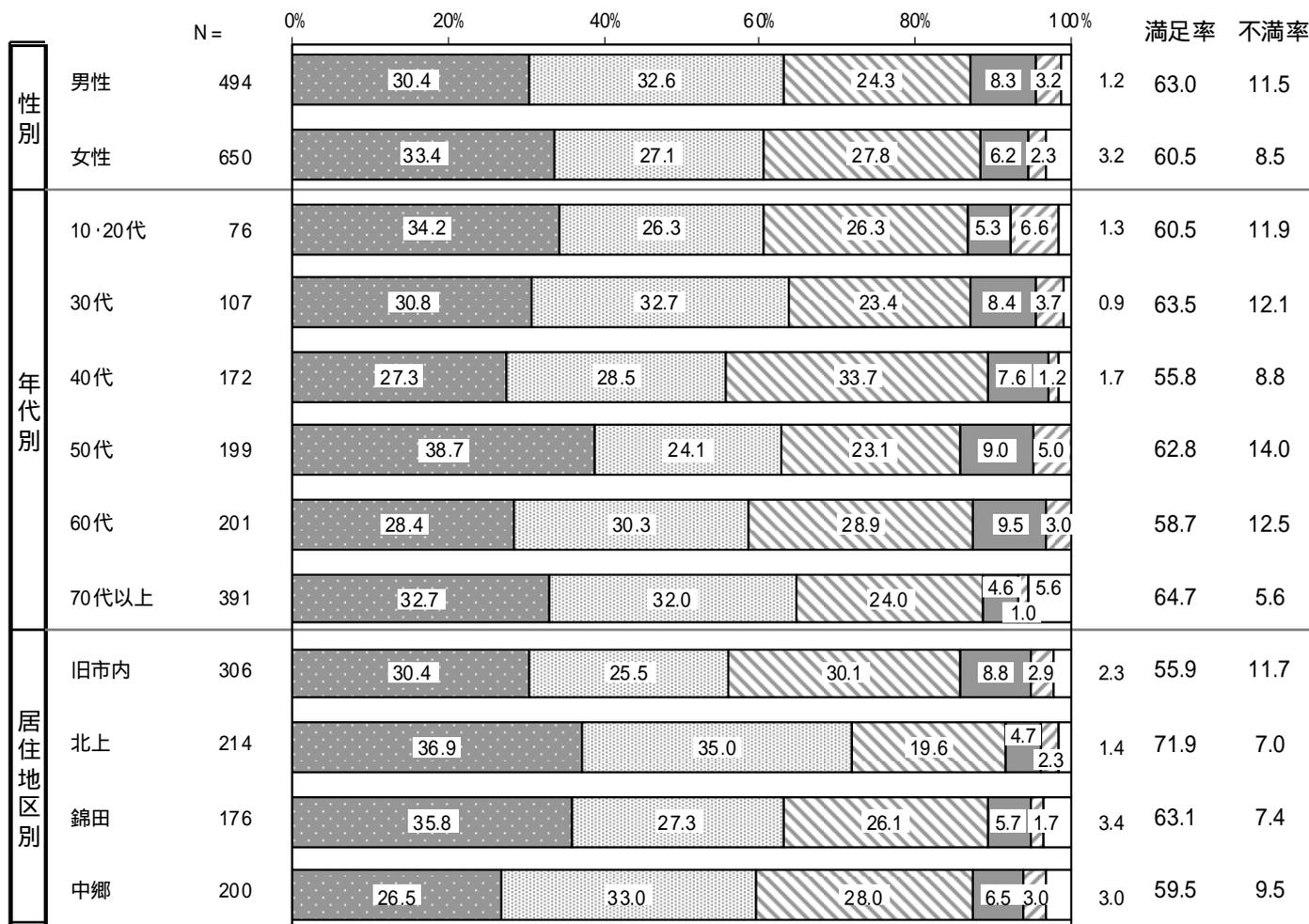
満足率 = 「満足」+「やや満足」
 不満率 = 「やや不満」+「不満」

【属性別比較】

性別でみると、“満足率”（男性 63.0%、女性 60.5%）は、大きな差異はみられません。

年代別でみると、“満足率”は70代以上(64.7%)が、最も高くなっています。

居住地区別でみると、“満足率”は北上(71.9%)が、最も高くなっています。

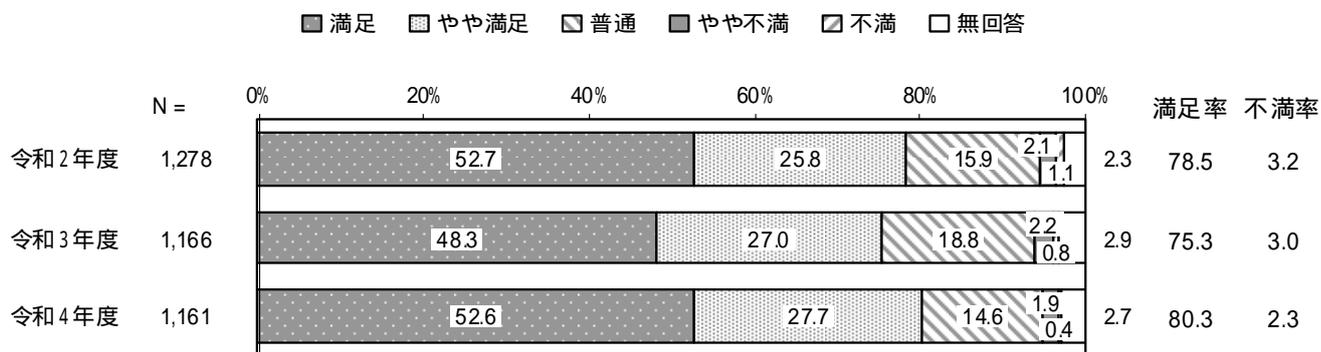


満足率 = 「満足」+「やや満足」
 不満率 = 「やや不満」+「不満」

4 水のきれいさ

【経年比較】

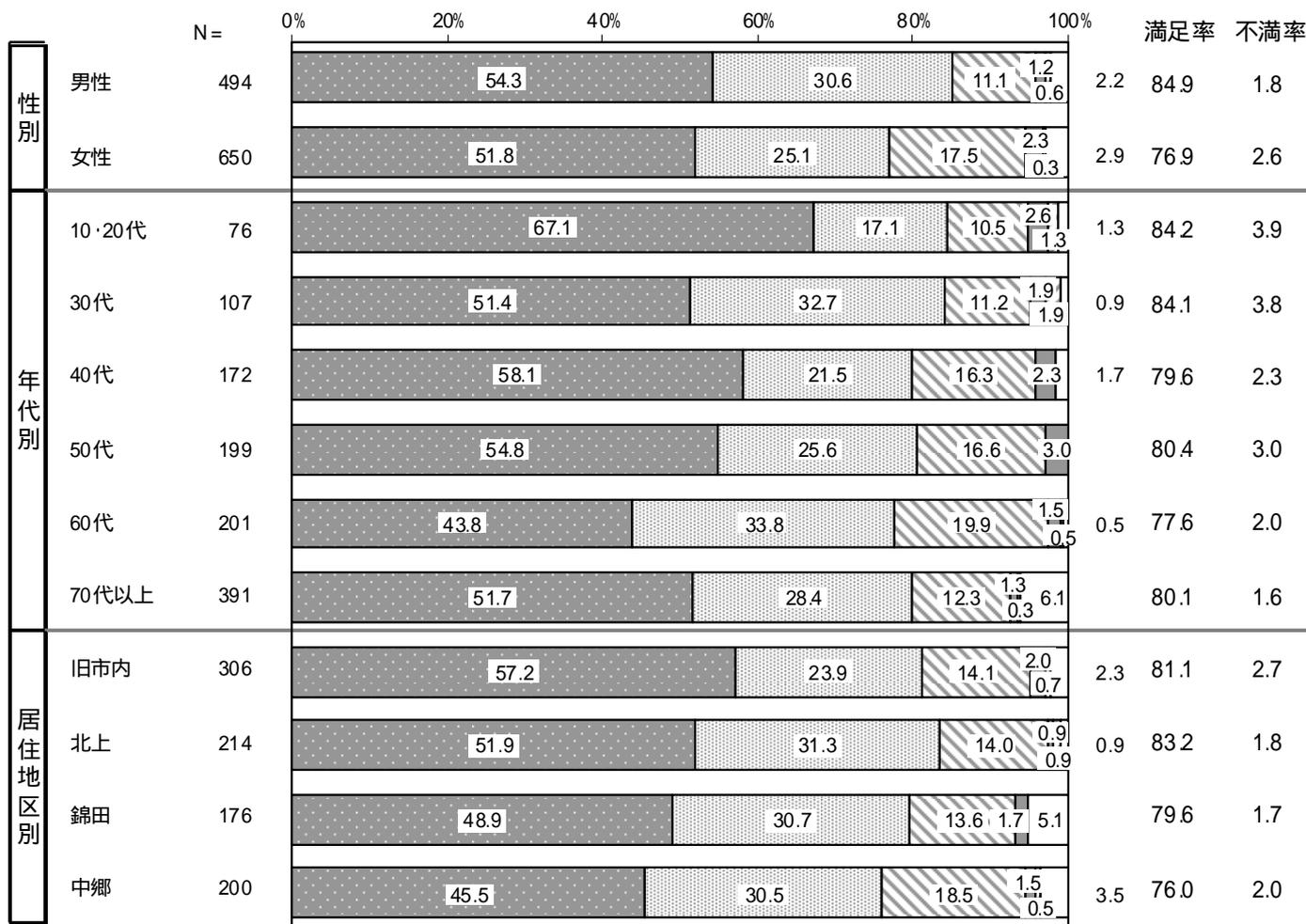
時系列でみると、“満足率”が増加しています。



満足率 = 「満足」+「やや満足」
 不満率 = 「やや不満」+「不満」

【属性別比較】

性別でみると、“満足率”は女性(76.9%)より男性(84.9%)の割合が高くなっています。
 年代別でみると、“満足率”は10・20代(84.2%)が、最も高くなっています。
 居住地区別でみると、“満足率”は北上(83.2%)が、最も高くなっています。

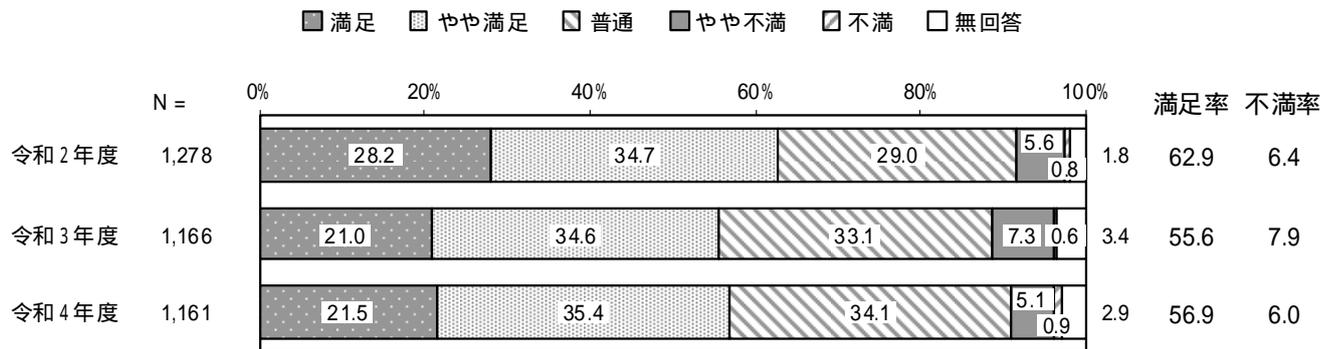


満足率 = 「満足」+「やや満足」
 不満率 = 「やや不満」+「不満」

5 景観（自然風景・まち並み）の美しさ

【経年比較】

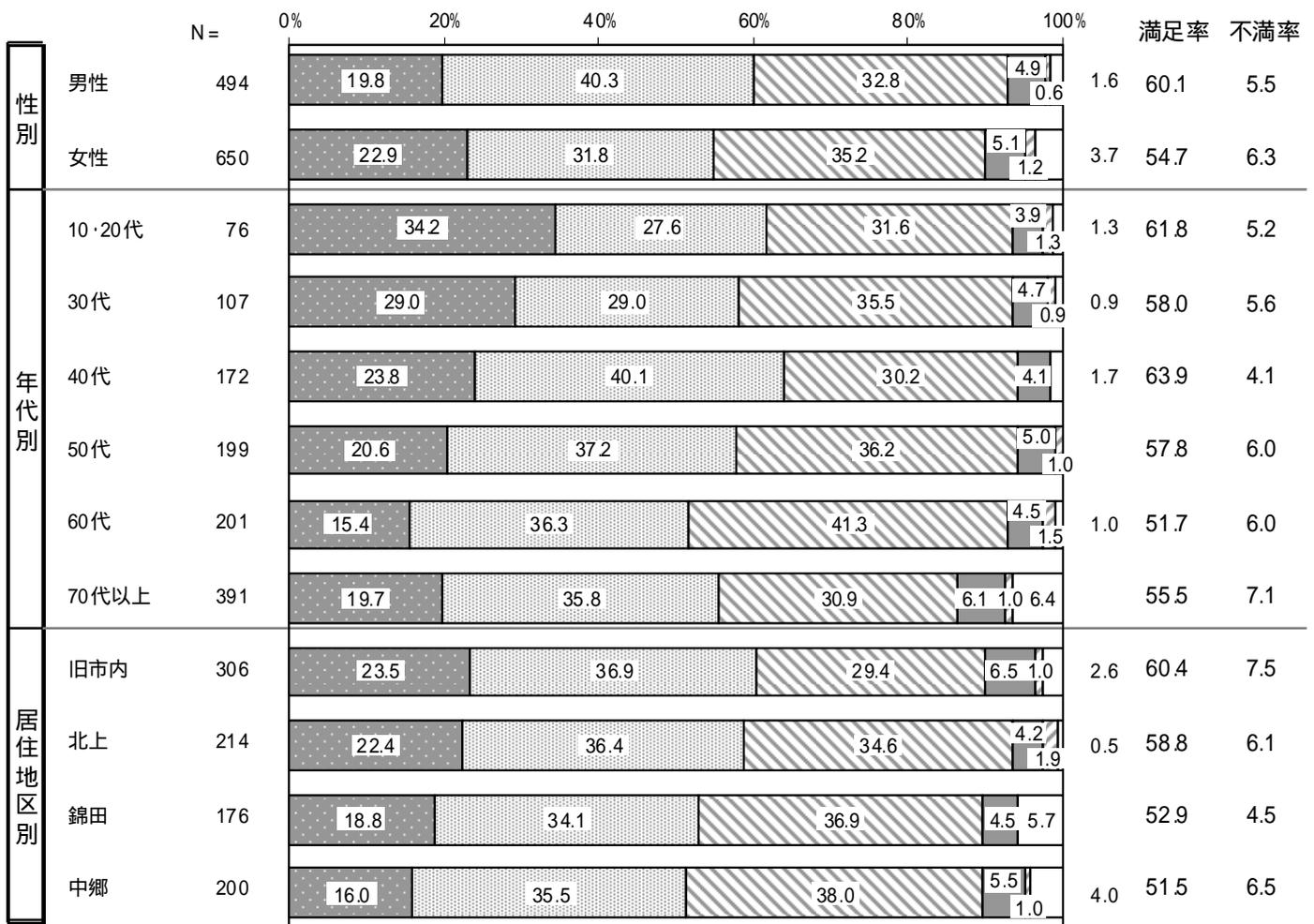
時系列でみると、大きな差異はみられません。



満足率 = 「満足」+「やや満足」
 不満率 = 「やや不満」+「不満」

【属性別比較】

性別でみると、“満足率”は女性（54.7%）より男性（60.1%）の割合が高くなっています。
 年代別でみると、“満足率”は40代（63.9%）が、最も高くなっています。
 居住地区別でみると、“満足率”は旧市内（60.4%）が、最も高くなっています。

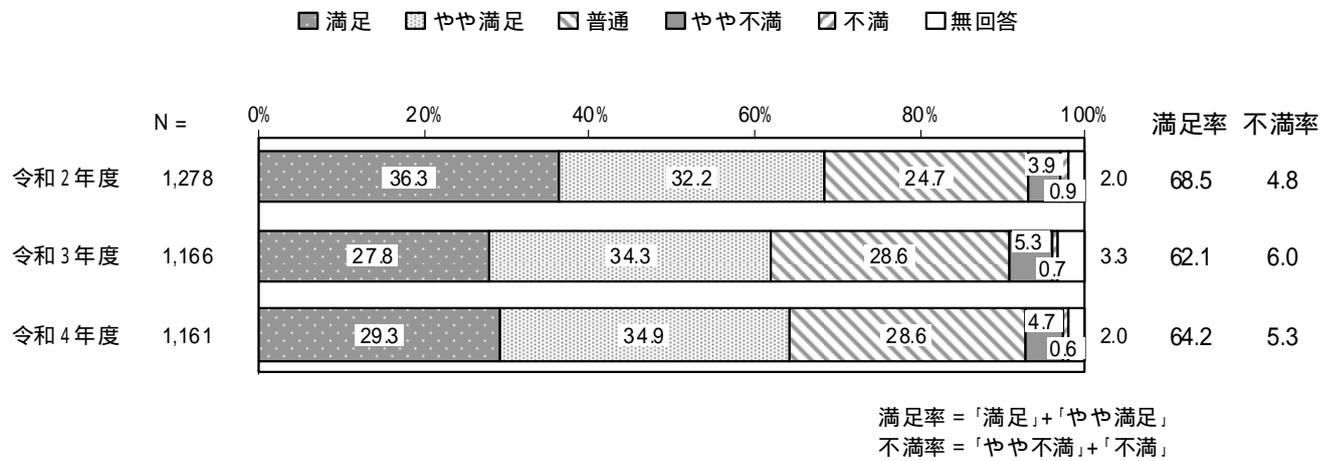


満足率 = 「満足」+「やや満足」
 不満率 = 「やや不満」+「不満」

6 身近な緑や自然の量

【経年比較】

時系列でみると、大きな差異はみられません。

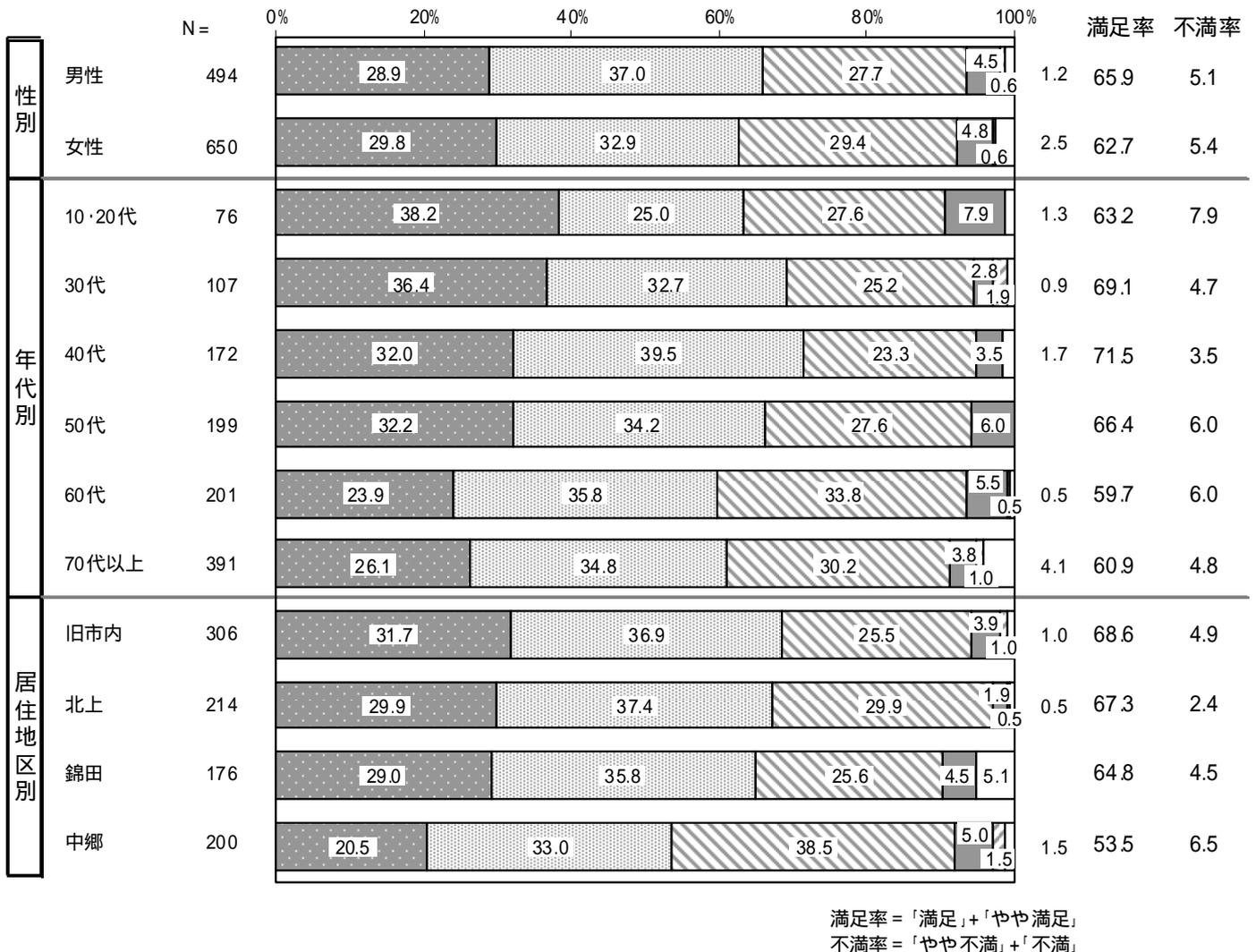


【属性別比較】

性別でみると、“満足率”（男性 65.9%、女性 62.7%）は、大きな差異はみられません。

年代別でみると、“満足率”は40代(71.5%)が、最も高くなっています。

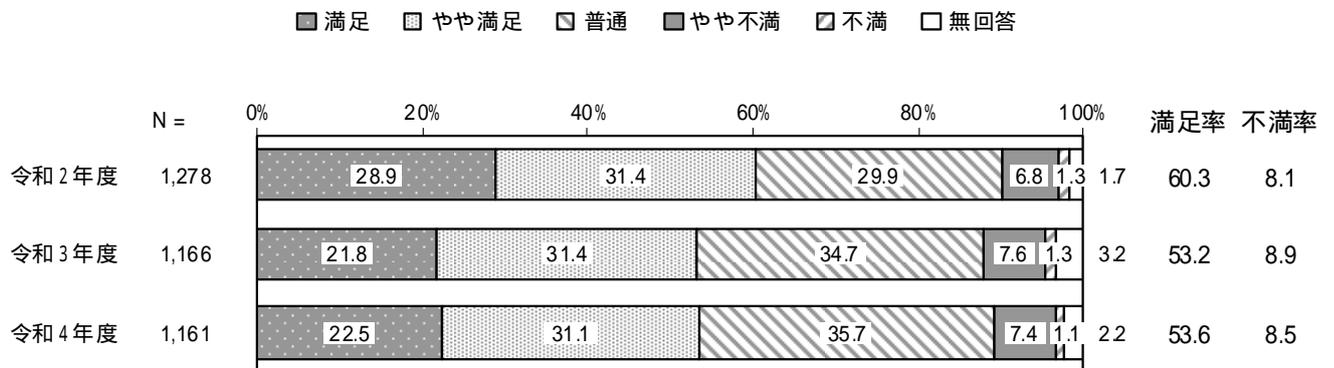
居住地区別でみると、“満足率”は旧市内(68.6%)が、最も高くなっています。



7 自然と触れ合える空間

【経年比較】

時系列でみると、大きな差異はみられません。



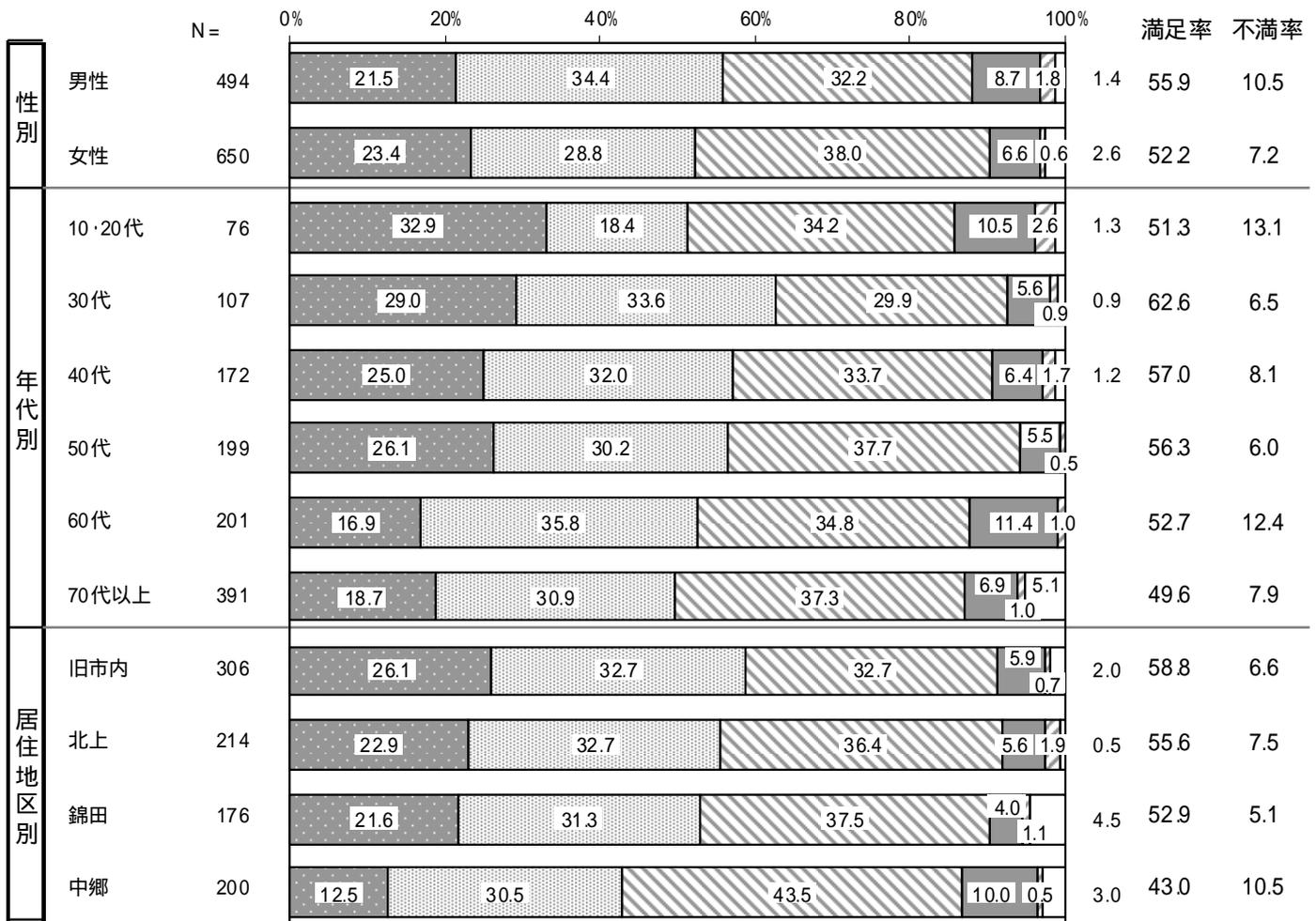
満足率 = 「満足」+「やや満足」
 不満率 = 「やや不満」+「不満」

【属性別比較】

性別でみると、“満足率”（男性 55.9%、女性 52.2%）は、大きな差異はみられません。

年代別でみると、“満足率”は30代(62.6%)が、最も高くなっています。

居住地区別でみると、“満足率”は旧市内(58.8%)が、最も高くなっています。



満足率 = 「満足」+「やや満足」
 不満率 = 「やや不満」+「不満」

(3) 『市の取り組みの満足度』について

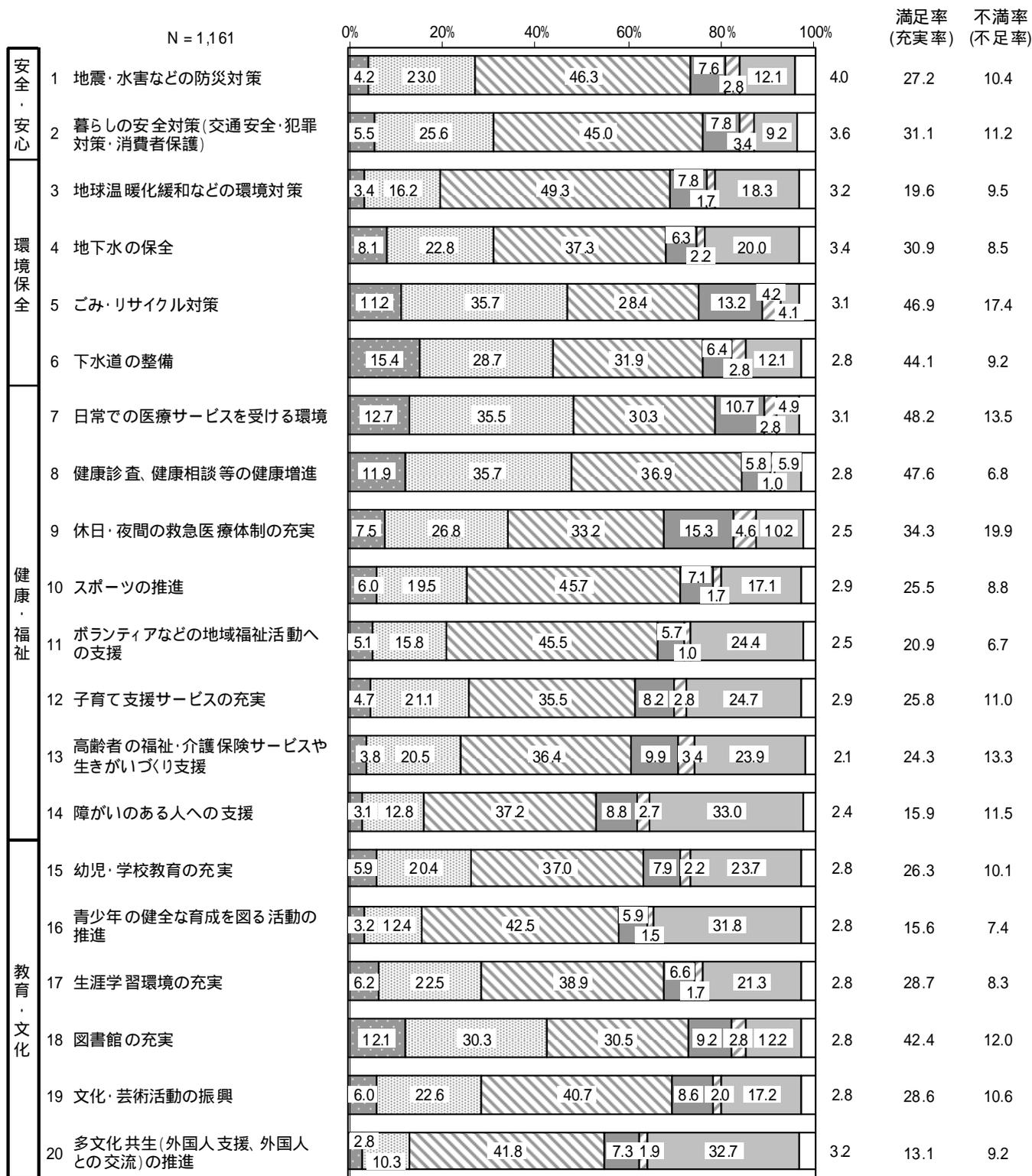
問5 毎日の暮らしを通じて、市が行っている施策に対する満足(充実)度についてお答えください。1~37の項目ごとに該当する番号を選んでください。

- 三島市の施策の“満足率”は『せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり』が69.3% “不満率”は『歩道の整備』が41.1% -

三島市の施策に対する満足(充実)率について聞いたところ、“満足率”は、安全・安心に関する項目では『2 暮らしの安全対策(交通安全・犯罪対策・消費者保護)』(31.1%)、環境保全に関する項目では『5 ごみ・リサイクル対策』(46.9%)、健康・福祉に関する項目では『7 日常での医療サービスを受ける環境』(48.2%)、教育・文化に関する項目では『18 図書館の充実』(42.4%)、産業振興に関する項目では『22 観光・イベントの振興』(29.0%)、都市基盤に関する項目では『32 せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり』(69.3%)、協働・行財政に関する項目では『37 「広報みしま」による市政情報の提供』による市政情報の提供』(54.7%)が最も高くなっています。

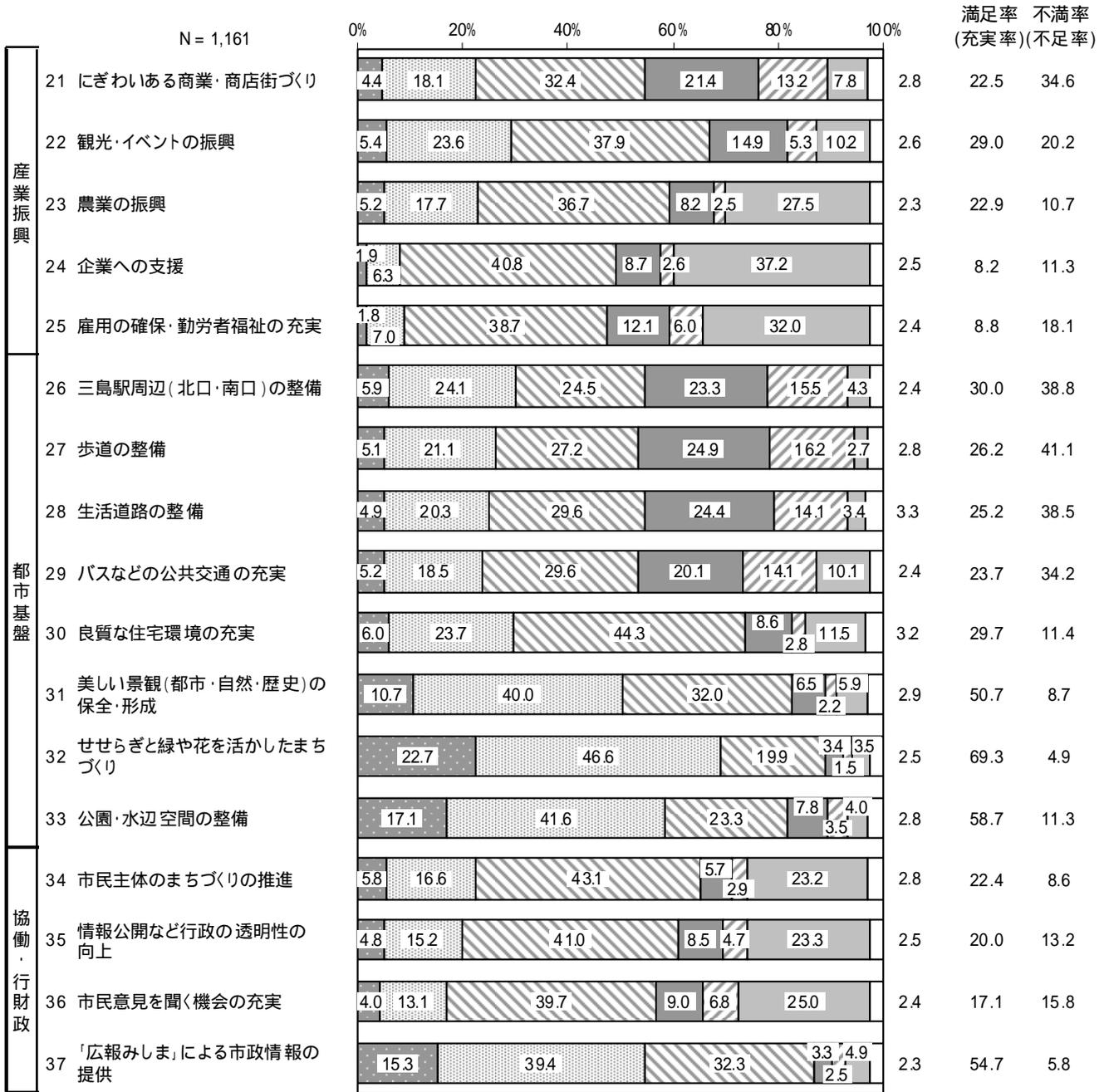
“不満率”は、安全・安心に関する項目では『2 暮らしの安全対策(交通安全・犯罪対策・消費者保護)』(11.2%)、環境保全に関する項目では『5 ごみ・リサイクル対策』(17.4%)、健康・福祉に関する項目では『9 休日・夜間の救急医療体制の充実』(19.9%)、教育・文化に関する項目では『18 図書館の充実』(12.0%)、産業振興に関する項目では『21 にぎわいある商業・商店街づくり』(34.6%)、都市基盤に関する項目では『27 歩道の整備』(41.1%)、協働・行財政に関する項目では『36 市民意見を聞く機会の充実』(15.8%)が最も高くなっています。

■ 満足(充実) ■ やや満足(やや充実) ■ どちらともいえない
 ■ やや不満(やや不足) ■ 不満(不足) ■ わからない
 □ 無回答



満足率(充実率) = 「満足(充実)」+「やや満足(やや充実)」
 不満率(不足率) = 「やや不満(やや不足)」+「不満(不足)」

■ 満足(充実) ■ やや満足(やや充実) □ どちらともいえない
 ■ やや不満(やや不足) ■ 不満(不足) □ わからない
 □ 無回答

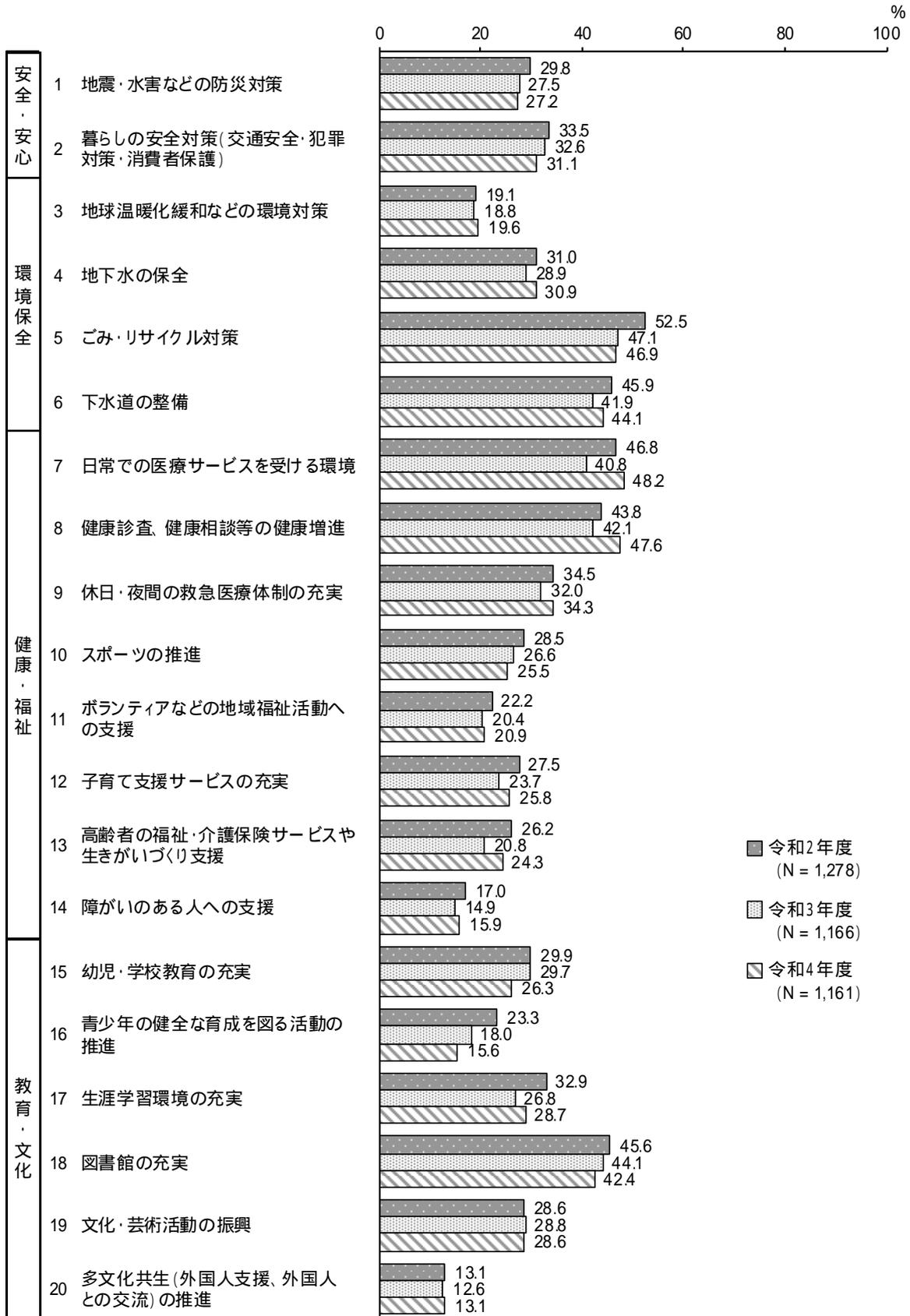


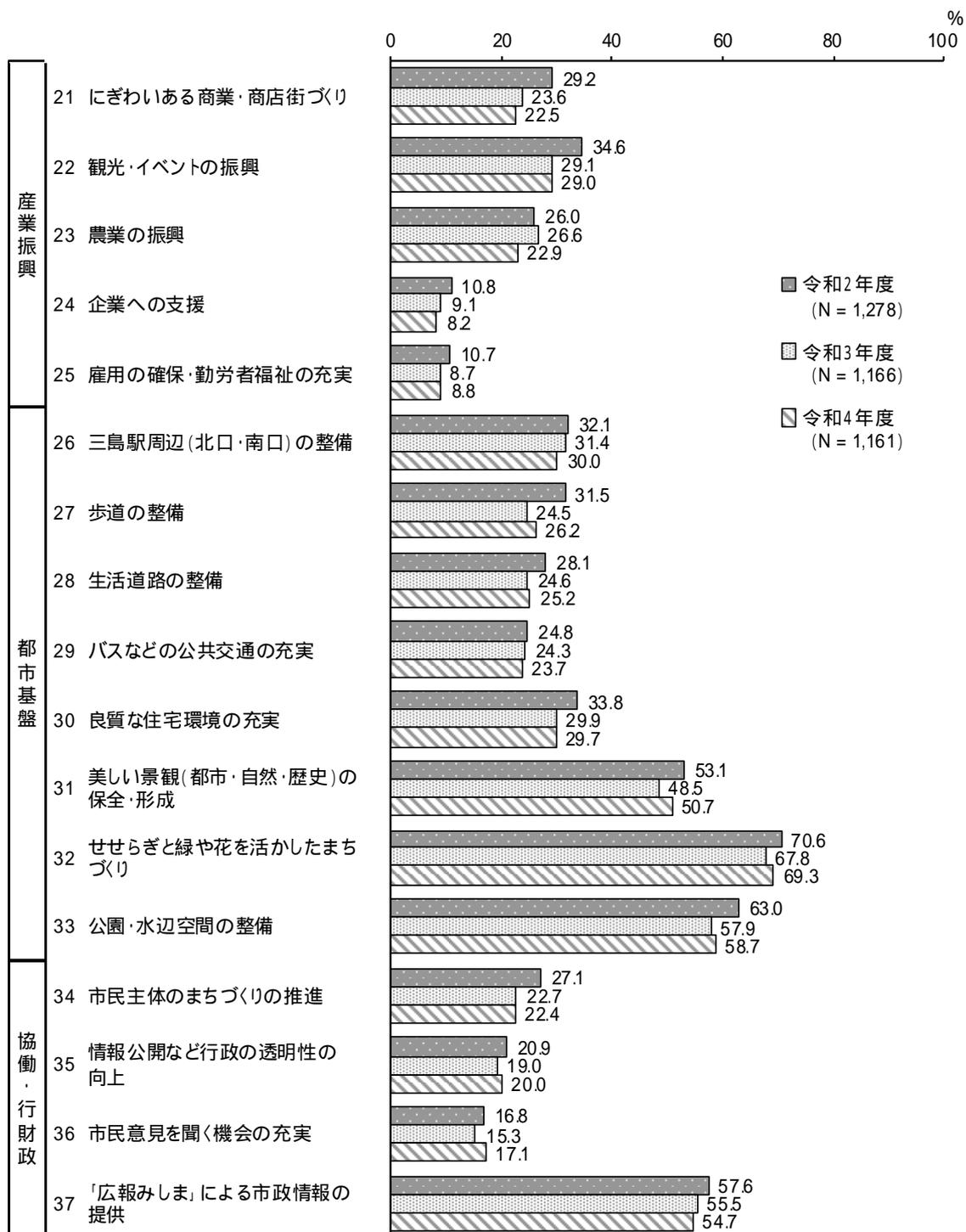
満足率(充実率) = 「満足(充実)」+「やや満足(やや充実)」
 不満率(不足率) = 「やや不満(やや不足)」+「不満(不足)」

【経年比較】

満足率

時系列でみると、令和2年度からの3年間で“満足率”が増加傾向にあるのは、『8 健康診査、健康相談等の健康増進』となっています。一方で、令和2年度からの3年間で“満足率”が減少傾向にあるのは、『1 地震・水害などの防災対策』『2 暮らしの安全対策（交通安全・犯罪対策・消費者保護）』『5 ごみ・リサイクル対策』『10 スポーツの推進』『15 幼児・学校教育の充実』『16 青少年の健全な育成を図る活動の推進』『18 図書館の充実』『21 にぎわいある商業・商店街づくり』『22 観光・イベントの振興』『24 企業への支援』『26 三島駅周辺（北口・南口）の整備』『29 バスなどの公共交通の充実』『30 良質な住宅環境の充実』『34 市民主体のまちづくりの推進』『37 「広報みしま」による市政情報の提供』となっています。

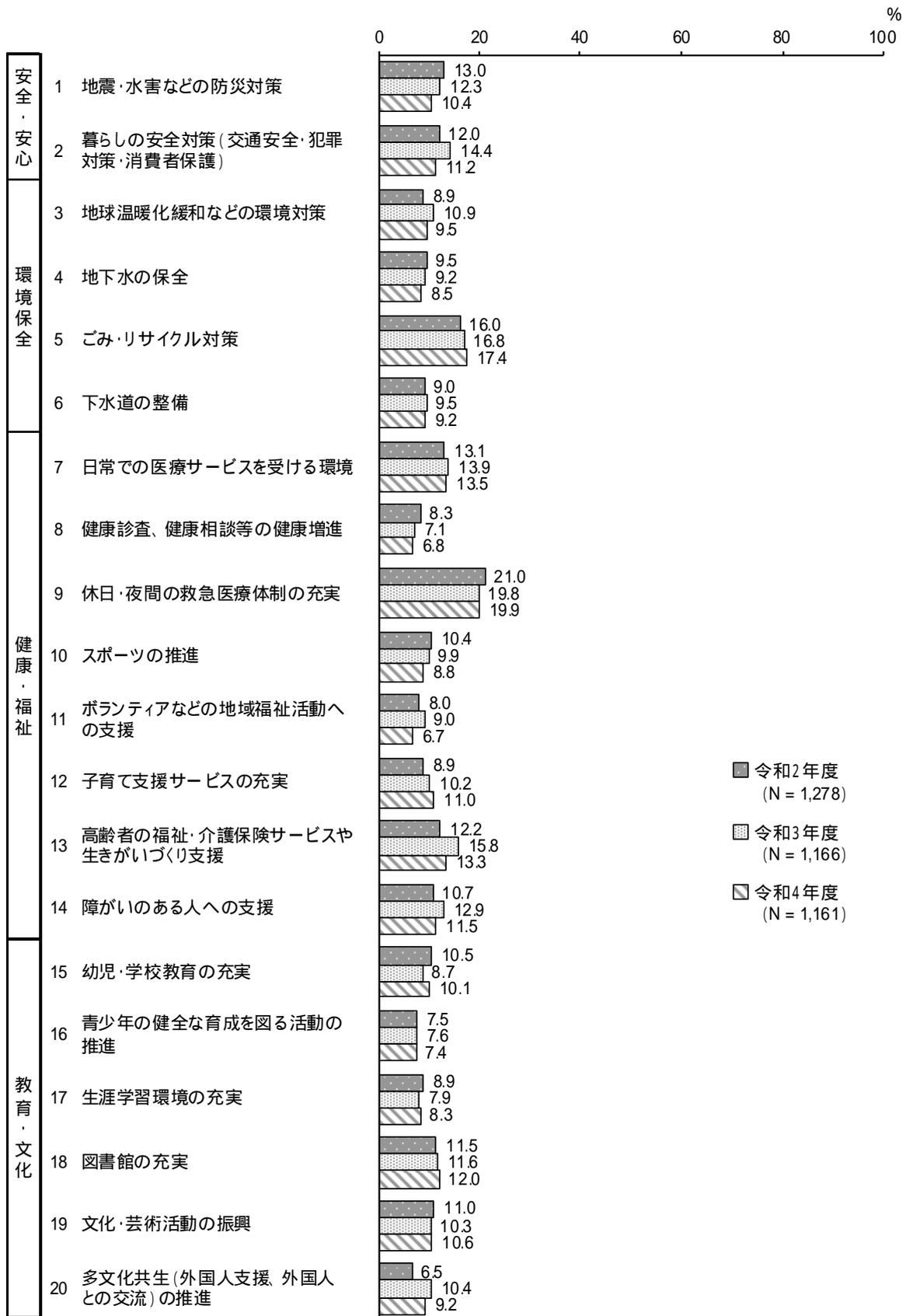


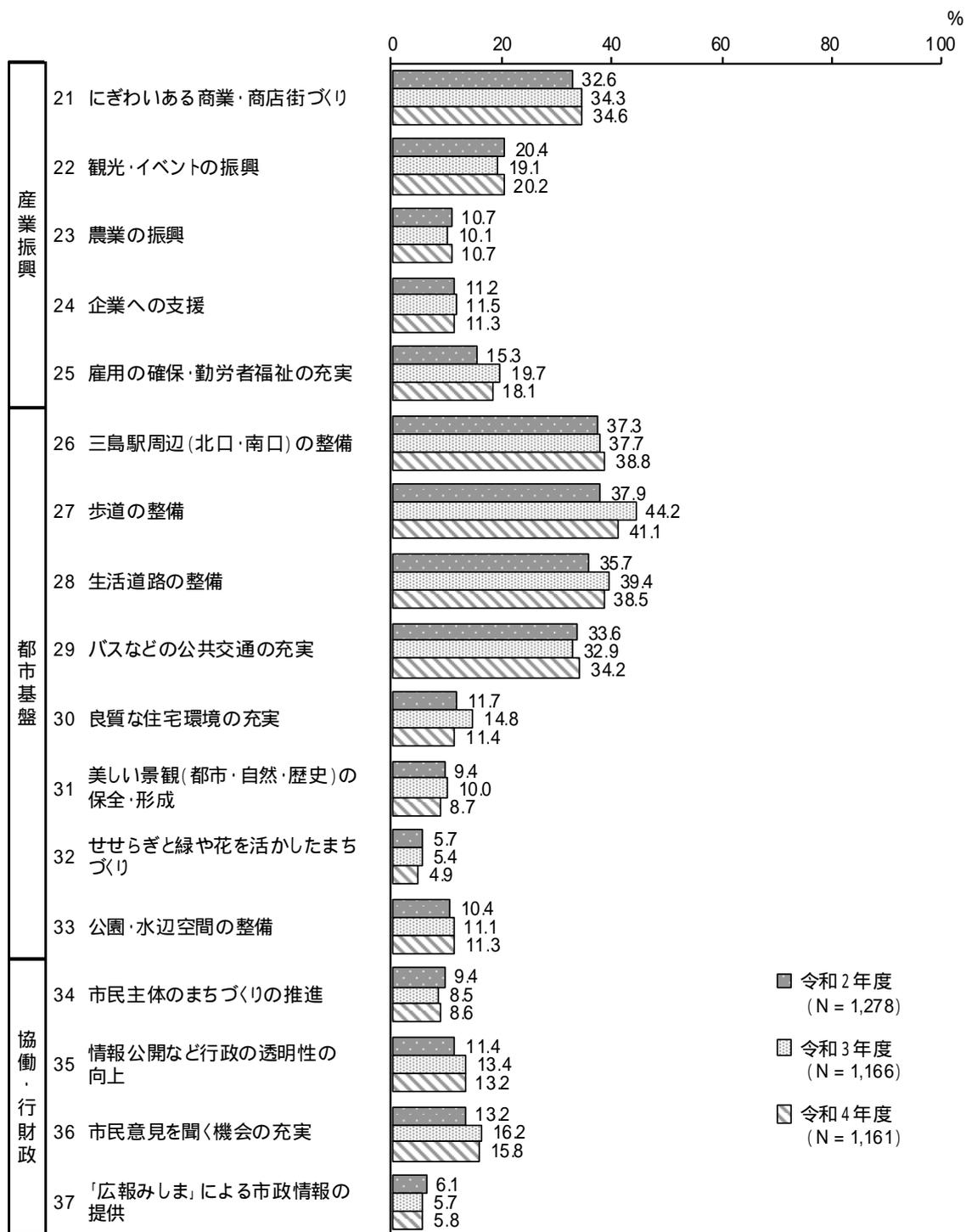


※ 「20 多文化共生(外国人との交流)の推進」は、令和2年度までは「20 姉妹都市交流や在留外国人との共生の推進」でした。

不満率

時系列でみると、令和2年度からの3年間で“不満率”が増加傾向にあるのは、『5 ごみ・リサイクル対策』『12 子育て支援サービスの充実』『18 図書館の充実』『21 にぎわいある商業・商店街づくり』『26 三島駅周辺（北口・南口）の整備』『33 公園・水辺空間の整備』となっています。一方で、令和2年度からの3年間で“不満率”が減少傾向にあるのは、『1 地震・水害などの防災対策』『4 地下水の保全』『8 健康診査、健康相談等の健康増進』『10 スポーツの推進』『32 せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり』となっています。





※ 「20 多文化共生(外国人との交流)の推進」は、令和2年度までは「20 姉妹都市交流や在留外国人との共生の推進」でした。

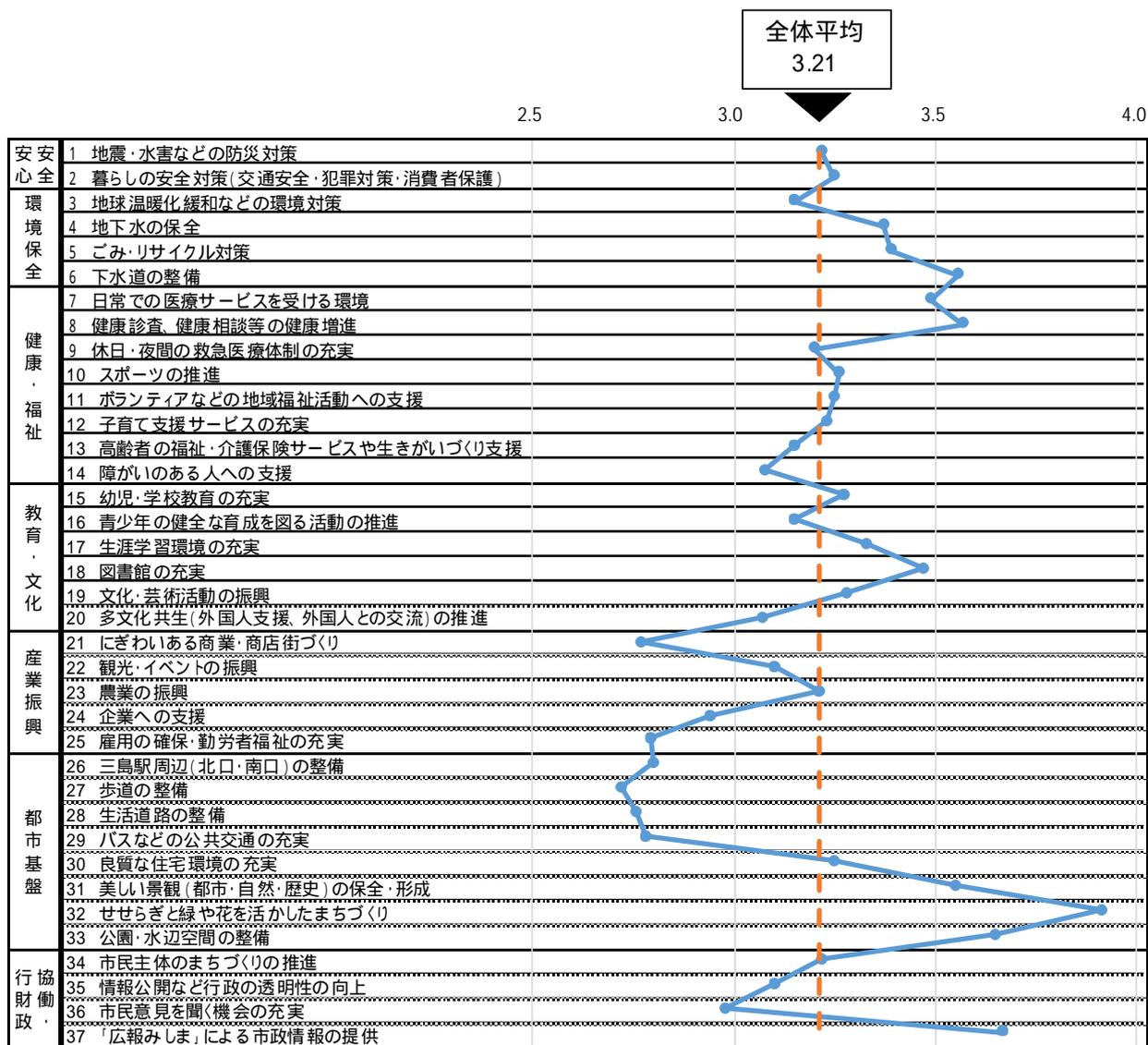
【ウェイトづけによる満足度比較】

37 項目の質問項目について、「満足度」を5つの選択肢の中から回答してもらい、下記の手順で得点化し、分析を行いました。

満足度	得点	得点の算出式
満足(充実)	5点	$ \begin{aligned} &(5点 \times \text{「満足」の回答数} \\ &+ 4点 \times \text{「やや満足」の回答数} \\ &+ 3点 \times \text{「どちらともいえない」の回答数} \\ &+ 2点 \times \text{「やや不満」の回答数} \\ &+ 1点 \times \text{「不満」の回答数}) \\ &\div \text{「無回答」「わからない」を除く回答数} \end{aligned} $
やや満足(やや充実)	4点	
どちらともいえない	3点	
やや不満(やや不足)	2点	
不満(不足)	1点	
わからない・無回答	計算対象外	

「32 せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり」「33 公園・水辺空間の整備」「37 「広報みしま」による市政情報の提供」が高くなっています。

一方、「21 にぎわいある商業・商店街づくり」「27 歩道の整備」「28 生活道路の整備」が低くなっています。

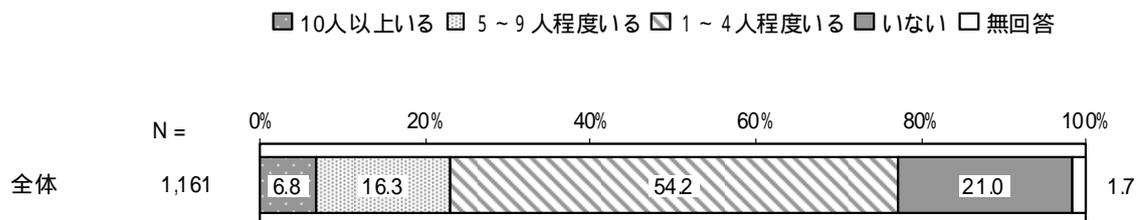


(4) 『各種計画の指標に関する項目』について

問6 近所に助け合うことができる人がいますか。(一つ)

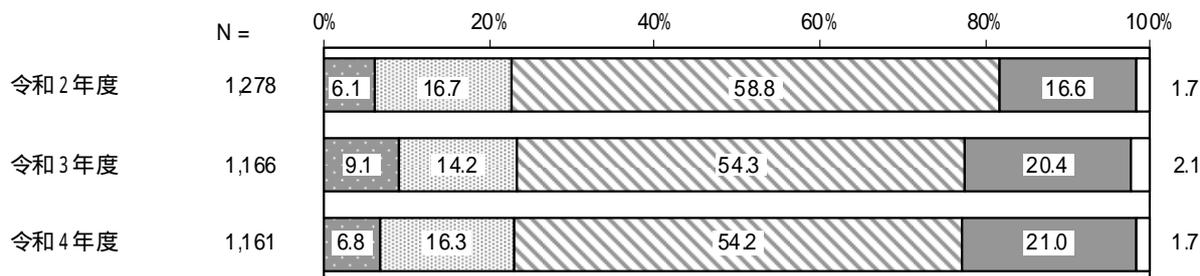
- 近所に助け合うことができる人が「1～4人程度いる」人は54.2% -

「1～4人程度いる」の割合が54.2%と最も高く、次いで「いない」の割合が21.0%、「5～9人程度いる」の割合が16.3%となっています。



【経年比較】

時系列で見ると、「いない」が増加傾向にあります。

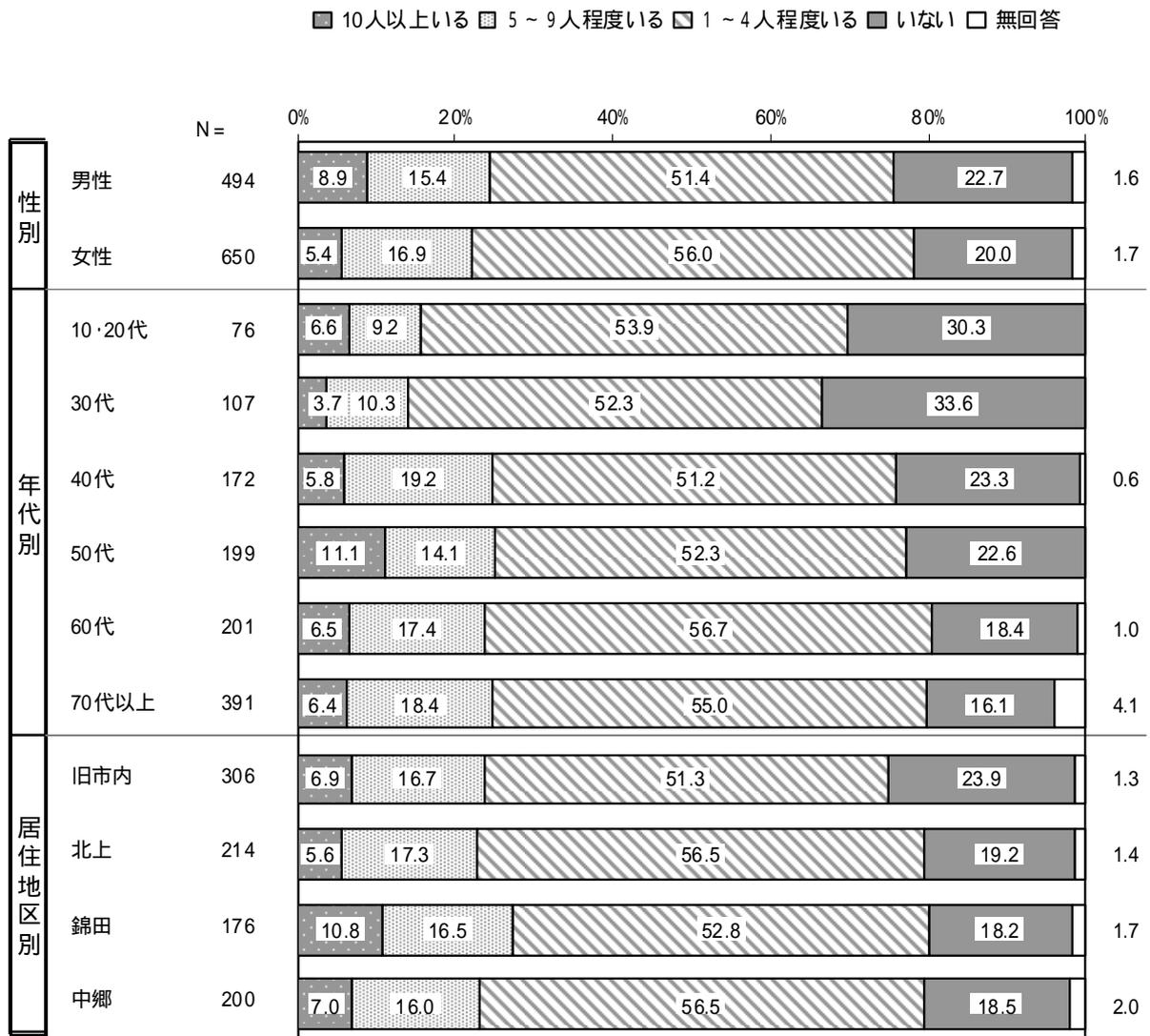


【属性別比較】

性別で見ると、「1～4人程度いる」は男性（51.4%）より女性（56.0%）の割合が、高くなっています。

年代別で見ると、「1～4人程度いる」は60代（56.7%）が、最も高くなっています。

居住地区別で見ると、「1～4人程度いる」は北上（56.5%）と中郷（56.5%）が、最も高くなっています。

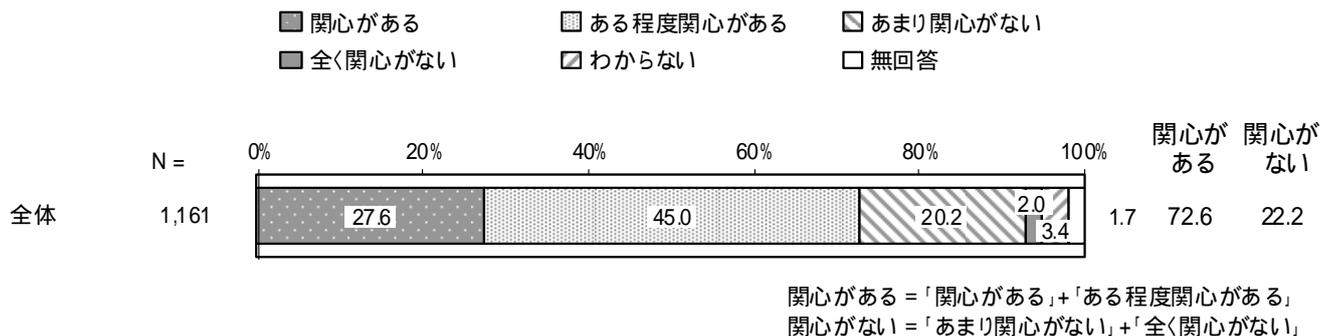


問7 食育（食に関する知識や食を選択する力を身に付けること）に関心がありますか。（は一つ）

- 食育に“関心がある”人は72.6% -

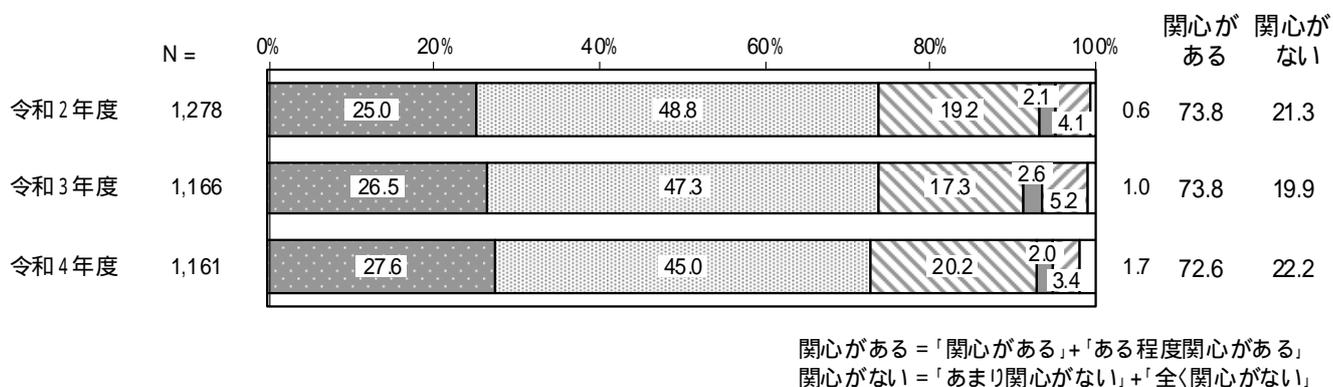
「関心がある」(27.6%)と「ある程度関心がある」(45.0%)を合わせた“関心がある”は72.6%となっています。

「あまり関心がない」(20.2%)と「全く関心がない」(2.0%)を合わせた“関心がない”は22.2%となっています。



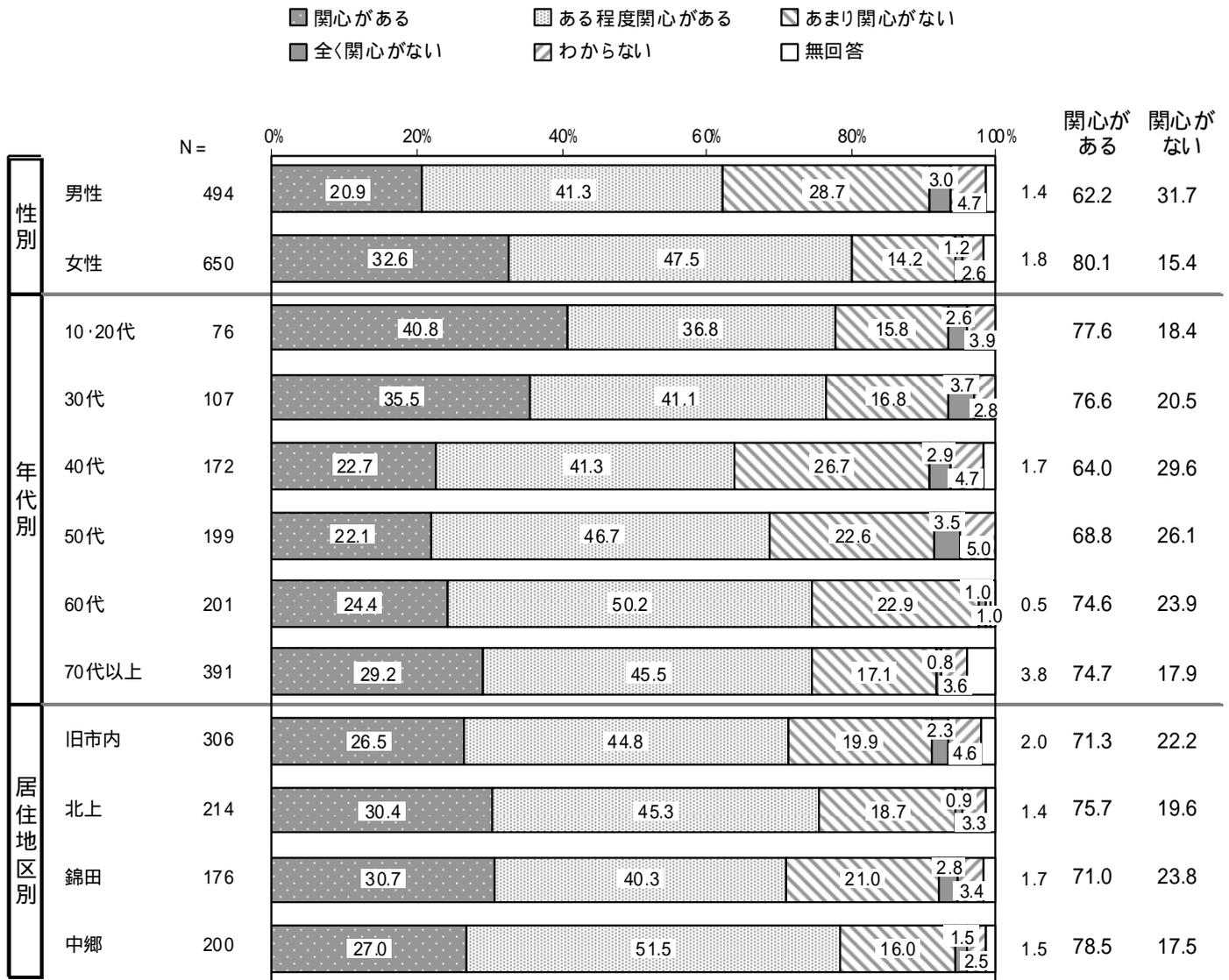
【経年比較】

時系列でみると、大きな差異はみられません。



【属性別比較】

性別で見ると、“関心がある”は男性(62.2%)より女性(80.1%)の割合が高くなっています。
 年代別で見ると、“関心がある”は10・20代(77.6%)が、最も高くなっています。
 居住地区別で見ると、“関心がある”は中郷(78.5%)が、最も高くなっています。

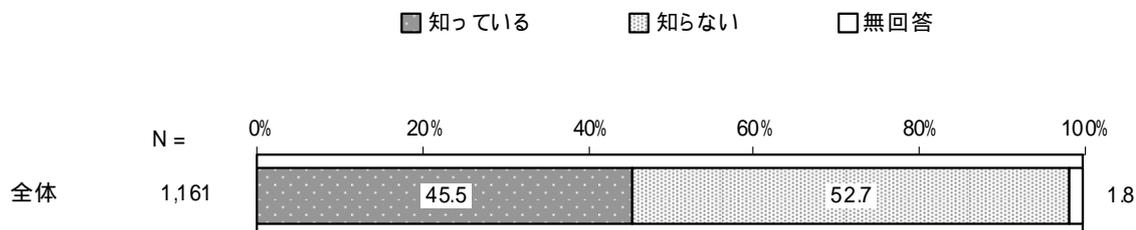


関心がある = 「関心がある」+「ある程度関心がある」
 関心がない = 「あまり関心がない」+「全く関心がない」

問 8 三島市役所に消費生活相談窓口（通信販売や契約などのトラブルに関する相談窓口）があることを知っていますか。（ は一つ）

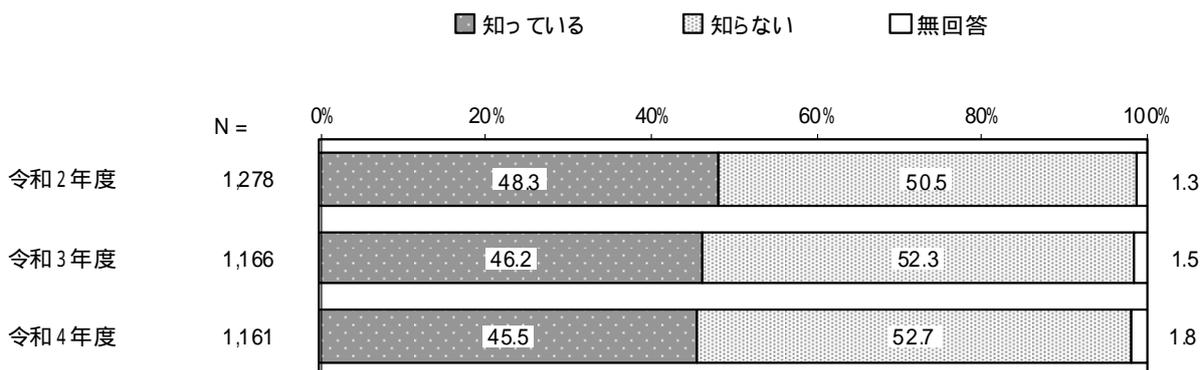
- 消費者生活相談窓口の認知状況は「知っている」が 45.5% -

「知っている」の割合が 45.5%、「知らない」の割合が 52.7%となっています。



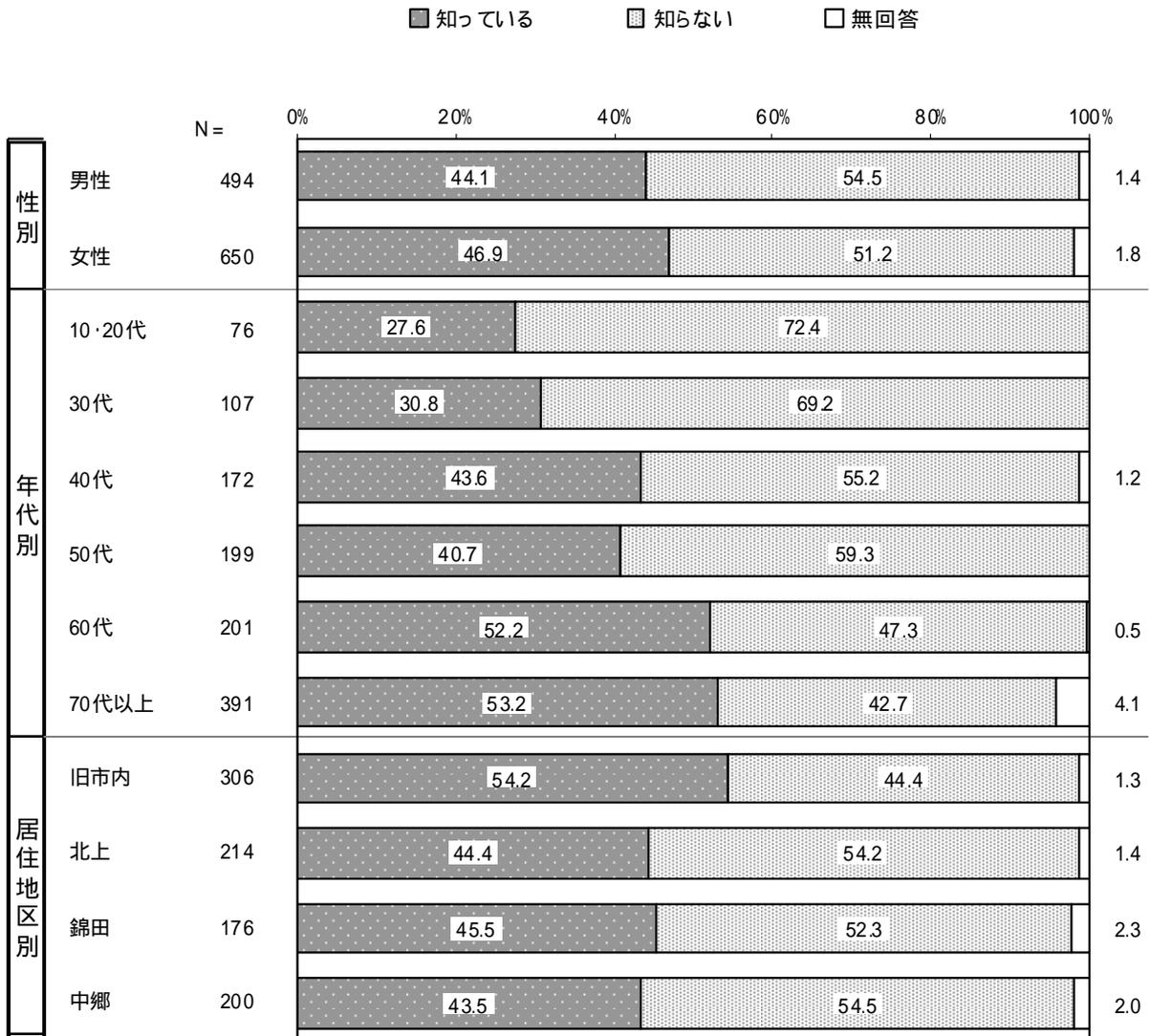
【経年比較】

時系列でみると、「知らない」が増加傾向にあります。



【属性別比較】

性別で見ると、「知っている」（男性 44.1%、女性 46.9%）は、大きな差異はみられません。年代別で見ると、「知っている」は年代が高くなるにつれ、割合が高くなる傾向がみられます。居住地区別で見ると、「知っている」は旧市内（54.2%）が、最も高くなっています。

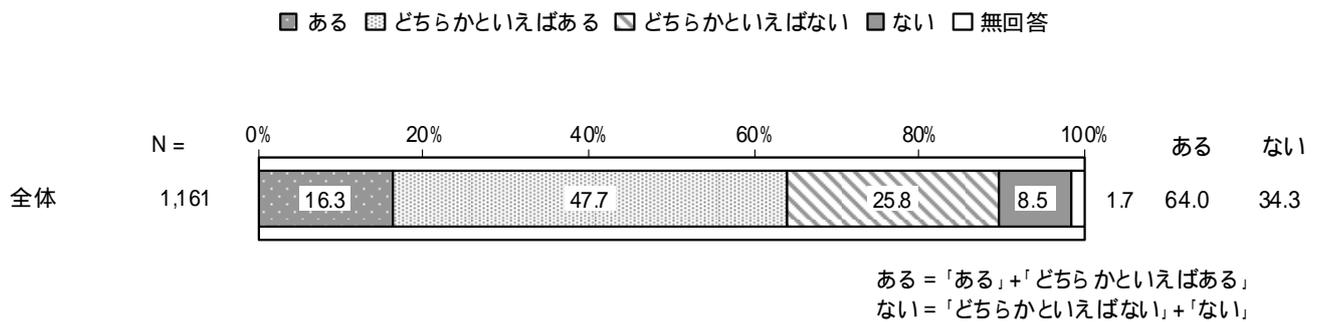


問9 商品やサービスを選択する際に、環境への配慮、地産地消、障がい者支援など社会貢献につながる消費（エシカル消費）を意識することがありますか。（ は一つ）

- 商品やサービスを選択する際に、社会貢献につながる消費（エシカル消費）を意識することが“ある”人は64.0% -

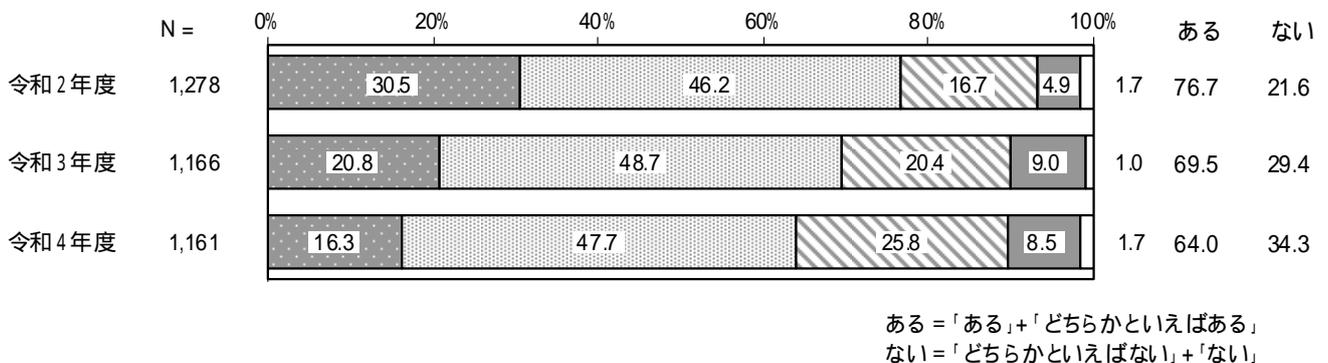
「ある」（16.3%）と「どちらかといえばある」（47.7%）を合わせた“ある”は64.0%となっています。

「どちらかといえばない」（25.8%）と「ない」（8.5%）を合わせた“ない”は34.3%となっています。



【経年比較】

時系列でみると、“ない”が増加傾向にあります。



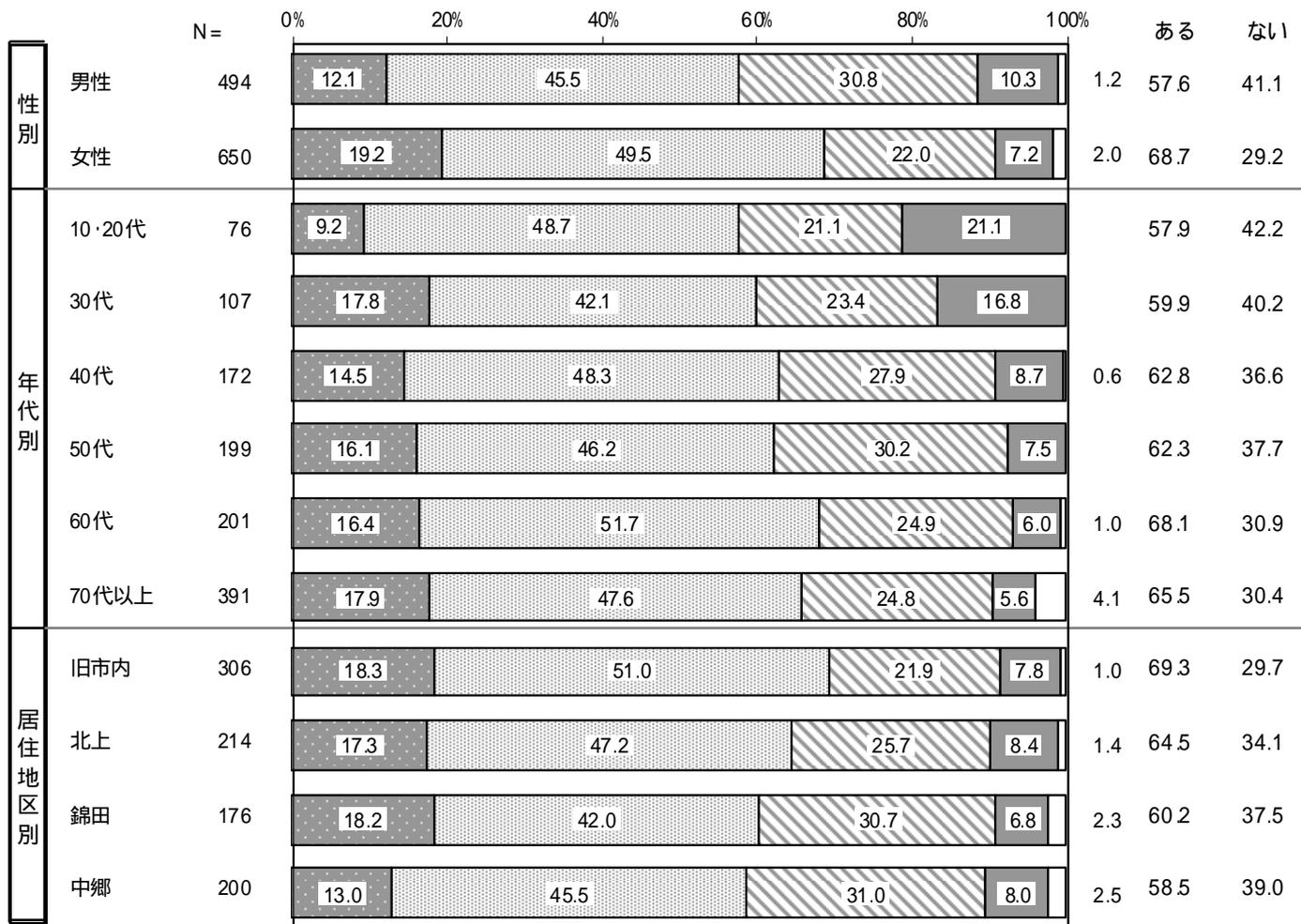
【属性別比較】

性別で見ると、“ある”は男性（57.6%）より女性（68.7%）の割合が高くなっています。

年代別で見ると、“ある”は60代（68.1%）が、最も高くなっています。

居住地区別で見ると、“ある”は旧市内（69.3%）が、最も高くなっています。

■ ある □ どちらかといえばある ▨ どちらかといえばない ■ ない □ 無回答



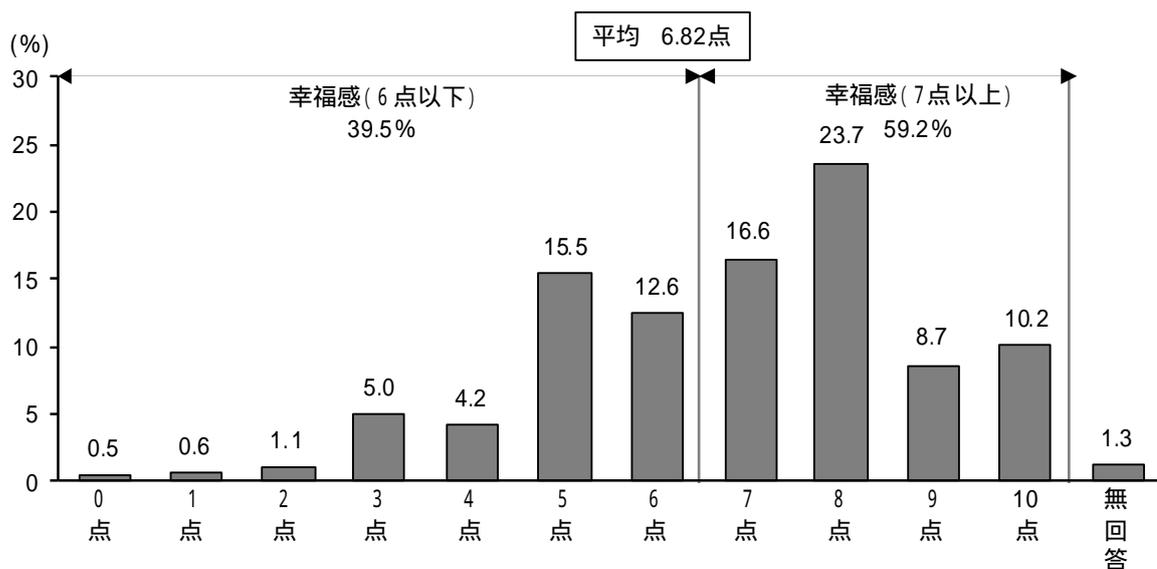
ある = 「ある」+「どちらかといえばある」
 ない = 「どちらかといえばない」+「ない」

(5) 『幸福感』について

問10 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの点数を1つだけで囲んでください。

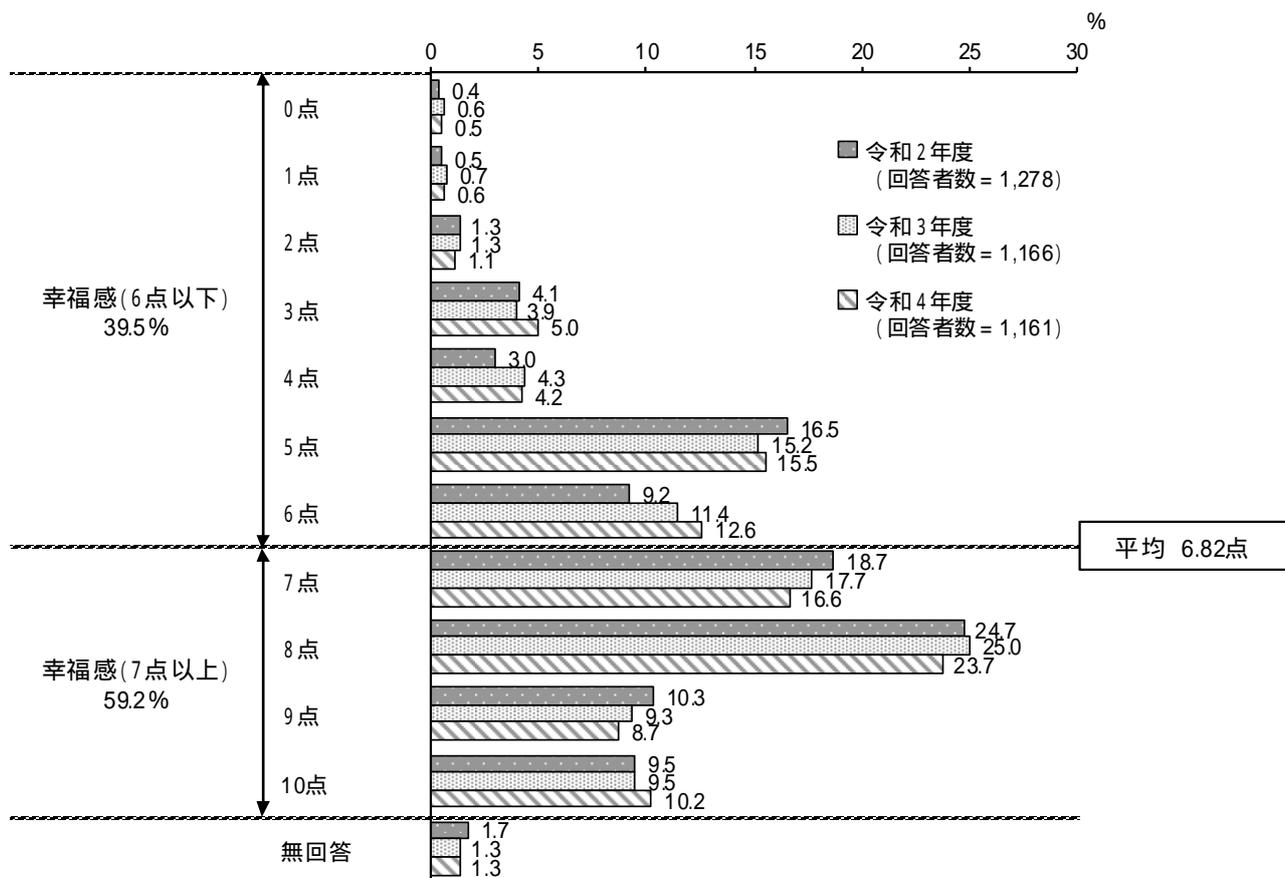
- 現在の幸福感の平均は 6.82 点 -

「8点」の割合が23.7%と最も高く、次いで「7点」の割合が16.6%、「5点」の割合が15.5%となっています。



【経年比較】

時系列で見ると、幸福感（7点以上）が減少傾向にあります。



区分	調査数	幸福感 (%)		無回答 (%)	平均(点)
		6点以下	7点以上		
令和2年度調査	1,278	35.1	63.2	1.7	6.94
令和3年度調査	1,166	37.4	61.5	1.3	6.87
令和4年度調査	1,161	39.5	59.2	1.3	6.82

【属性別比較】

性別で見ると、男性・女性ともに「8点」（男性22.3%、女性24.6%）が、最も高くなっています。

年代別で見ると、すべての年代で「8点」が最も高くなっています。

居住地区別で見ると、すべての居住地区で「8点」が最も高くなっています。

単位：%

区分		回答者数(件)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
性別	男性	494	0.4	0.8	1.4	5.9	4.7	14.4	14.2	18.2	22.3	8.5	8.3	1.0
	女性	650	0.6	0.5	0.9	4.5	3.7	16.5	11.2	15.7	24.6	8.9	11.5	1.4
年代別	10・20代	76	1.3	1.3	1.3	3.9	10.5	9.2	17.1	11.8	18.4	10.5	13.2	1.3
	30代	107	0.9	—	—	9.3	3.7	11.2	13.1	17.8	21.5	10.3	12.1	—
	40代	172	—	0.6	2.9	7.0	3.5	15.7	9.9	14.0	24.4	9.3	11.6	1.2
	50代	199	—	—	1.0	5.5	5.0	14.6	11.1	18.1	26.6	8.5	9.5	—
	60代	201	0.5	1.5	1.5	5.0	3.5	17.4	12.4	19.9	22.4	5.5	9.5	1.0
	70代以上	391	0.8	0.5	0.5	3.1	3.3	17.4	13.3	16.4	23.8	9.7	9.0	2.3
居住地区別	旧市内	306	—	0.3	1.3	2.6	4.9	15.0	11.8	18.6	23.5	9.2	12.4	0.3
	北上	214	0.9	0.5	0.5	6.5	2.8	15.9	12.6	12.6	26.6	9.8	10.7	0.5
	錦田	176	—	0.6	0.6	3.4	5.7	15.3	15.3	13.6	25.6	12.5	5.7	1.7
	中郷	200	1.0	0.5	2.0	5.0	3.5	17.0	13.5	19.0	21.0	4.5	10.0	3.0

1位

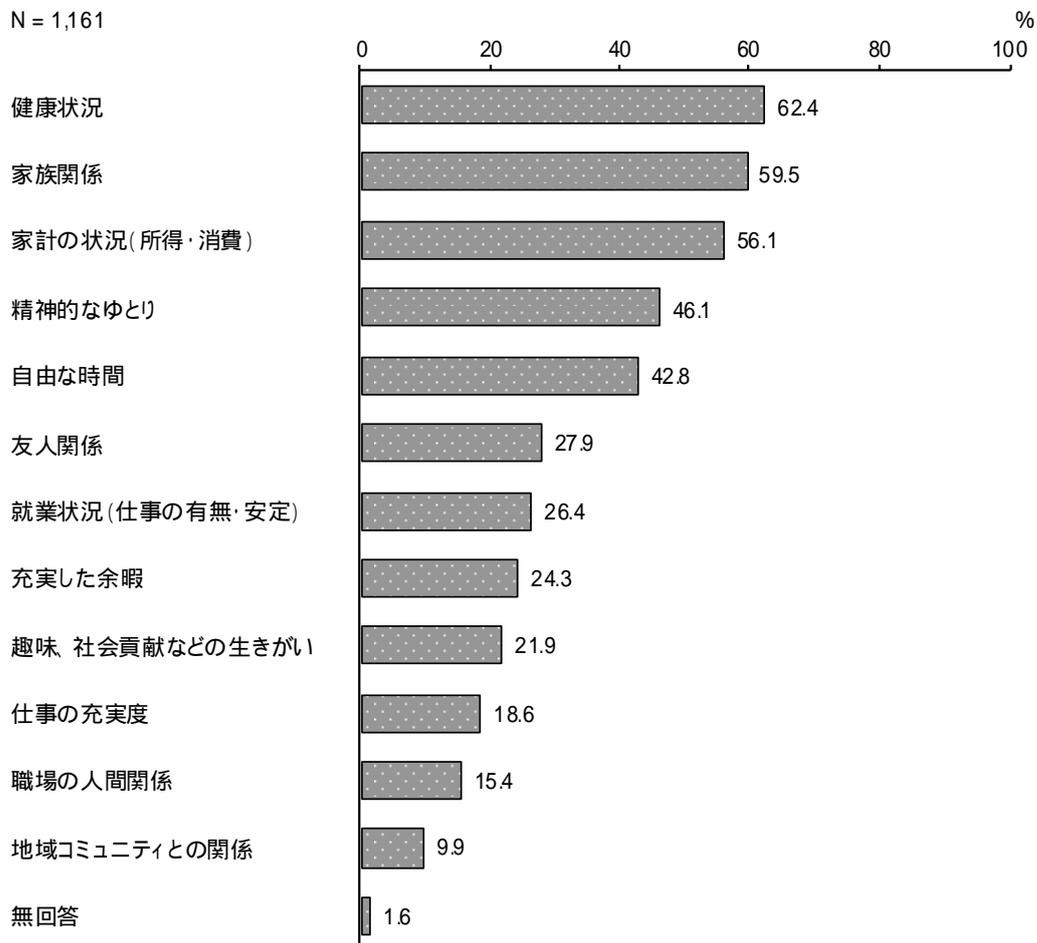
2位

3位

問 11 問 10 で、幸福感を判断する際に重視した事項は何ですか。(はいくつでも)

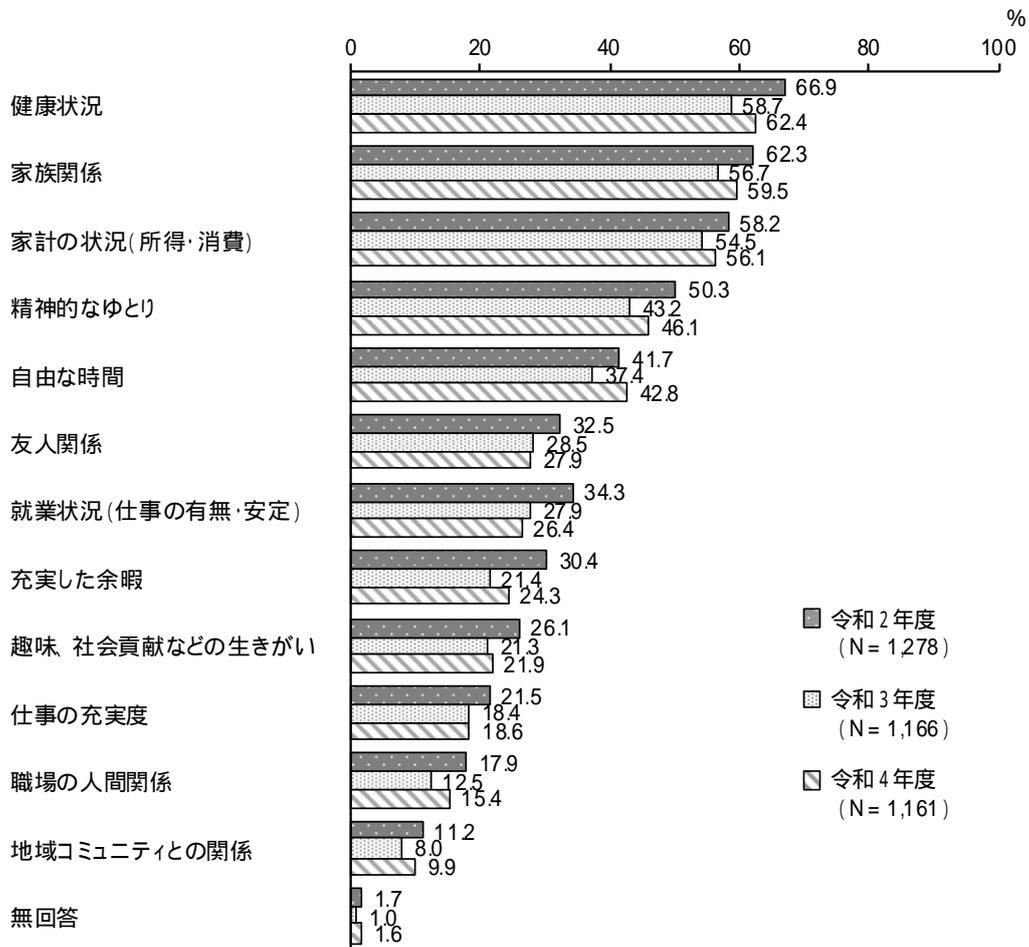
- 幸福感を判断する際に重視するのは「健康状況」で 62.4% -

「健康状況」の割合が 62.4%と最も高く、次いで「家族関係」の割合が 59.5%、「家計の状況(所得・消費)」の割合が 56.1%となっています。



【経年比較】

時系列でみると、「自由な時間」が増加しています。



【属性別比較】

性別で見ると、男性・女性ともに「健康状況」(60.7%、64.2%)が、最も高くなっています。
年代別で見ると、60代・70代以上では「健康状況」が、最も高くなっています。

居住地区別で見ると、旧市内・北上・中郷では「健康状況」が最も高く、錦田では「家族関係」が、最も高くなっています。

単位：%

区分		回答者数(件)	家計の状況 (所得・消費)	就業状況 (仕事の有無・安定)	健康状況	自由な時間	充実した余暇	仕事の充実度	精神的なゆとり	趣味、社会貢献などの 生きがい	家族関係	友人関係	職場の人間関係	地域コミュニティとの 関係	無回答
性別	男性	494	59.9	29.4	60.7	42.9	24.7	21.9	44.1	23.1	58.1	22.7	15.4	10.5	1.2
	女性	650	53.7	24.3	64.2	42.5	24.0	16.2	47.7	20.9	60.9	32.0	15.7	8.9	1.4
年代別	10・20代	76	44.7	40.8	60.5	47.4	40.8	23.7	60.5	30.3	52.6	46.1	26.3	5.3	—
	30代	107	61.7	43.9	51.4	46.7	31.8	32.7	53.3	19.6	65.4	29.9	29.0	9.3	—
	40代	172	68.0	44.8	60.5	38.4	26.7	28.5	41.9	25.6	62.8	26.7	24.4	9.3	0.6
	50代	199	61.3	37.7	61.3	41.7	25.1	29.6	56.3	20.1	68.8	23.6	26.1	8.0	—
	60代	201	63.7	25.4	72.6	34.8	22.4	13.9	44.3	24.4	56.2	25.4	11.4	10.4	2.0
	70代以上	391	45.8	6.1	62.7	47.3	18.9	6.4	39.4	18.9	55.2	28.1	2.6	11.5	2.6
居住地区別	旧市内	306	56.2	26.8	65.7	46.1	24.2	19.6	49.3	23.5	61.4	33.3	17.3	11.8	0.3
	北上	214	56.5	29.0	65.9	48.1	25.2	22.0	46.3	21.5	64.5	30.8	16.4	10.7	1.4
	錦田	176	51.7	16.5	55.1	37.5	25.0	13.6	43.8	17.6	60.2	29.0	9.7	8.0	2.3
	中郷	200	53.5	17.5	55.0	37.0	21.0	10.5	38.5	14.5	54.5	18.0	12.0	12.0	3.0

1位

2位

3位

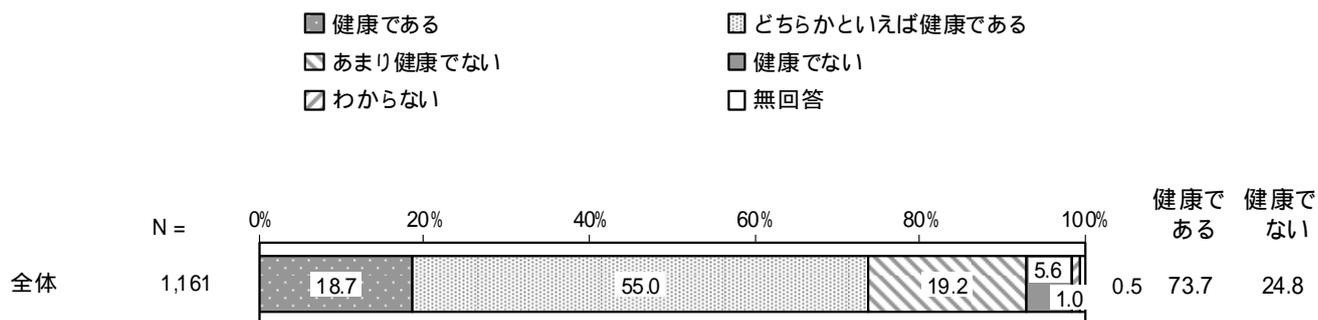
(6) 『健康』について

問 12 あなたは現在の自分の健康状態をどのように感じていますか。(一つ)

- 現在 “健康である” と感じている人は 73.7% -

「健康である」(18.7%)と「どちらかといえば健康である」(55.0%)を合わせた“健康である”は73.7%となっています。

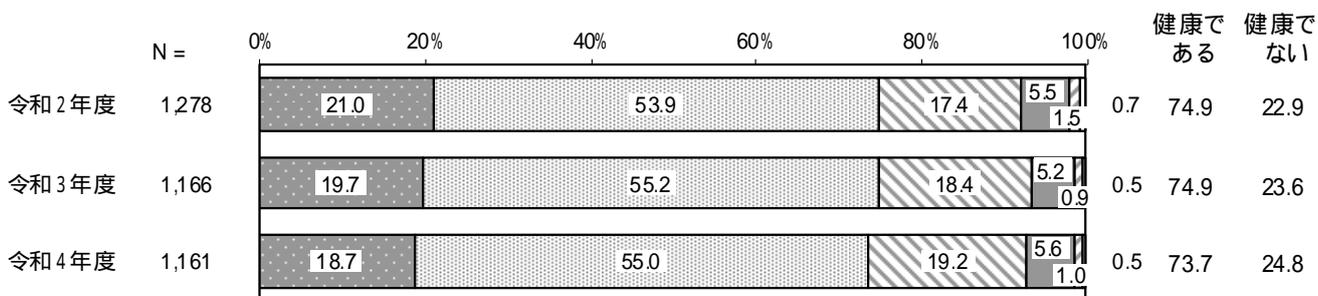
「あまり健康でない」(19.2%)と「健康でない」(5.6%)を合わせた“健康でない”は24.8%となっています。



健康である = 「健康である」+「どちらかといえば健康である」
健康でない = 「あまり健康でない」+「健康でない」

【経年比較】

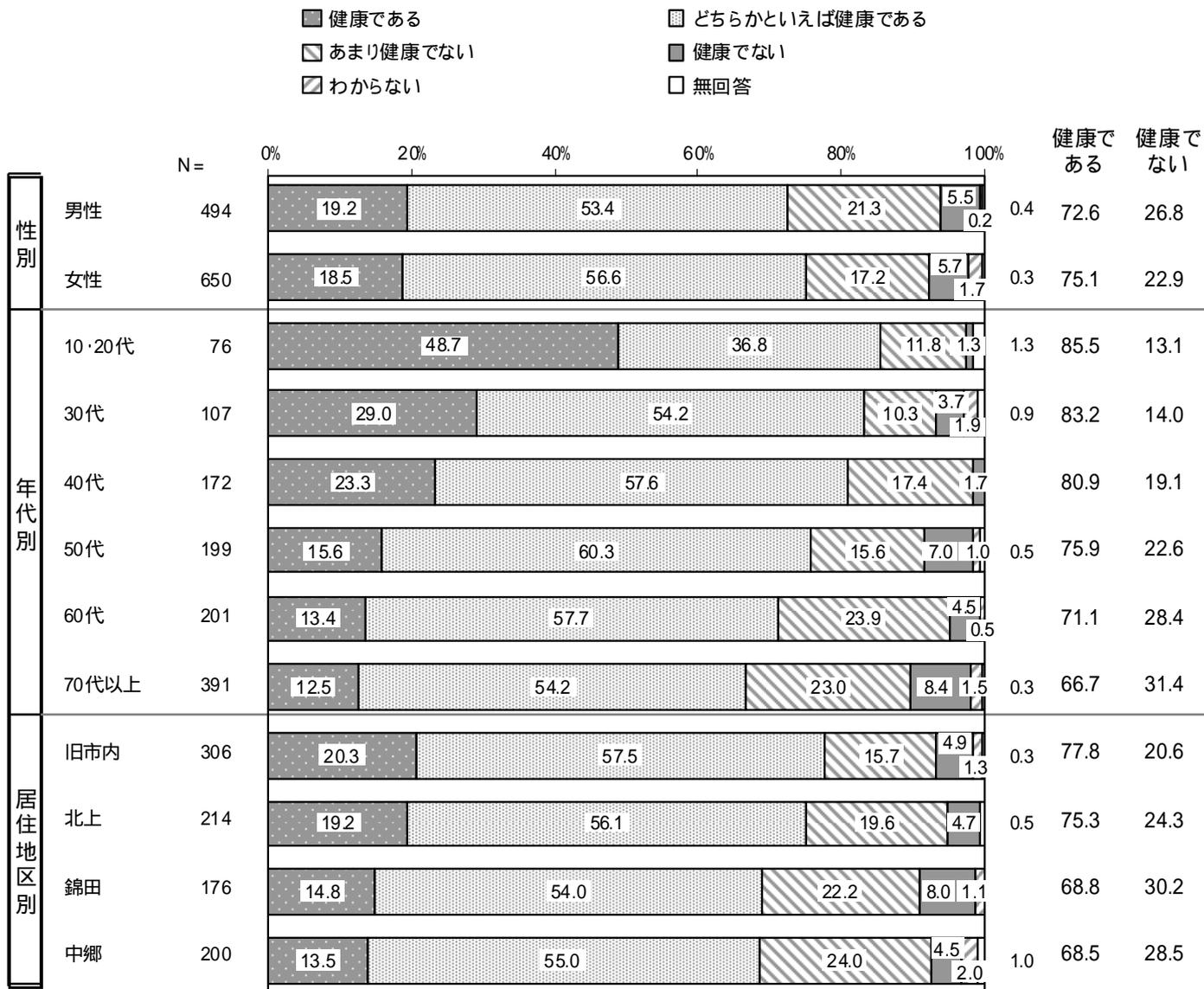
時系列でみると、大きな差異はみられません。



健康である = 「健康である」+「どちらかといえば健康である」
健康でない = 「あまり健康でない」+「健康でない」

【属性別比較】

性別で見ると、“健康である”（男性 72.6%、女性 75.1%）は、大きな差異はみられません。年代別で見ると、“健康である”は年代が高くなるにつれ、割合が低くなる傾向がみられます。居住地区別で見ると、“健康である”は旧市内（77.8%）が、最も高くなっています。



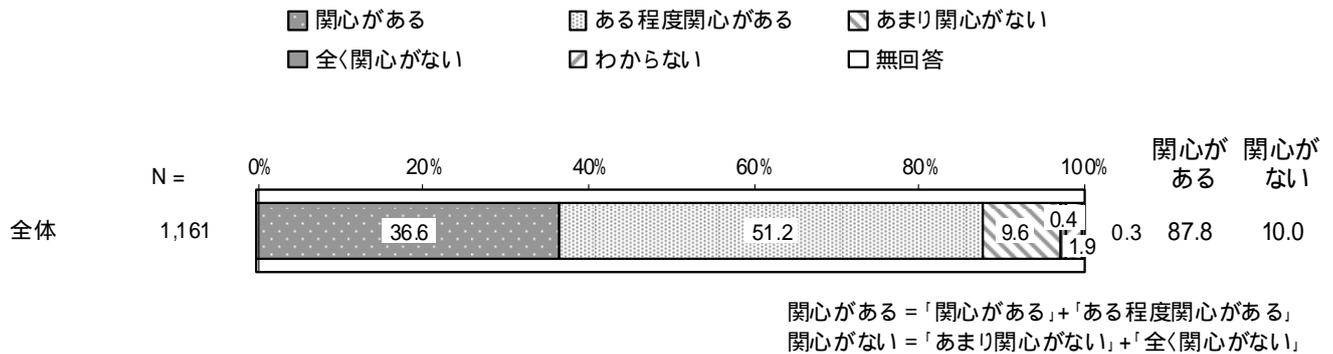
健康である = 「健康である」+「どちらかといえば健康である」
 健康でない = 「あまり健康でない」+「健康でない」

問 13 あなたは健康づくりに関心がありますか。(は一つ)

- 健康づくりに “ 関心がある ” 人は 87.8% -

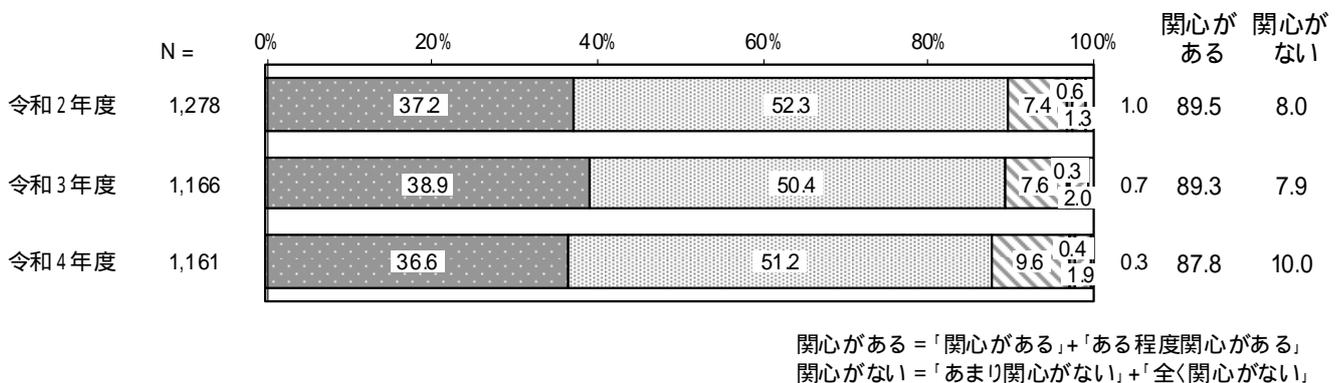
「関心がある」(36.6%)と「ある程度関心がある」(51.2%)を合わせた“関心がある”は87.8%となっています。

「あまり関心がない」(9.6%)と「全く関心がない」(0.4%)を合わせた“関心がない”は10.0%となっています。



【経年比較】

時系列でみると、大きな差異はみられません。

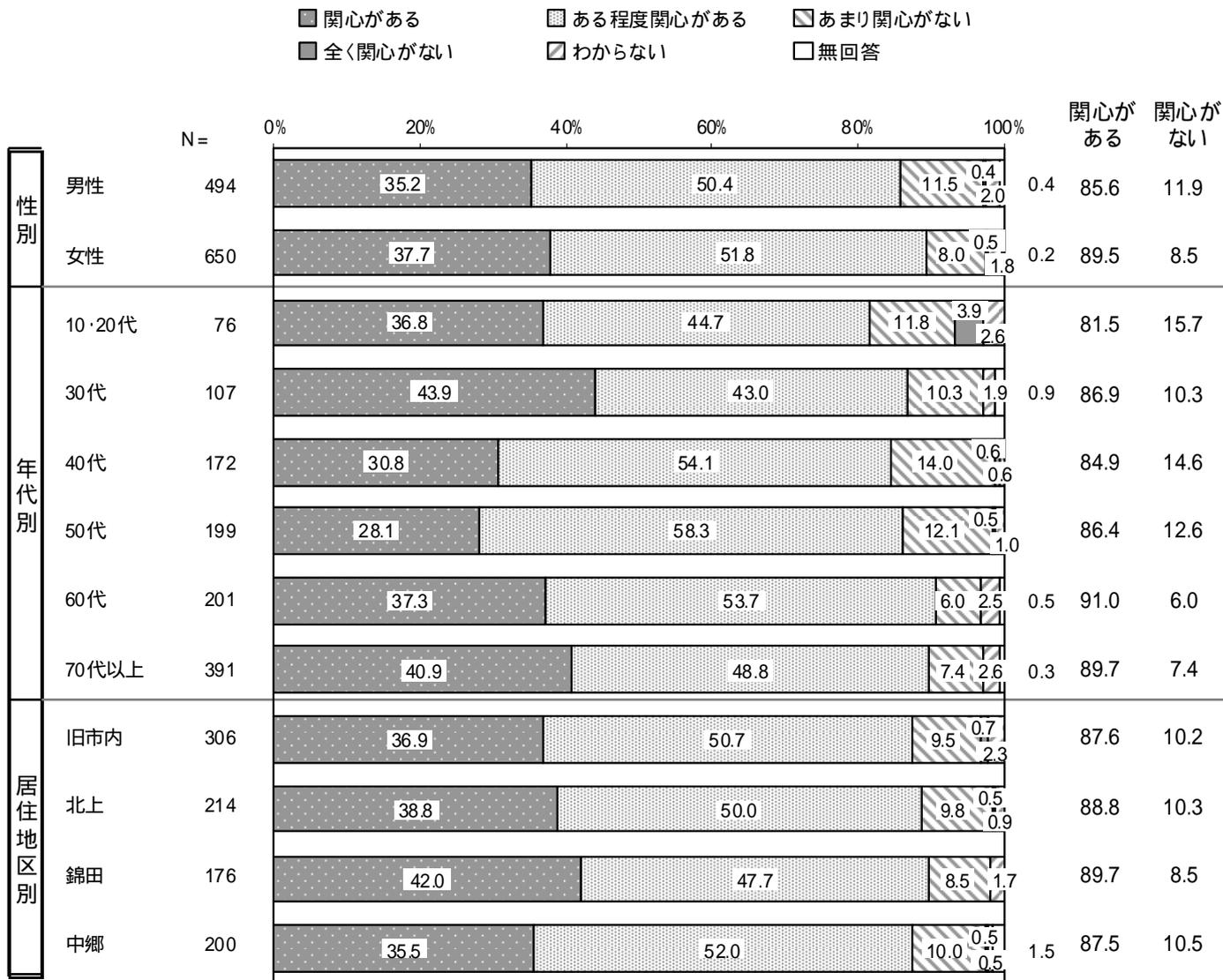


【属性別比較】

性別でみると、“関心がある”（男性 85.6%、女性 89.5%）は、大きな差異はみられません。

年代別でみると、“関心がある”は60代（91.0%）が、最も高くなっています。

居住地区別でみると、“関心がある”は錦田（89.7%）が、最も高くなっています。

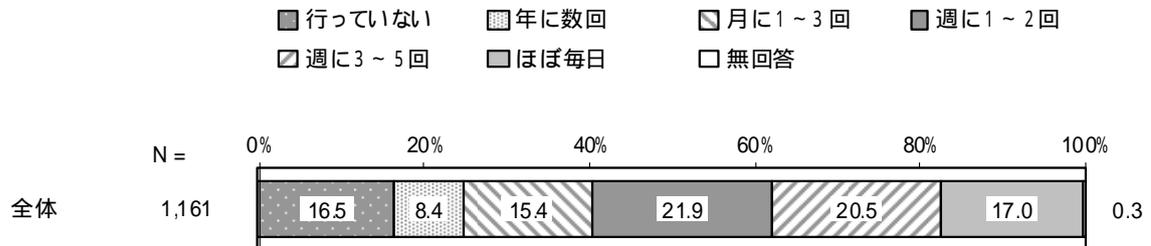


関心がある = 「関心がある」+「ある程度関心がある」
 関心がない = 「あまり関心がない」+「全く関心がない」

問 14 あなたは、この1年のあいだに運動を行いましたか。(運動には、ウォーキング [通勤・散歩・ぶらぶら歩き・一駅歩き等]を含みます。)(一つ)

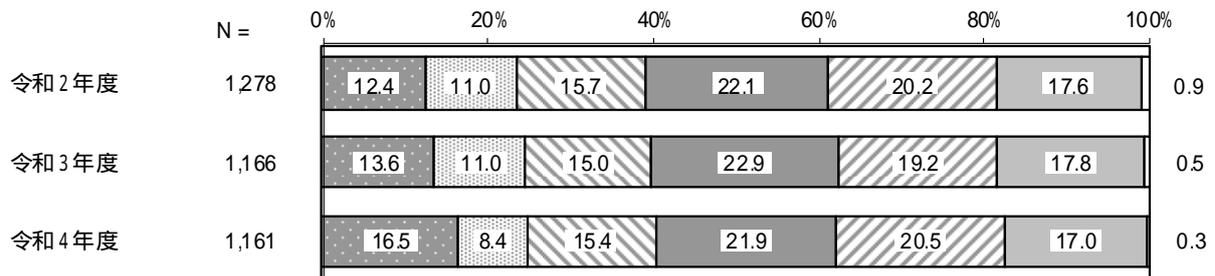
- 直近1年間で運動を行った人の頻度は「週に1～2回」が21.9% -

「週に1～2回」の割合が21.9%と最も高く、次いで「週に3～5回」の割合が20.5%、「ほぼ毎日」の割合が17.0%となっています。



【経年比較】

時系列で見ると、「行っていない」が増加傾向にあります。

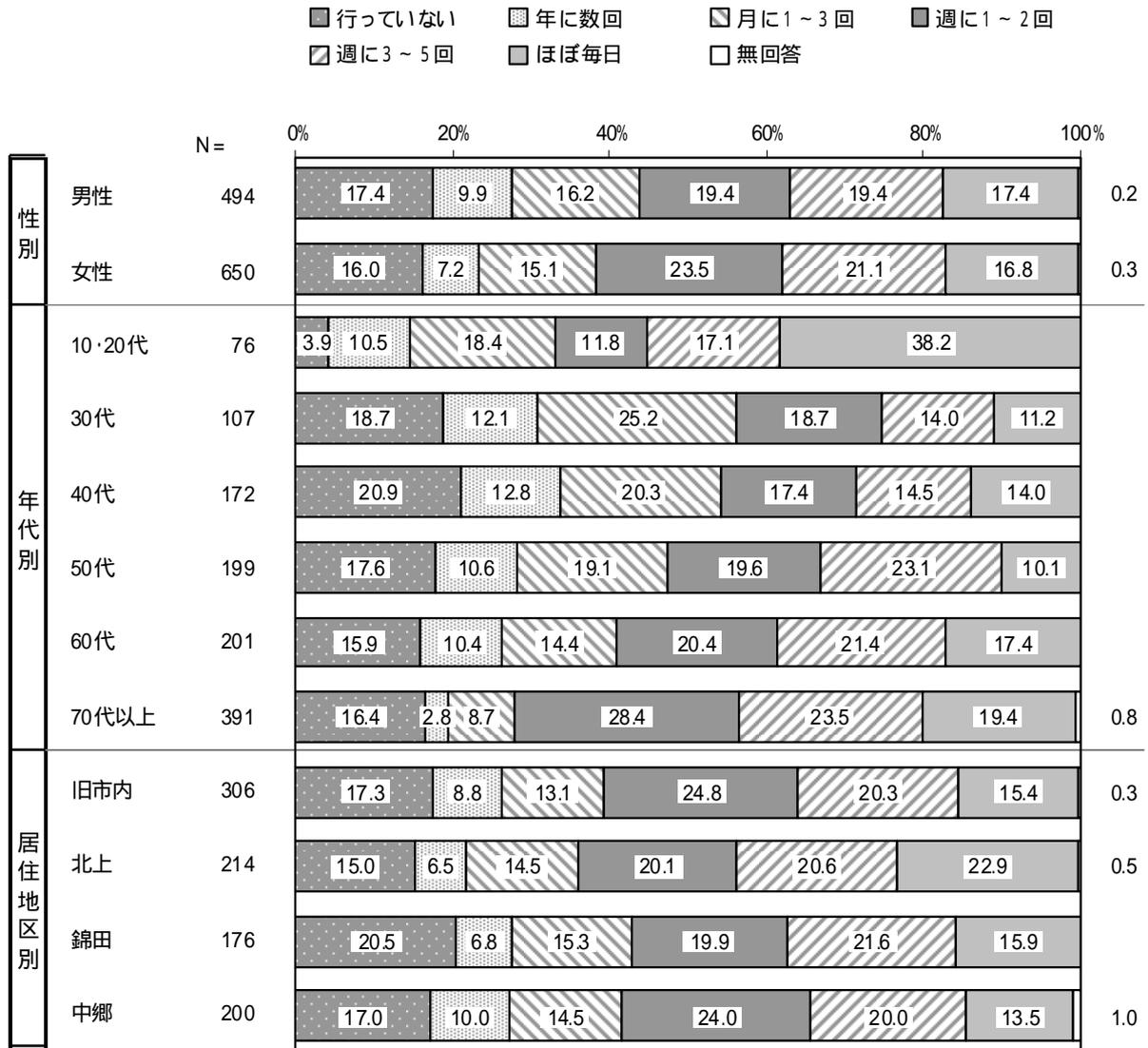


【属性別比較】

性別で見ると、「週に1～2回」は男性（19.4%）より女性（23.5%）の割合が、高くなっています。

年代別で見ると、「ほぼ毎日」は10代・20代（38.2%）が、最も高くなっています。

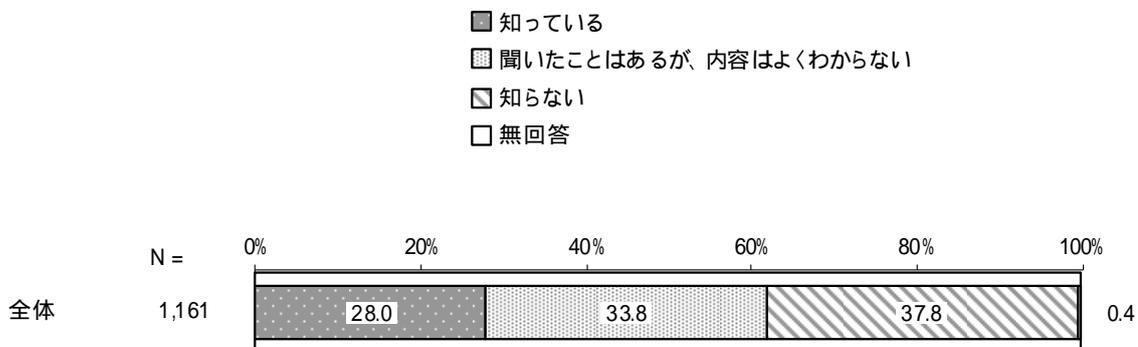
居住地区別で見ると、「ほぼ毎日」は北上（22.9%）が、最も高くなっています。



問 15 三島市が健幸都市（スマートウエルネスみしま）の取り組みを行っていることを
知っていますか。（ は一つ）

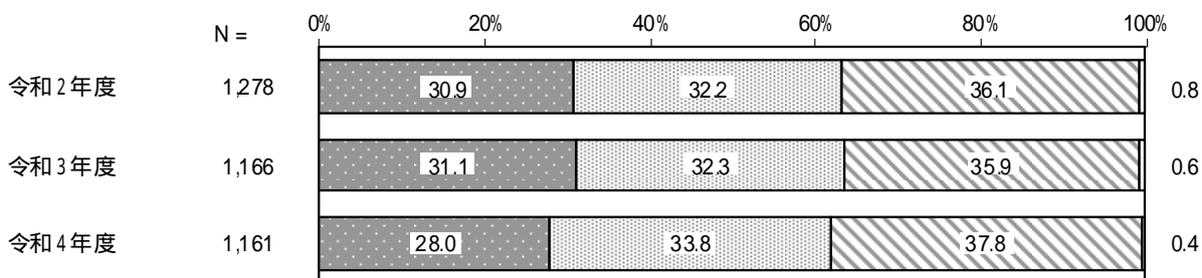
- 健幸都市の取り組みの認知状況は「知っている」が28.0% -

「知らない」の割合が37.8%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容はよくわからない」の割合が33.8%、「知っている」の割合が28.0%となっています。



【経年比較】

時系列で見ると、大きな差異はみられません。

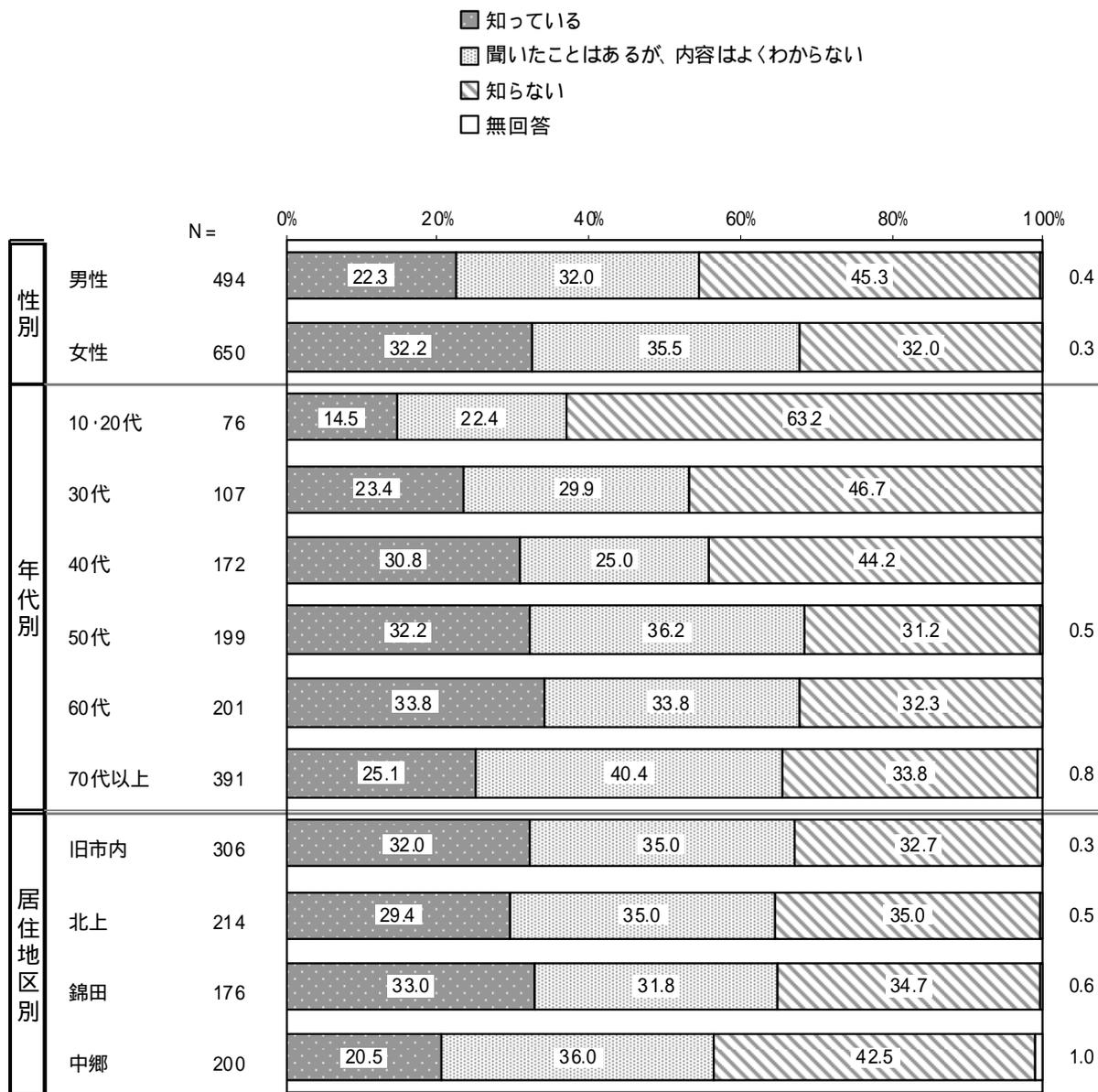


【属性別比較】

性別で見ると、男性では「知らない」(45.3%)が最も高く、女性では「聞いたことはあるが、内容はよくわからない」(35.5%)が、最も高くなっています。

年代別で見ると、「知らない」は10代・20代(63.2%)が、最も高くなっています。

居住地区別で見ると、「知らない」は中郷(42.5%)が、最も高くなっています。

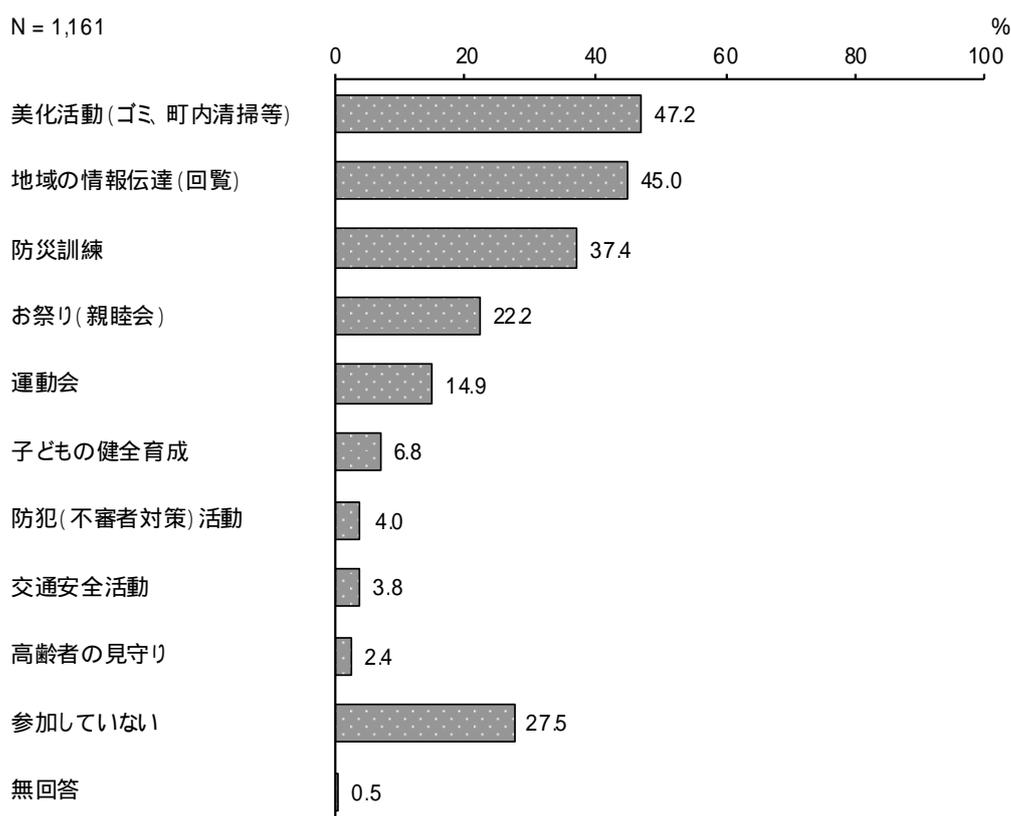


(7) 『自治会・町内会での活動』について

問 16 あなたは自治会・町内会のどのような活動に参加されていますか。
(はいくつでも)

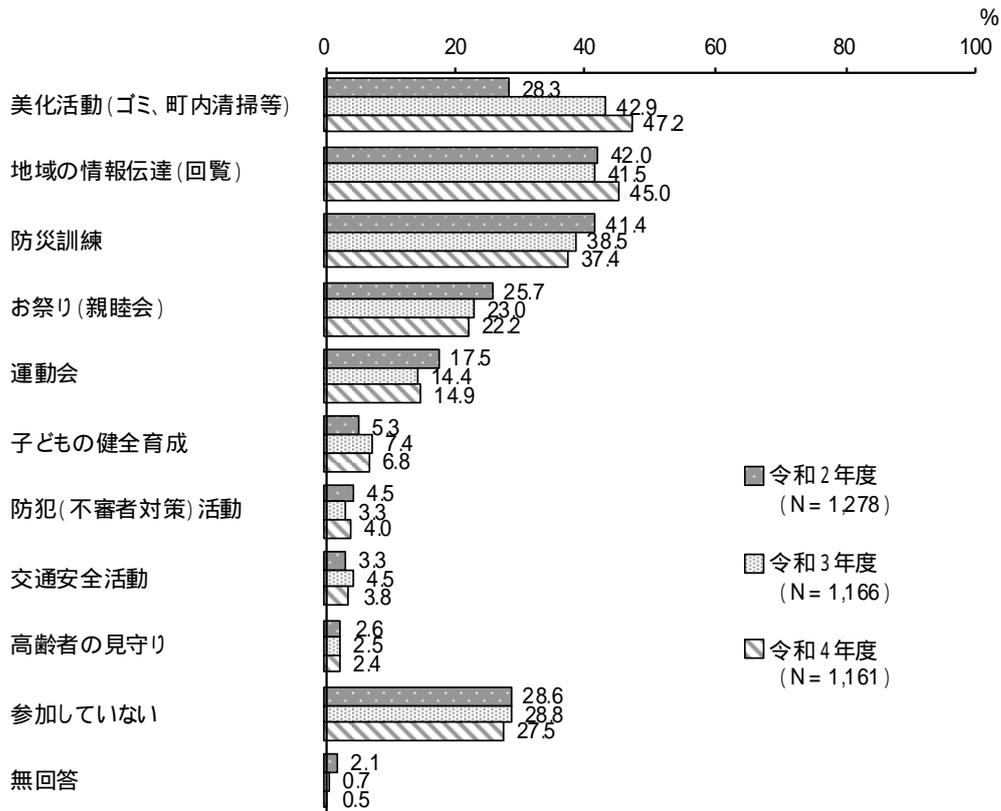
- 自治会・町内会の活動に“参加している”人は72.0% -

「美化活動（ゴミ、町内清掃等）」の割合が47.2%と最も高く、次いで「地域の情報伝達（回覧）」の割合が45.0%、「防災訓練」の割合が37.4%となっています。



【経年比較】

時系列で見ると、「美化活動（ゴミ、町内清掃等）」が増加しています。



※美化活動（ゴミ、町内清掃等）は、令和2年度までは「美化（ごみ）対策」

※子どもの健全育成は、令和2年度までは「児童・生徒の健全育成」

【属性別比較】

性別で見ると、男性は「美化活動（ゴミ、町内清掃等）」（47.4%）が最も高く、女性は「美化活動（ゴミ、町内清掃等）」及び「地域の情報伝達（回覧）」（46.8%）が、最も高くなっています。

年代別で見ると、10代・20代・30代では「参加していない」が、最も高くなっています。

居住地区別で見ると、旧市内では「地域の情報伝達（回覧）」が最も高く、北上・錦田・中郷では「美化活動（ゴミ、町内清掃等）」が最も高くなっています。

単位：%

区分		回答者数 (件)	防災訓練	高齢者の見守り	防犯(不審者対策)活動	子どもの健全育成	お祭り(親睦会)	運動会	美化活動 (ゴミ、町内清掃等)	交通安全活動	地域の情報伝達 (回覧)	参加していない	無回答
性別	男性	494	42.3	3.2	5.9	7.3	24.5	16.8	47.4	5.3	42.9	25.9	0.2
	女性	650	33.5	1.8	2.6	6.6	20.2	13.5	46.8	2.8	46.8	28.9	0.6
年代別	10・20代	76	18.4	—	1.3	—	11.8	5.3	17.1	—	23.7	55.3	—
	30代	107	12.1	0.9	1.9	12.1	16.8	11.2	28.0	2.8	34.6	48.6	—
	40代	172	32.6	1.7	4.7	14.0	25.0	22.1	50.6	4.7	43.0	24.4	—
	50代	199	45.2	2.5	2.5	6.5	26.1	21.1	48.7	4.5	53.8	22.1	—
	60代	201	40.8	3.0	4.0	6.0	26.9	13.9	54.2	3.0	55.2	20.4	—
	70代以上	391	44.2	3.3	5.6	4.3	19.7	12.0	51.9	4.6	43.2	24.3	1.3
居住地区別	旧市内	306	38.9	2.9	4.2	6.9	21.6	13.4	39.9	5.9	43.1	31.0	—
	北上	214	31.3	2.3	4.2	7.5	24.8	12.1	57.0	3.3	48.1	24.3	—
	錦田	176	43.2	2.3	4.5	5.7	19.3	11.9	51.1	2.3	47.2	23.3	1.7
	中郷	200	41.5	2.0	4.5	6.5	23.0	22.5	48.5	5.0	45.0	25.5	0.5

1位

2位

3位

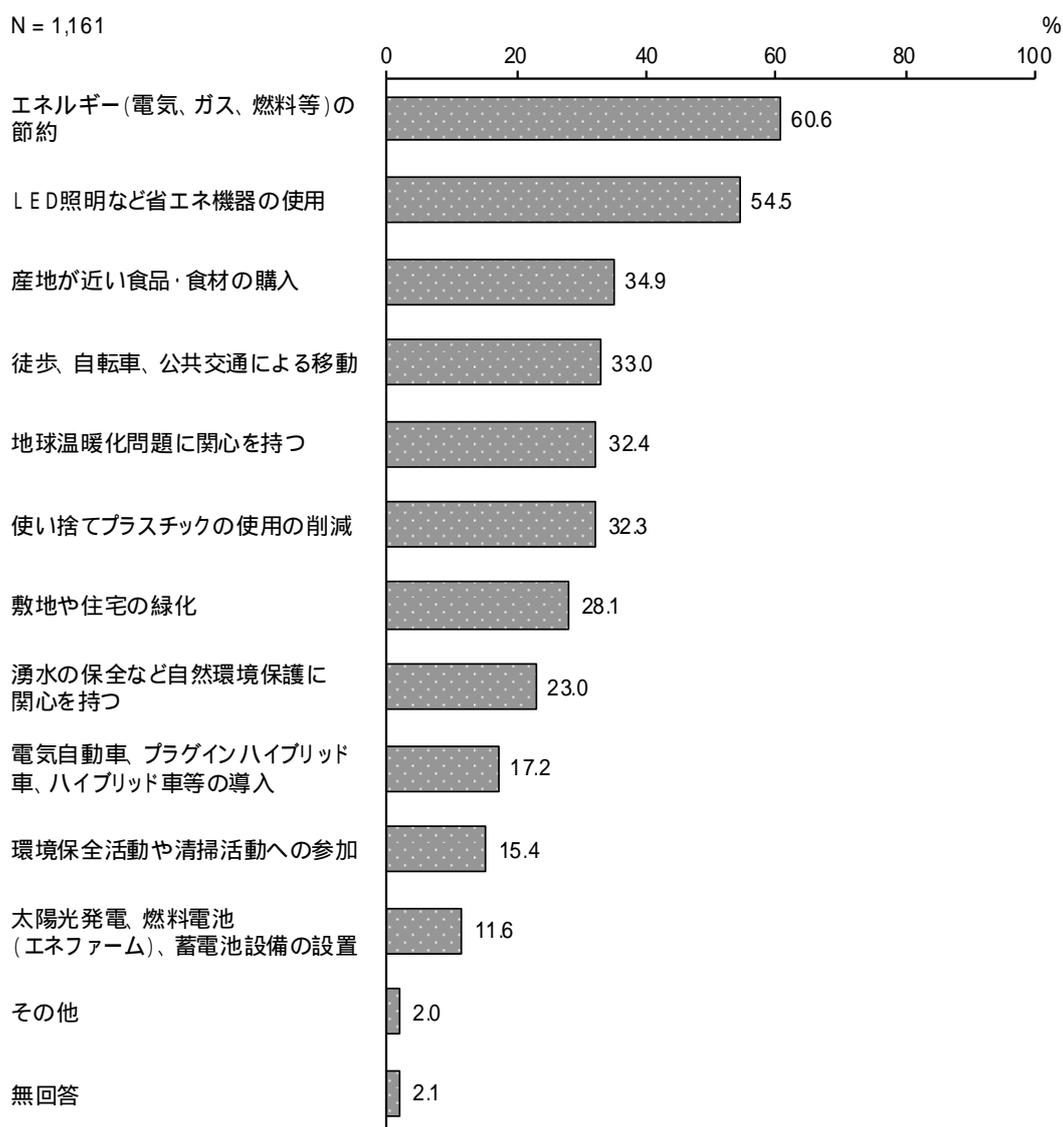
(8) 『環境への取り組み』について

問 17 あなたは環境に配慮するためどのような取り組みをしていますか。
(はいくつでも)

- 実行している環境への取り組みは

「エネルギー（電気、ガス、燃料等）の節約」が 60.6% -

「エネルギー（電気、ガス、燃料等）の節約」の割合が 60.6%と最も高く、次いで「LED照明など省エネ機器の使用」の割合が 54.5%、「産地が近い食品・食材の購入」の割合が 34.9%となっています。



【属性別比較】

性別でみると、「エネルギー（電気、ガス、燃料等）の節約」は男性（56.1%）より、女性（64.0%）の割合が、高くなっています。

年代別でみると、「LED照明など省エネ機器の使用」は60代（66.2%）が、最も高くなっています。

居住地区別でみると、「エネルギー（電気、ガス、燃料等）の節約」は中郷（63.5%）が、最も高くなっています。

単位：%

区分		回答者数（件）	エネルギー（電気、ガス、燃料等）の節約	LED照明など省エネ機器の使用	太陽光発電 燃料電池（エネファーム）、蓄電池設備の設置	電気自動車、プラグインハイブリッド車、ハイブリッド車等の導入	徒歩、自転車、公共交通による移動	敷地や住宅の緑化	使い捨てプラスチックの使用の削減	産地が近い食品・食材の購入	環境保全活動や清掃活動への参加	地球温暖化問題に関心を持つ	湧水の保全など自然環境保護に関心を持つ	その他	無回答
性別	男性	494	56.1	53.8	10.9	21.3	32.6	23.9	24.9	22.9	16.2	30.2	22.5	2.4	1.8
	女性	650	64.0	55.2	12.2	14.3	33.5	30.9	38.0	43.4	14.9	33.7	23.7	1.7	2.0
年代別	10・20代	76	47.4	39.5	2.6	6.6	44.7	11.8	26.3	32.9	—	19.7	14.5	1.3	1.3
	30代	107	51.4	43.0	15.9	16.8	29.0	14.0	22.4	20.6	7.5	20.6	10.3	6.5	1.9
	40代	172	54.1	52.9	15.1	14.0	23.3	18.0	26.2	27.3	12.2	20.9	14.0	1.7	2.3
	50代	199	63.3	58.8	13.6	26.6	32.2	18.1	35.7	35.7	15.1	33.2	20.1	2.5	1.5
	60代	201	62.7	66.2	13.4	27.4	35.8	30.3	34.8	39.3	17.9	32.8	26.9	1.0	1.0
	70代以上	391	66.2	53.2	8.7	11.3	35.3	43.5	36.3	39.1	21.0	42.2	32.0	1.3	2.6
居住地区別	旧市内	306	59.8	51.6	10.5	17.3	39.5	24.2	35.0	40.5	14.4	36.3	28.4	3.9	1.3
	北上	214	63.1	58.4	15.9	15.0	29.9	32.7	36.0	33.6	19.2	34.6	22.9	1.9	0.5
	錦田	176	61.4	55.1	10.8	18.2	23.9	32.4	28.4	37.5	19.3	30.1	19.3	1.7	2.8
	中郷	200	63.5	52.0	13.5	22.0	36.5	29.5	31.5	30.0	15.5	33.0	22.0	0.5	3.0

1位

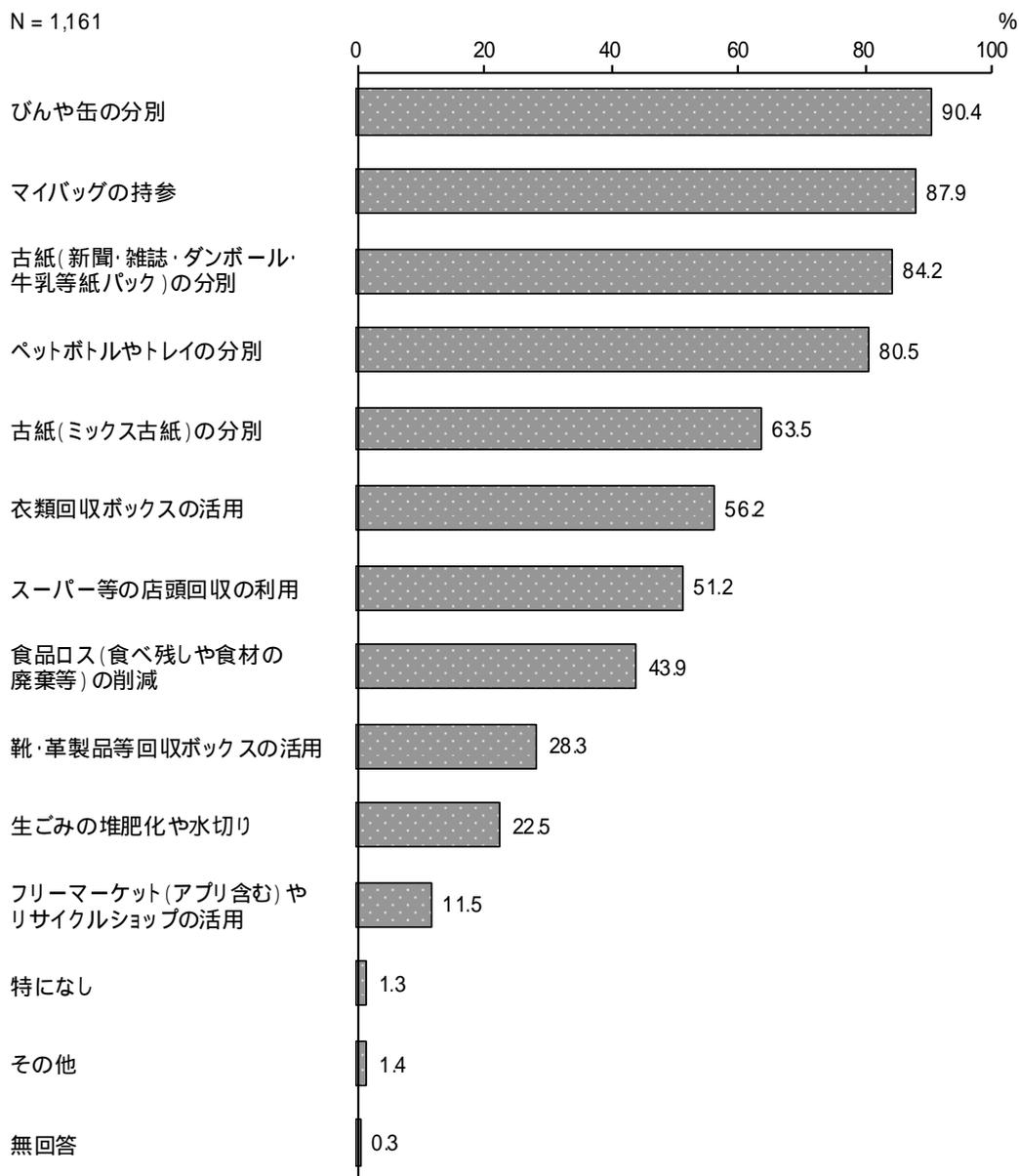
2位

3位

問 18 ゴミの減量やリサイクルについて、どのような取り組みをしていますか。
(はいいくつでも)

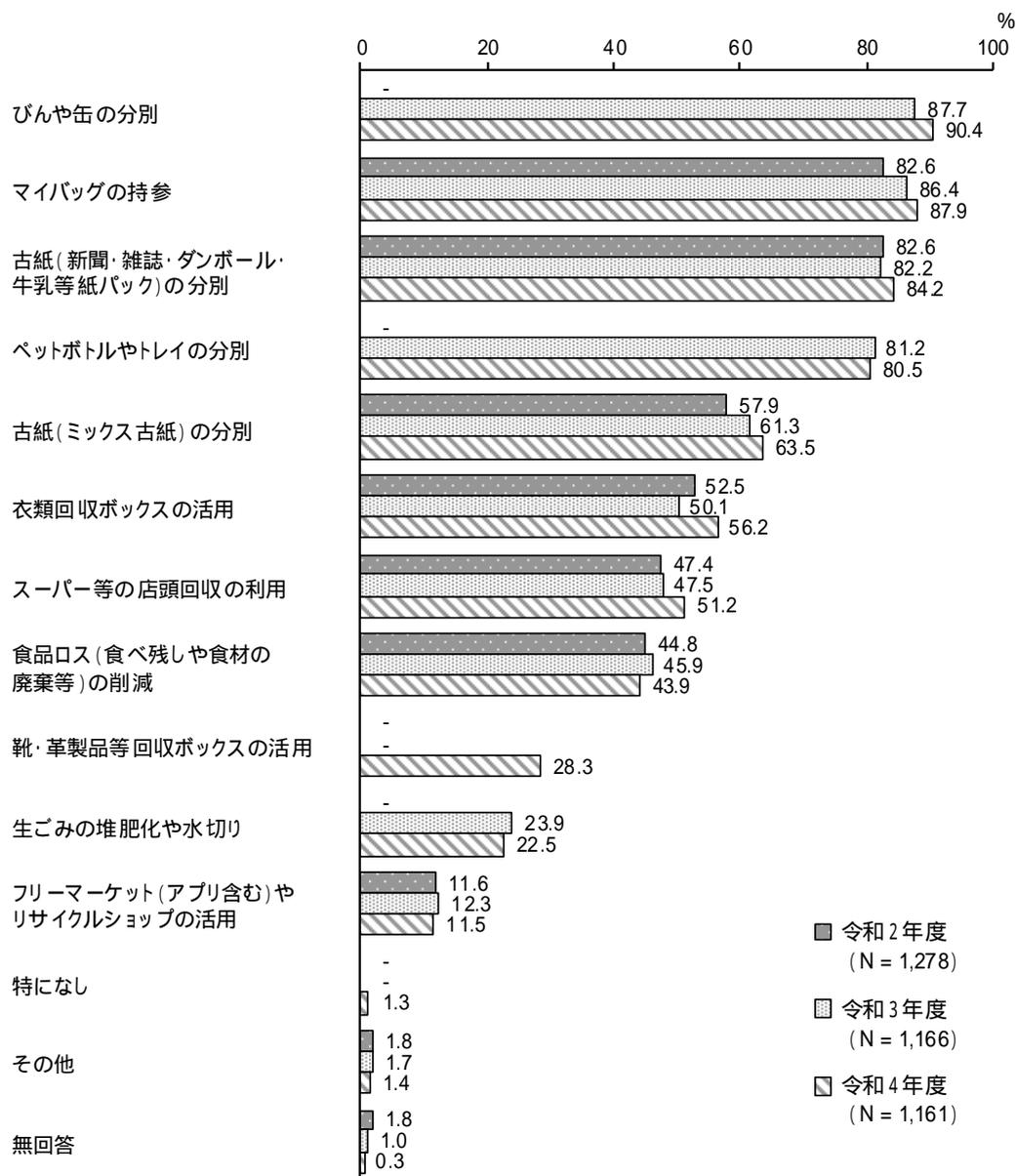
- 実行しているゴミの減量・リサイクルへの取り組みは「びんや缶の分別」が 90.4% -

「びんや缶の分別」の割合が 90.4%と最も高く、次いで「マイバッグの持参」の割合が 87.9%、「古紙（新聞・雑誌・ダンボール・牛乳等紙パック）の分別」の割合が 84.2%となっています。



【経年比較】

時系列でみると、「びんや缶の分別」「マイバッグの持参」「古紙（ミックス古紙）の分別」「衣類回収ボックスの活用」「スーパー等の店頭回収の利用」が増加しています。



※ 「びんや缶の分別」「ペットボトルやトレイの分別」は令和3年度に新設

※ 「生ごみの堆肥化や水切り」は令和2年度までは「生ごみの堆肥化」と「生ごみの水切り」の両方ありますが、令和3年度から選択肢を一つにまとめています

※ 「靴・革製品等回収ボックスの活用」「特になし」は令和4年度に新設

【属性別比較】

性別で見ると、男性では「びんや缶の分別」(87.9%)が最も高く、女性では「マイバッグの持参」(93.2%)が最も高くなっています。

年代別で見ると、40代・50代・60代・70代以上では「びんや缶の分別」が、最も高くなっています。

居住地区別で見ると、旧市内・北上・中郷では「びんや缶の分別」が最も高く、錦田では「マイバッグの持参」が、最も高くなっています。

単位：%

区分		回答者数(件)	生ごみの堆肥化や水切り	古紙(新聞・雑誌・ダンボール・牛乳等紙パック)の分別	古紙(ミックス古紙)の分別	びんや缶の分別	ペットボトルやトレイの分別	スーパー等の店頭回収の利用	フリーマーケット(アプリ含む)やリサイクルショップの活用	食品ロス(食べ残しや食材の廃棄等)の削減	マイバッグの持参	衣類回収ボックスの活用	靴・革製品等回収ボックスの活用	特になし	その他	無回答
性別	男性	494	16.6	83.4	58.7	87.9	75.9	42.9	7.3	37.4	80.8	45.5	23.3	1.8	0.6	—
	女性	650	26.6	84.6	67.1	92.3	84.2	57.7	14.8	48.6	93.2	64.5	31.8	0.9	2.0	0.5
年代別	10・20代	76	6.6	55.3	46.1	76.3	68.4	35.5	25.0	35.5	84.2	31.6	17.1	5.3	—	—
	30代	107	10.3	65.4	38.3	85.0	76.6	43.9	15.9	36.4	85.0	48.6	26.2	2.8	0.9	—
	40代	172	16.3	77.3	58.1	87.2	80.8	52.9	17.4	35.5	79.7	53.5	28.5	3.5	1.2	—
	50代	199	22.1	90.5	66.8	93.0	83.4	65.8	10.6	49.7	92.0	64.8	33.7	—	2.0	—
	60代	201	27.4	90.5	69.2	93.5	82.1	52.2	8.5	44.3	92.5	62.2	30.3	—	1.5	—
	70代以上	391	28.6	91.3	71.6	93.1	81.8	47.6	7.2	48.1	88.5	56.8	26.6	0.5	1.5	0.8
居住地区別	旧市内	306	20.9	83.7	65.0	91.8	81.4	52.9	12.7	45.1	89.2	55.2	28.1	1.0	1.6	0.3
	北上	214	23.4	86.4	62.1	92.5	80.4	54.2	10.3	44.9	88.3	61.2	33.6	—	1.4	0.5
	錦田	176	24.4	85.2	63.1	88.1	83.5	50.6	11.9	44.3	89.8	60.2	26.1	1.7	1.7	0.6
	中郷	200	22.5	88.0	65.0	91.5	81.5	51.0	9.5	47.5	89.5	55.0	29.5	1.0	1.0	0.5

1位

2位

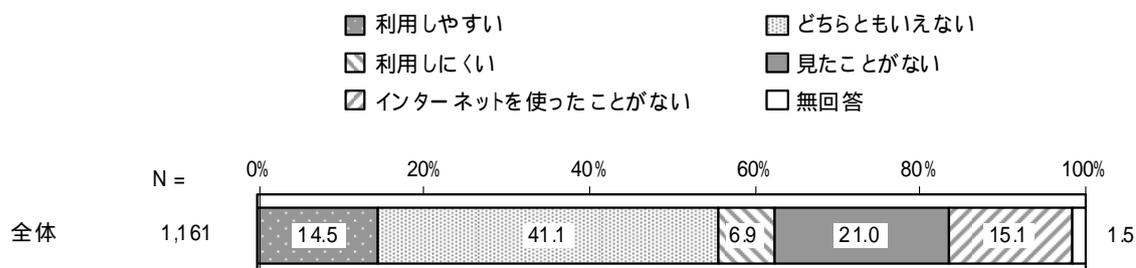
3位

(9) 『広報活動』について

問 19 三島市公式ホームページは利用しやすいですか。(一つ)

- 三島市公式ホームページが利用しやすい人は、14.5% -

「どちらともいえない」の割合が41.1%と最も高く、次いで「見たことがない」の割合が21.0%、「インターネットを使ったことがない」の割合が15.1%となっています。

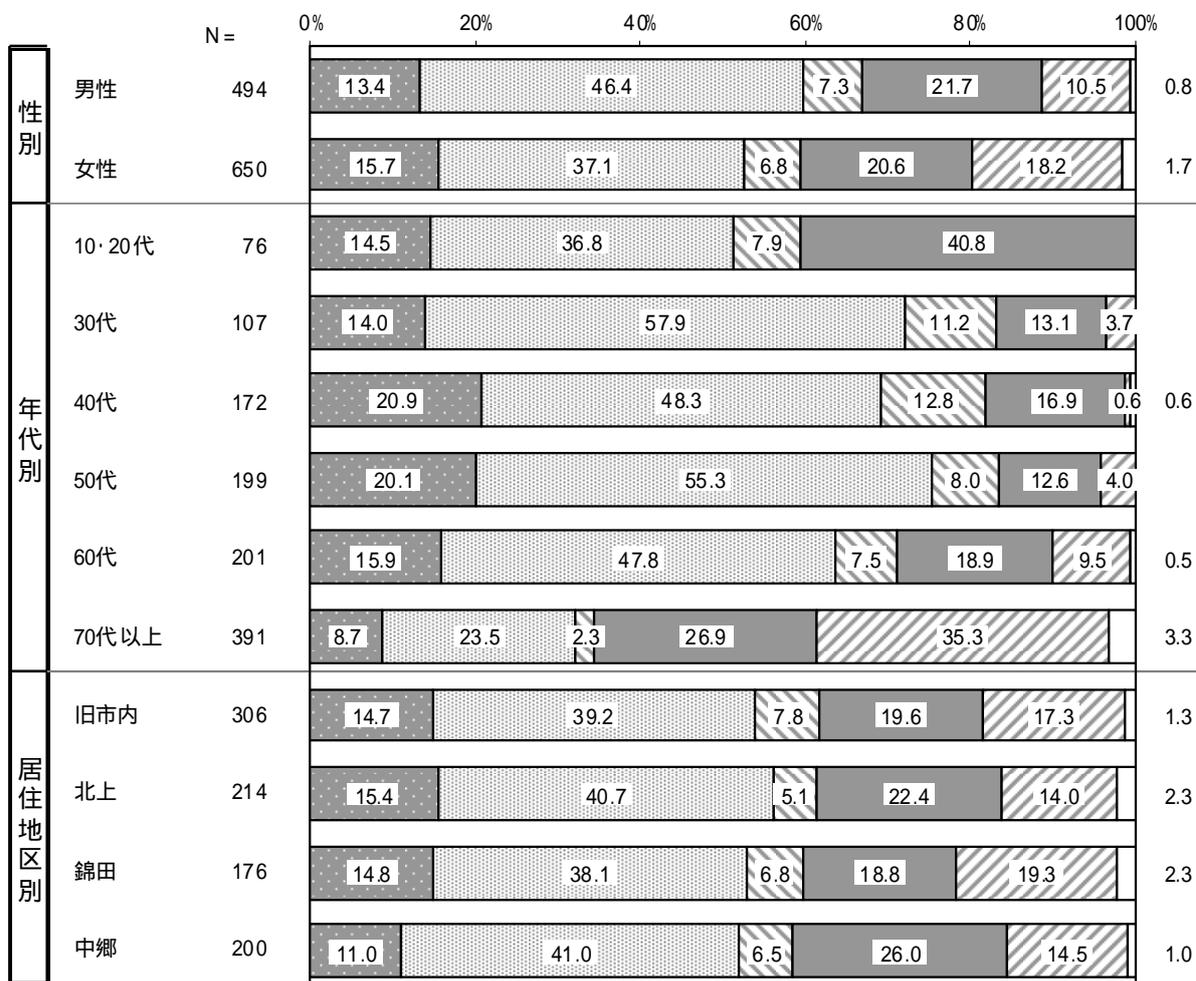


【属性別比較】

性別でみると、男性・女性ともに「どちらともいえない」(男性46.4%、女性37.1%)が、最も高くなっています。

年代別でみると、「見たことがない」は10・20代(40.8%)が、最も高くなっています。

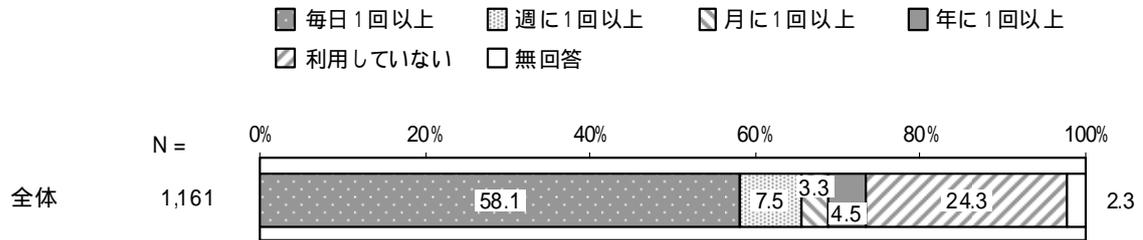
居住地区別でみると、「見たことがない」は中郷(26.0%)が、最も高くなっています。



問 20 インターネットをどのくらいの頻度で利用していますか。(は一つ)

- インターネットの利用頻度は、毎日1回以上の人 が 58.1% -

「毎日1回以上」の割合が58.1%と最も高く、次いで「利用していない」の割合が24.3%となっています。

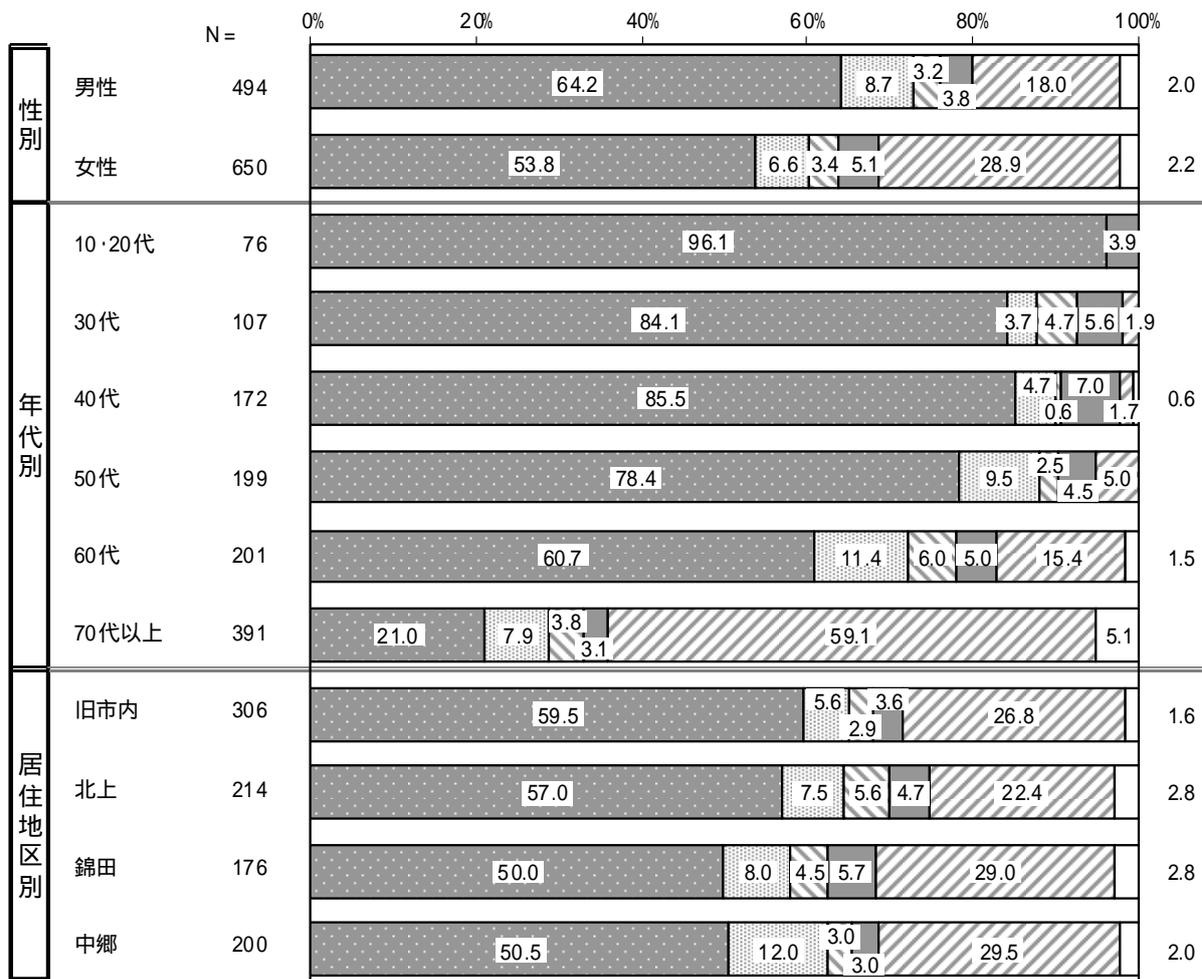


【属性別比較】

性別でみると、「毎日1回以上」は女性(53.8%)より男性(64.2%)の割合が、高くなっています。

年代別でみると、「毎日1回以上」は10・20代(96.1%)が最も高く、「利用していない」は70代以上(59.1%)が、最も高くなっています。

居住地区別でみると、「毎日1回以上」は旧市内(59.5%)が、最も高くなっています。

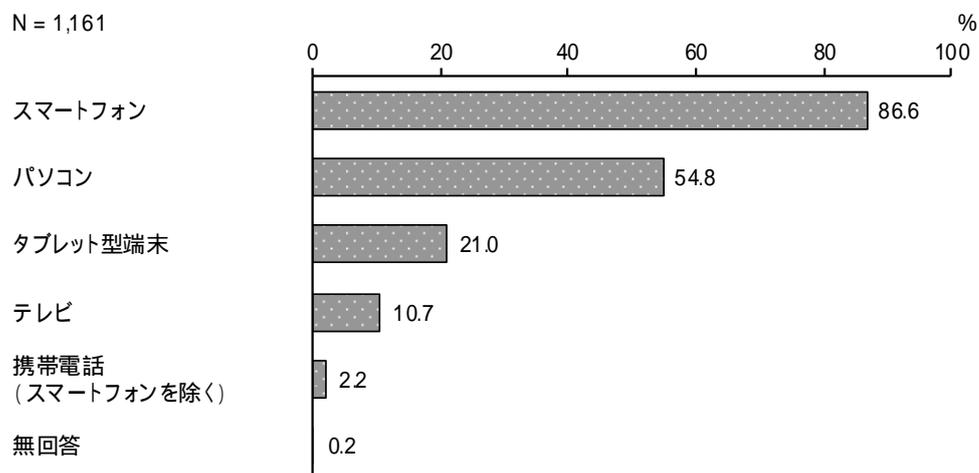


問 20 で「毎日 1 回以上」～「年に 1 回以上」を選択された方にお聞きします。

問 21 インターネットをどのような端末で利用しますか。(はいくつでも)

- スマートフォンでインターネットを利用する人が 86.6% -

「スマートフォン」の割合が 86.6%と最も高く、次いで「パソコン」の割合が 54.8%、「タブレット型端末」の割合が 21.0%となっています。



【属性別比較】

性別で見ると、「スマートフォン」(男性 83.5%、女性 89.5%)は、大きな差異はみられません。

年代別で見ると、「スマートフォン」は30代(100%)が、最も高くなっています。

居住地区別で見ると、「スマートフォン」は錦田(87.5%)が、最も高くなっています。

単位：%

区分		回答者数(件)	パソコン	スマートフォン	タブレット型端末	テレビ	携帯電話(スマートフォンを除く)	無回答
性別	男性	395	71.4	83.5	24.8	10.9	2.0	—
	女性	448	40.4	89.5	17.6	10.5	2.5	0.4
年代別	10・20代	76	47.4	98.7	32.9	21.1	—	—
	30代	105	53.3	100.0	19.0	16.2	1.0	—
	40代	168	51.8	93.5	22.6	9.5	—	—
	50代	189	54.5	91.0	19.0	11.6	4.2	—
	60代	167	59.3	79.0	18.6	6.0	1.8	1.2
	70代以上	140	60.0	65.7	18.6	6.4	5.0	—
居住地区別	旧市内	219	58.0	85.8	19.2	7.8	1.8	—
	北上	160	53.8	83.1	18.8	13.8	2.5	0.6
	錦田	120	46.7	87.5	22.5	11.7	1.7	—
	中郷	137	50.4	83.2	21.2	11.7	5.1	0.7

1位

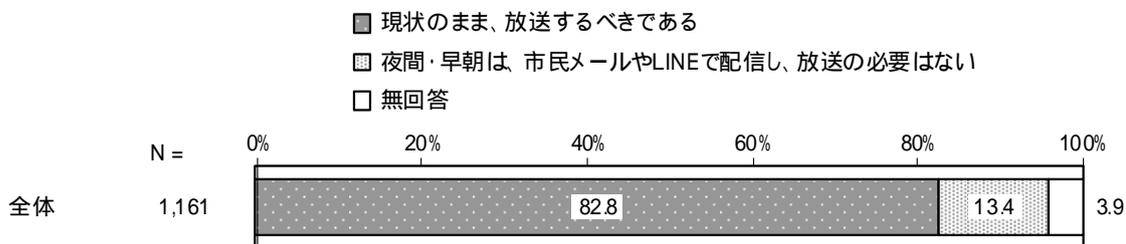
2位

3位

問 22 同報無線では、火災のお知らせに限り、夜間・早朝（午後9時～翌朝7時）でもサイレン吹鳴と発生場所のお知らせをしています。どう思いますか。（ は一つ）

- 同報無線（火災のお知らせ）について、現状のまま放送すべきという人が82.8% -

「現状のまま、放送すべきである」の割合が82.8%、「夜間・早朝は、市民メールやLINEで配信し、放送の必要はない」の割合が13.4%となっています。

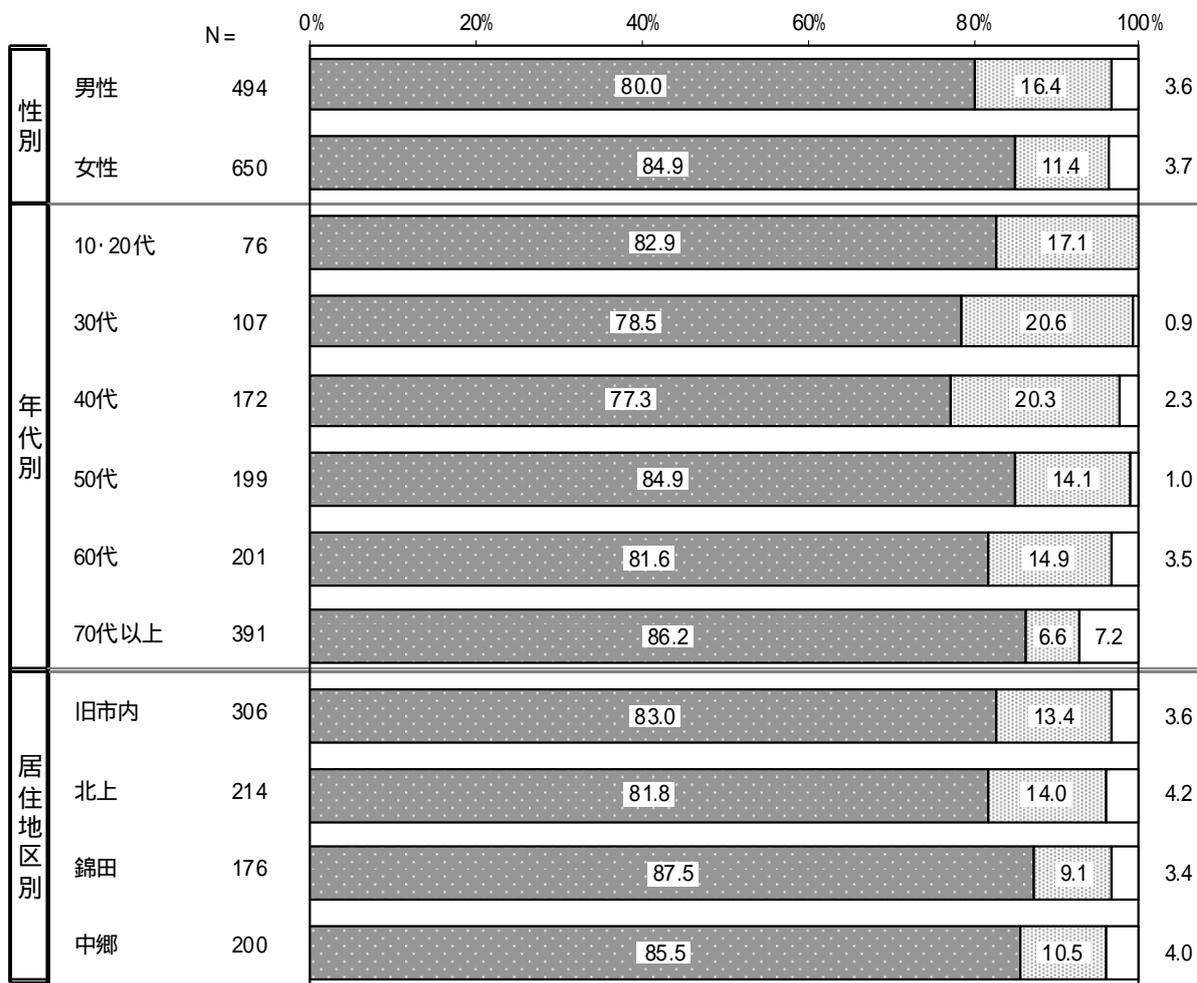


【属性別比較】

性別でみると、「現状のまま、放送すべきである」（男性80.0%、女性84.9%）は、大きな差異はみられません。

年代別でみると、「現状のまま、放送すべきである」は70代以上（86.2%）が、最も高くなっています。

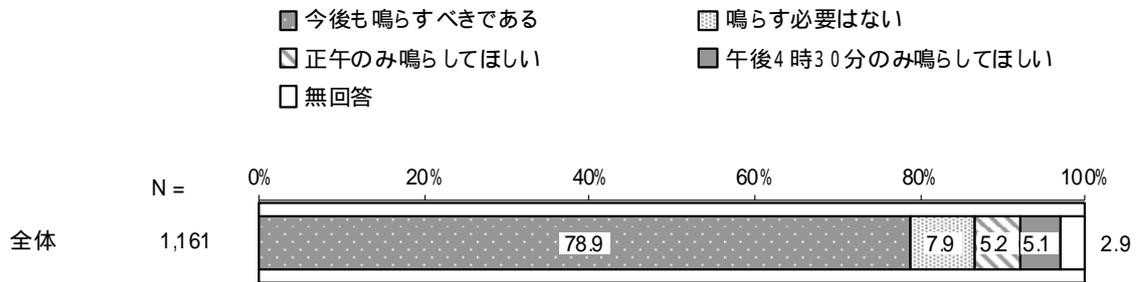
居住地区別でみると、「現状のまま、放送すべきである」は錦田（87.5%）が、最も高くなっています。



問 23 同報無線では、正午と午後4時30分に時報チャイムを鳴らしていますが、どう
 思いますか。(は一つ)

- 正午と午後4時30分の時報チャイムを今後も鳴らすべきという人が78.9% -

「今後も鳴らすべきである」の割合が78.9%と最も高くなっています。

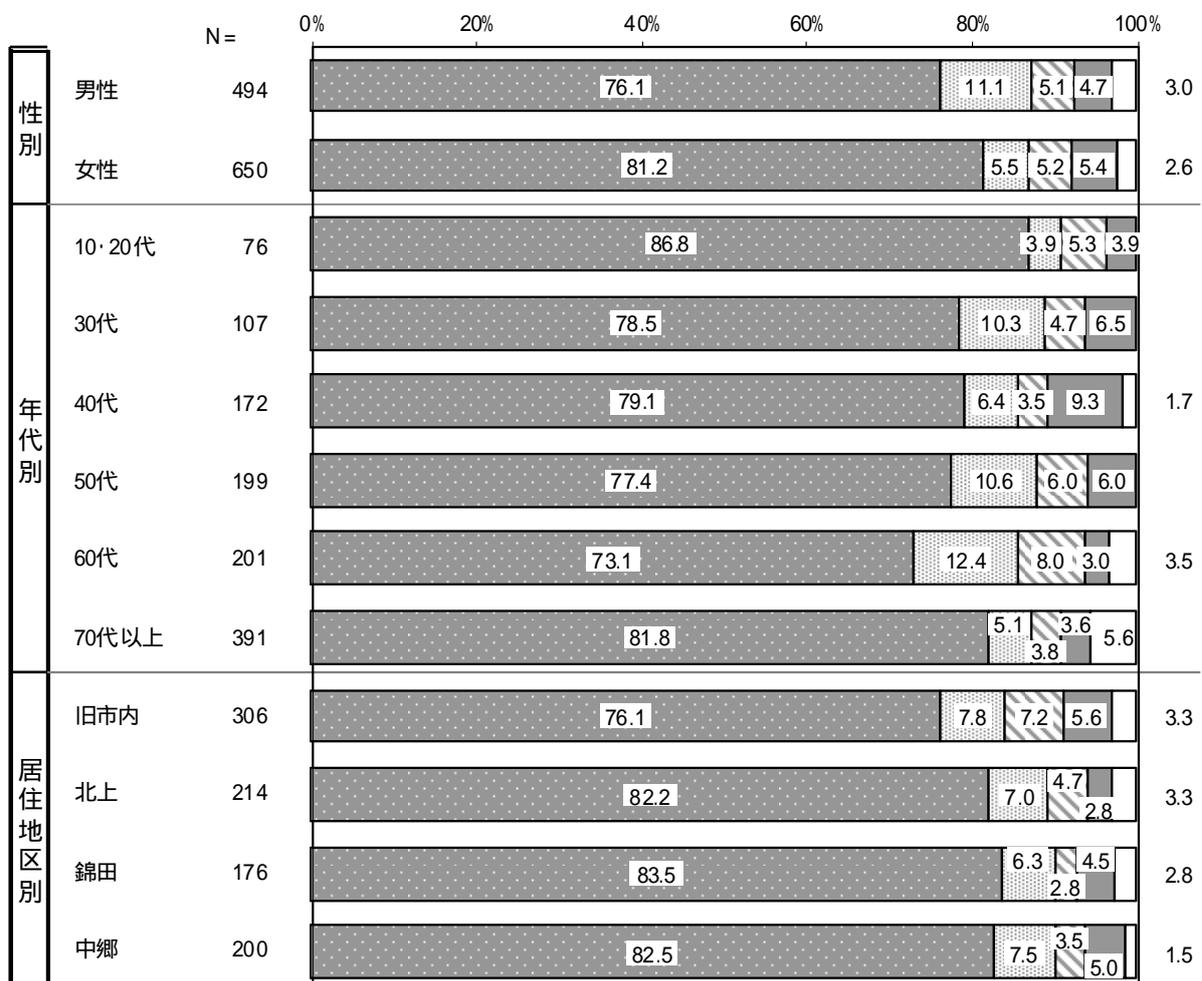


【属性別比較】

性別でみると、「今後も鳴らすべきである」(男性76.1%、女性81.2%)は、大きな差異はみられません。

年代別でみると、「今後も鳴らすべきである」は10・20代(86.8%)が、最も高くなっています。

居住地区別でみると、「今後も鳴らすべきである」は錦田(83.5%)が、最も高くなっています。

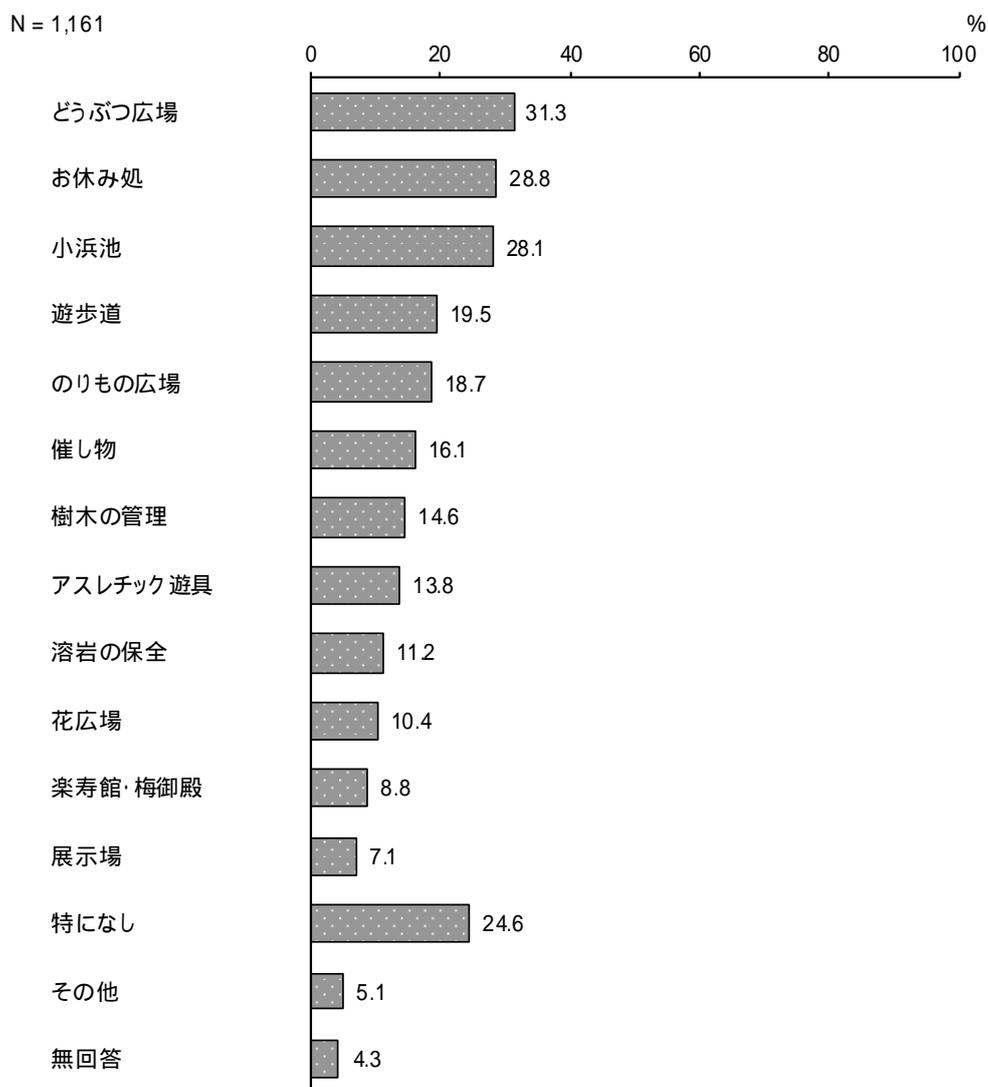


(10) 『楽寿園』について

問 24 楽寿園内でもっと良くしてほしいところはどこですか。(はいくつでも)

- 楽寿園内でもっと良くしてほしいのは、どうぶつ広場が 31.3% -

「どうぶつ広場」の割合が 31.3%と最も高く、次いで「お休み処」の割合が 28.8%、「小浜池」の割合が 28.1%となっています。



【属性別比較】

性別で見ると、男性では「小浜池」と「どうぶつ広場」(33.2%)が、女性では「どうぶつ広場」(30.3%)が、最も高くなっています。

年代別で見ると、10代・20代・30代・40代では「どうぶつ広場」、50代では「お休み処」、60代・70代以上では「小浜池」が、最も高くなっています。

居住地区別で見ると、旧市内・北上・中郷では「どうぶつ広場」、錦田では「小浜池」が、最も高くなっています。

単位：%

区分		回答者数(件)	小浜池	楽寿館・梅御殿	どうぶつ広場	のりもの広場	花広場	樹木の管理	溶岩の保全	遊歩道	催し物	お休み処	展示場	アスレチック遊具	特になし	その他	無回答
性別	男性	494	33.2	11.1	33.2	21.3	10.3	14.6	13.6	24.1	16.4	28.7	8.5	13.8	24.5	5.5	3.0
	女性	650	23.8	6.8	30.3	17.1	10.3	14.5	9.4	16.0	15.8	28.9	6.0	14.2	24.8	4.8	4.6
年代別	10・20代	76	14.5	3.9	35.5	22.4	11.8	14.5	6.6	11.8	14.5	28.9	10.5	22.4	30.3	5.3	1.3
	30代	107	19.6	4.7	57.0	39.3	9.3	14.0	6.5	15.9	14.0	32.7	6.5	37.4	15.0	8.4	—
	40代	172	19.8	7.0	39.5	27.9	5.2	7.0	7.0	14.5	20.9	25.6	2.9	22.1	23.8	1.7	2.9
	50代	199	28.6	11.1	36.7	21.1	10.6	15.6	8.5	20.6	16.6	40.2	8.0	13.1	23.6	5.5	1.5
	60代	201	38.8	10.4	33.8	17.4	12.4	21.4	15.4	24.9	18.9	24.4	9.0	10.0	22.4	3.5	2.5
	70代以上	391	30.7	9.7	16.4	8.2	11.5	14.1	14.8	20.5	13.3	25.8	6.9	4.9	28.1	6.4	7.9
居住地区別	旧市内	306	29.1	10.1	30.7	19.0	8.8	14.4	13.7	21.2	14.1	29.7	9.5	11.1	25.8	4.2	3.3
	北上	214	29.4	8.9	33.2	16.4	12.6	16.8	12.1	21.0	16.4	28.5	7.5	14.5	22.9	3.3	3.7
	錦田	176	30.7	9.1	29.5	17.0	8.0	13.6	8.5	15.9	11.4	26.1	6.8	9.1	30.1	5.7	4.0
	中郷	200	26.5	9.0	30.5	20.0	13.0	14.0	9.5	20.5	22.0	29.5	4.5	17.0	23.0	6.0	5.5

1 位

2 位

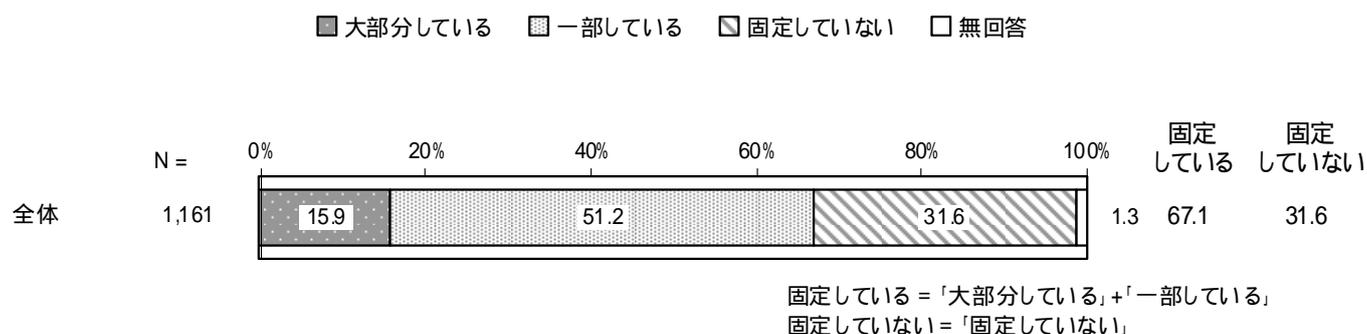
3 位

(11) 『災害対策』について

問 25 あなたは地震に備えて家具類の固定をしていますか。(一つ)

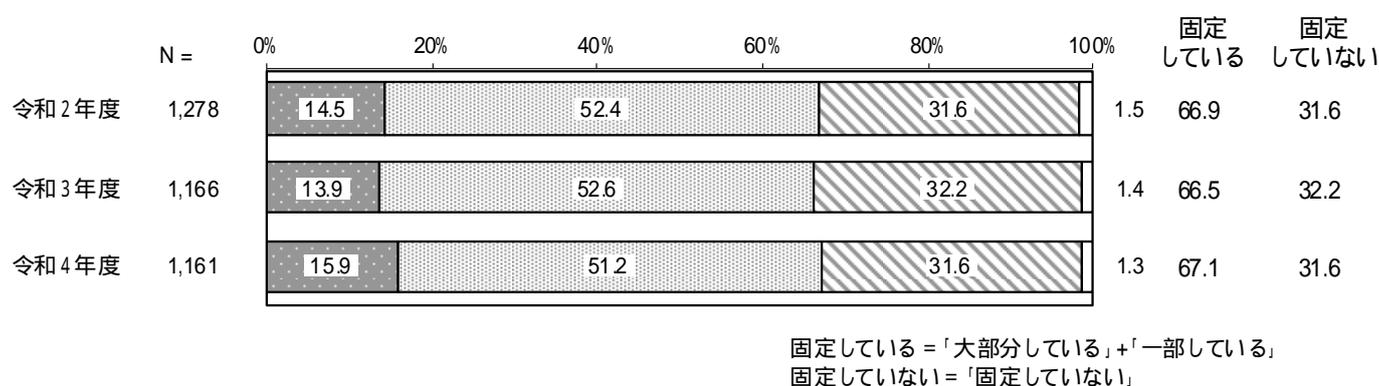
- 地震に備えて家具類を “ 固定している ” 人は 67.1% -

「一部している」の割合が 51.2%と最も高く、次いで「固定していない」の割合が 31.6%、「大部分している」の割合が 15.9%となっています。



【経年比較】

時系列でみると、大きな差異はみられません。

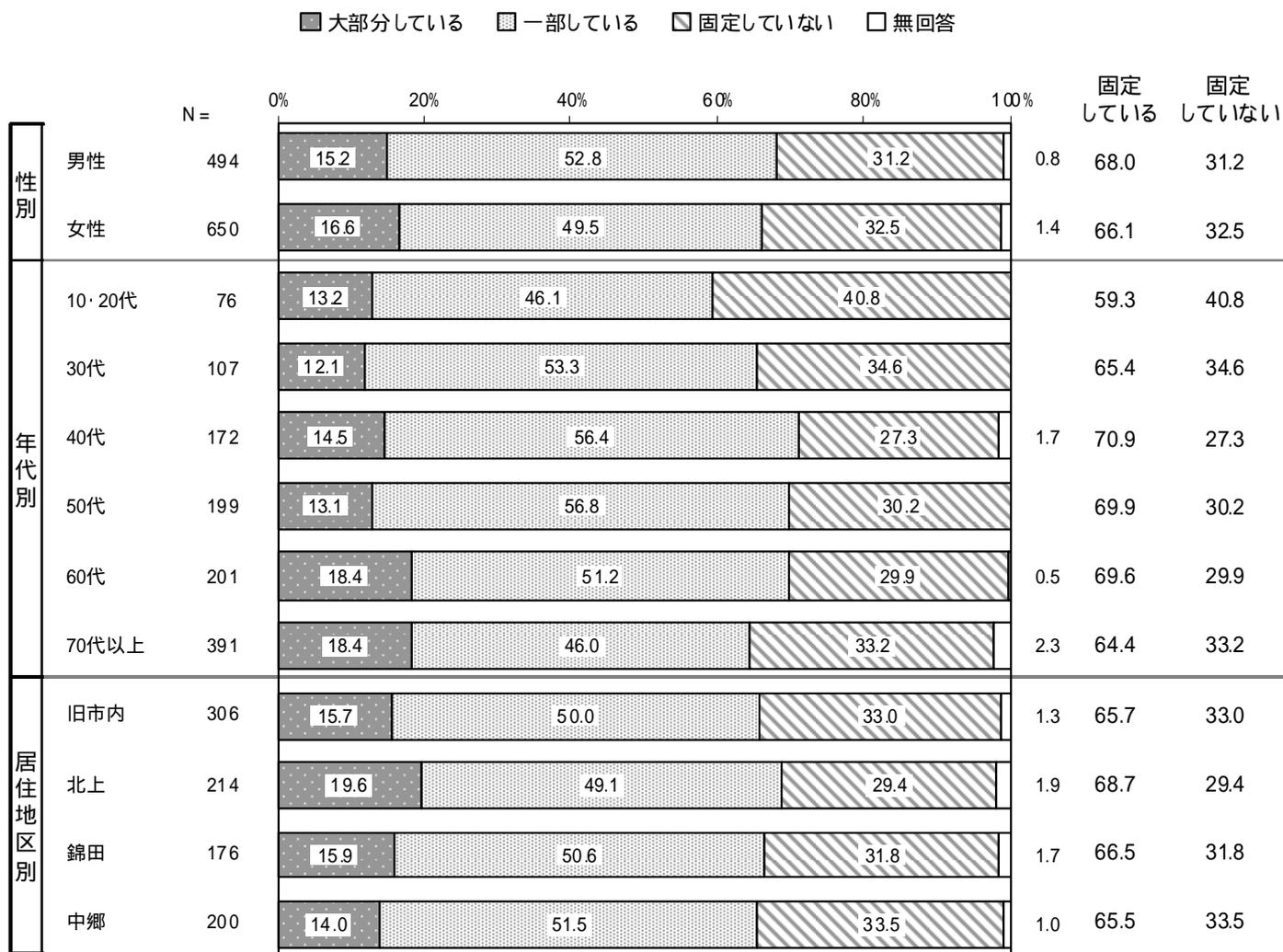


【属性別比較】

性別で見ると、“固定している”（男性 68.0%、女性 66.1%）は、大きな差異はみられません。

年代別で見ると、“固定している”は40代（70.9%）が、最も高くなっています。

居住地区別で見ると、“固定している”は北上（68.7%）が、最も高くなっています。

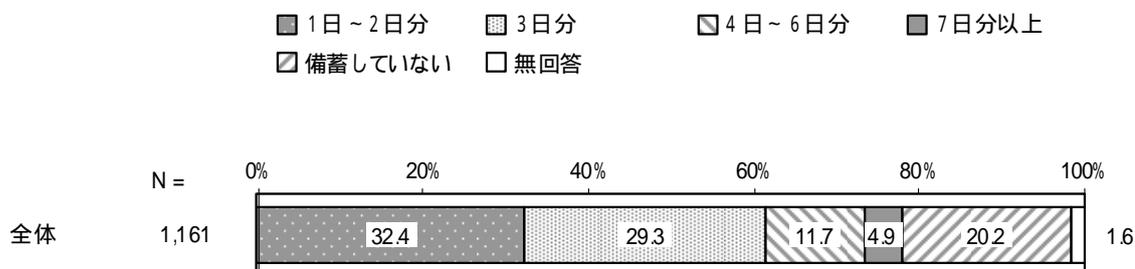


固定している = 「大部分している」+「一部している」
 固定していない = 「固定していない」

問 26 あなたは災害時に何日分の食料（レトルト食品、ラーメン、缶詰などを含む）や飲料水の備蓄（ひとり1日あたり3リットルで計算）をしていますか。（ は一つ）

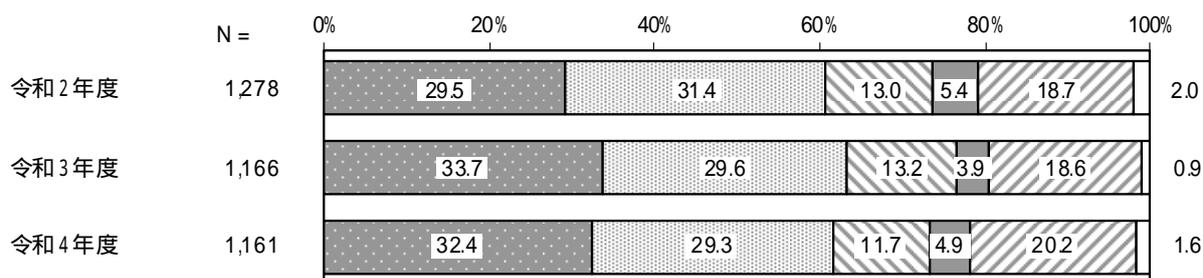
- 災害時のために備蓄されている食料・飲料水の量は「1日～2日分」が32.4% -

「1日～2日分」の割合が32.4%と最も高く、次いで「3日分」の割合が29.3%、「備蓄していない」の割合が20.2%となっています。



【経年比較】

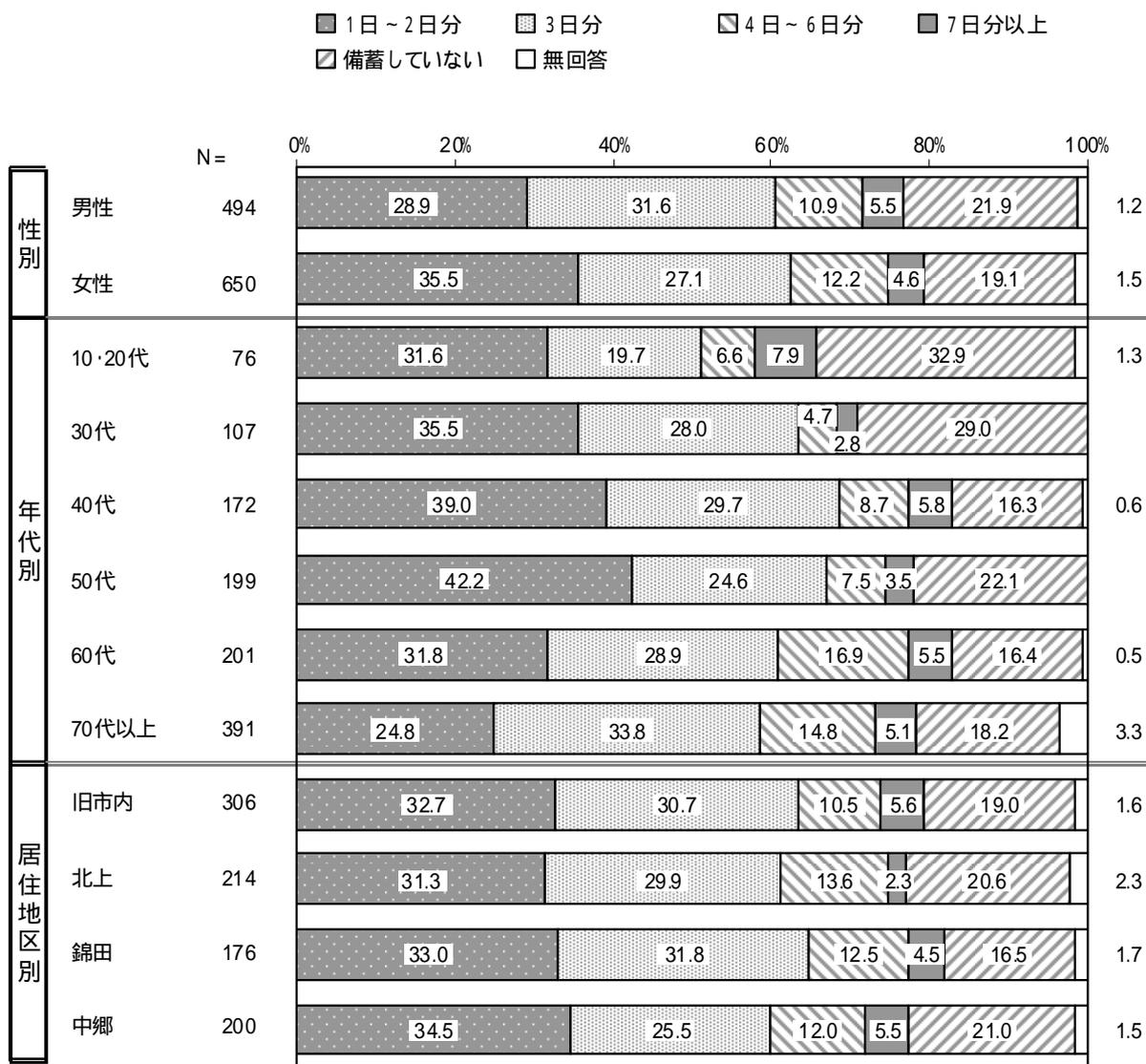
時系列でみると、大きな差異はみられません。



【属性別比較】

性別で見ると、男性では「3日分」(31.6%)が最も高く、女性では「1日～2日分」(35.5%)が、最も高くなっています。

年代別で見ると、「備蓄していない」は10代・20代(32.9%)が、最も高くなっています。居住地区別で見ると、「備蓄していない」は中郷(21.0%)が、最も高くなっています。

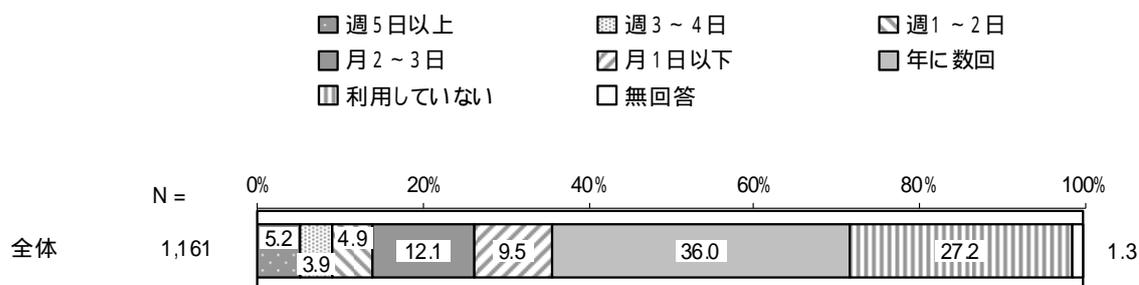


(12) 『公共交通』について

問 27 過去1年間に公共交通（電車、バス、タクシー）をどの程度利用しましたか。
（ ひとつ）

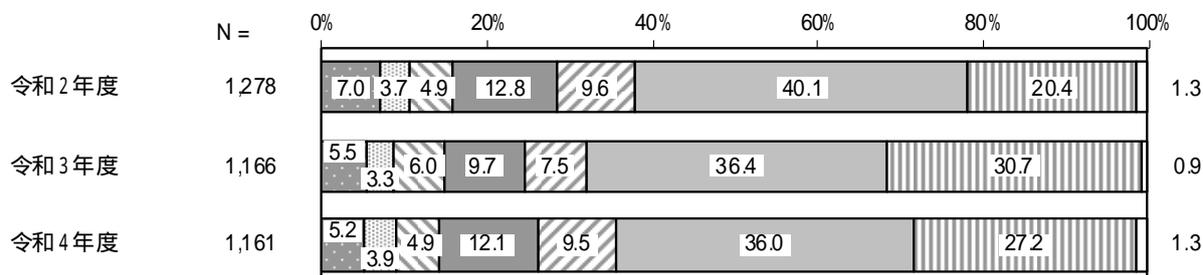
- 過去1年間に公共交通を利用したのは「年に数回」が36.0% -

「年に数回」の割合が36.0%と最も高く、次いで「利用していない」の割合が27.2%、「月2～3日」の割合が12.1%となっています。



【経年比較】

時系列で見ると、「年に数回」が減少傾向にあります。

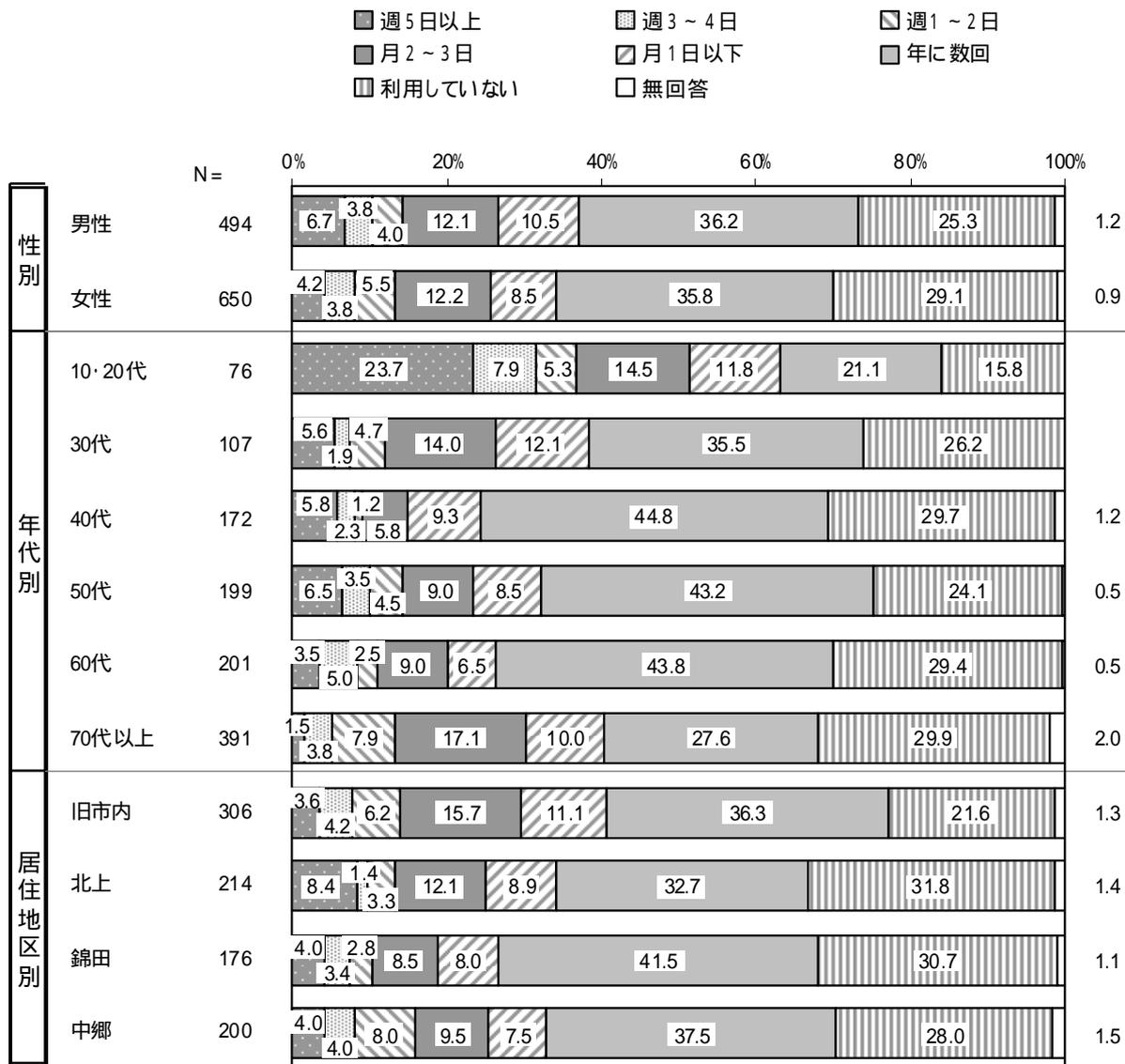


【属性別比較】

性別で見ると、男性・女性ともに「年に数回」（男性36.2%、女性35.8%）が、最も高くなっています。

年代別で見ると、「週5日以上」は10・20代（23.7%）が、最も高くなっています

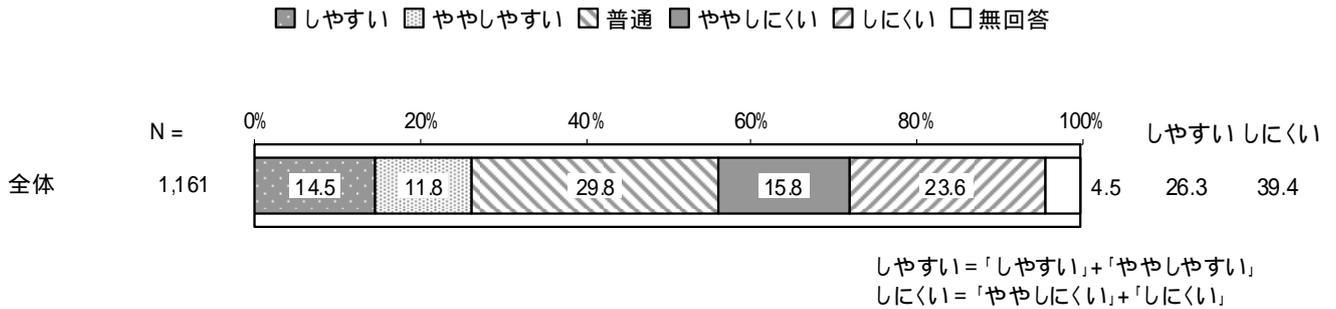
居住地区別で見ると、「年に数回」は錦田（41.5%）が、最も高くなっています。



問 28 公共交通（電車、バス、タクシー）を利用しての外出や移動がしやすいですか。
（ は一つ）

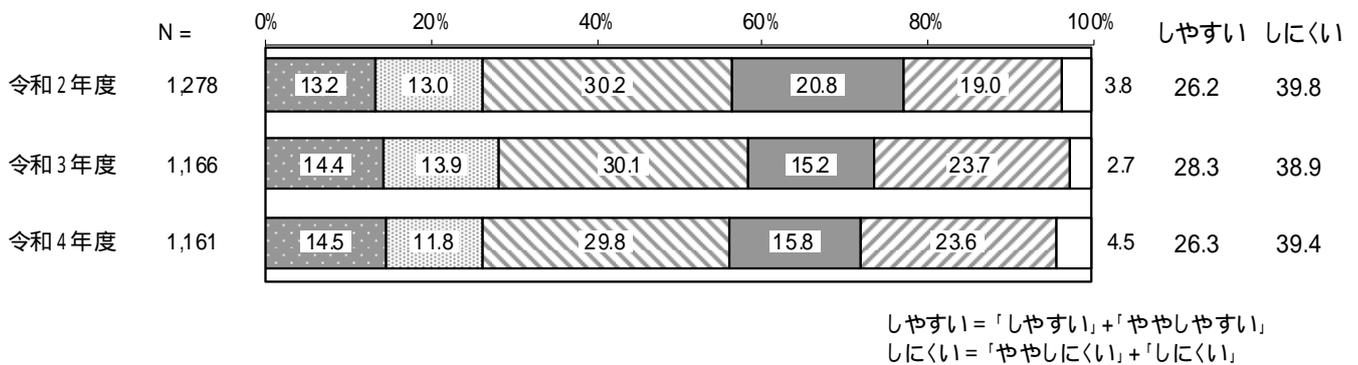
- 公共交通を利用して“移動しやすい”と思う人は26.3% -

「しやすい」(14.5%)と「ややしやすい」(11.8%)を合わせた“しやすい”の割合は26.3%、「普通」の割合は29.8%、「ややしにくい」(15.8%)と「しにくい」(23.6%)を合わせた“しにくい”の割合は39.4%となっています。



【経年比較】

時系列でみると、大きな差異はみられません。



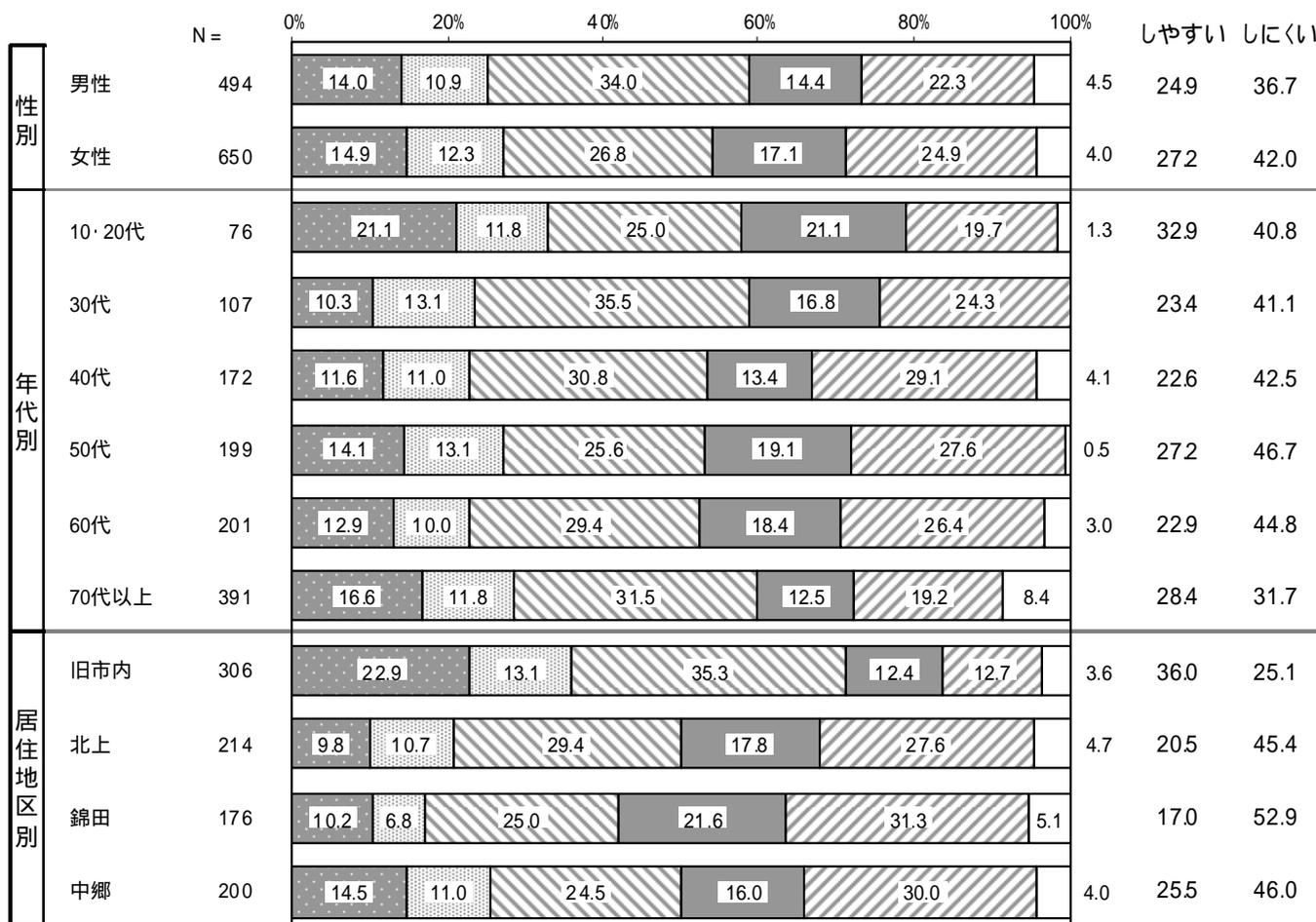
【属性別比較】

性別で見ると、“しやすい”（男性 24.9%、女性 27.2%）は、大きな差異はみられません。

年代別で見ると、“しやすい”は10・20代（32.9%）が、最も高くなっています。

居住地区別で見ると、“しやすい”は旧市内（36.0%）が、最も高くなっています。

■ しやすい □ ややしやす □ 普通 ■ ややにくい □ しにくい □ 無回答



しやすい = 「しやすい」 + 「ややしやすい」
 しにくい = 「ややにくい」 + 「しにくい」

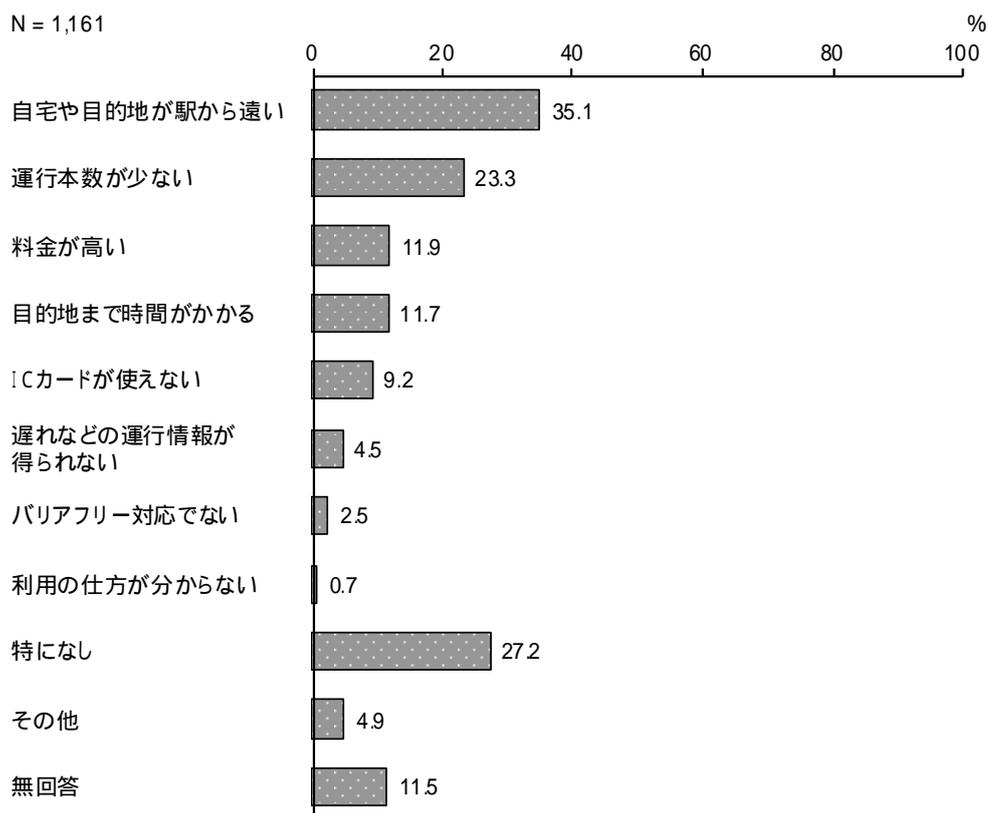
問 29 公共交通（電車、バス、タクシー）を利用時の外出や移動がしにくいと感じる理由は何ですか。（はいいくつでも）

（ 1 ） 鉄道の場合

- 鉄道を利用時の外出や移動がしにくいと感じる理由は

「自宅や目的地が駅から遠い」が 35.1% -

「自宅や目的地が駅から遠い」の割合が 35.1% と最も高く、次いで「特になし」の割合が 27.2%、「運行本数が少ない」の割合が 23.3% となっています。



【属性別比較】

性別で見ると、男性・女性ともに「自宅や目的地が駅から遠い」（男性 33.0%、女性 36.8%）が、最も高くなっています。

年代別で見ると、「自宅や目的地が駅から遠い」は10・20代（43.4%）が、最も高くなっています。

居住地区別で見ると、旧市内を除き、すべての地区で「自宅や目的地が駅から遠い」が、最も高くなっています。

単位：%

区分		回答者数（件）	利用の仕方が分からない	自宅や目的地が駅から遠い	運行本数が少ない	目的地まで時間がかかる	遅れなどの運行情報が得られない	料金が高い	ICカードが使えない	バリアフリー対応でない	特になし	その他	無回答
性別	男性	494	1.0	33.0	22.1	13.4	4.9	13.2	10.3	2.4	27.7	5.1	9.9
	女性	650	0.3	36.8	24.5	10.6	4.3	10.9	8.6	2.6	26.8	4.9	12.2
年代別	10・20代	76	1.3	43.4	31.6	13.2	15.8	17.1	25.0	2.6	21.1	2.6	3.9
	30代	107	1.9	38.3	29.9	13.1	5.6	8.4	17.8	4.7	25.2	7.5	2.8
	40代	172	0.6	41.3	21.5	14.0	4.7	12.8	10.5	—	25.6	5.2	5.8
	50代	199	—	37.2	28.1	15.1	4.0	16.6	11.1	2.0	28.6	4.0	4.5
	60代	201	0.5	33.8	30.8	12.9	2.0	15.4	8.0	2.5	25.9	3.5	10.0
	70代以上	391	0.5	30.2	14.6	7.9	3.3	7.2	3.3	3.3	29.4	5.9	21.2
居住地区別	旧市内	306	1.0	22.2	18.0	9.5	5.9	11.8	14.1	2.9	34.6	5.2	11.8
	北上	214	0.9	36.4	27.1	11.7	3.3	10.3	6.5	1.9	25.7	4.7	12.6
	錦田	176	—	42.6	22.2	13.6	4.0	10.8	7.4	1.7	21.0	6.3	11.9
	中郷	200	0.5	43.5	25.5	11.5	3.5	13.5	7.5	1.5	23.5	4.5	10.5

1 位

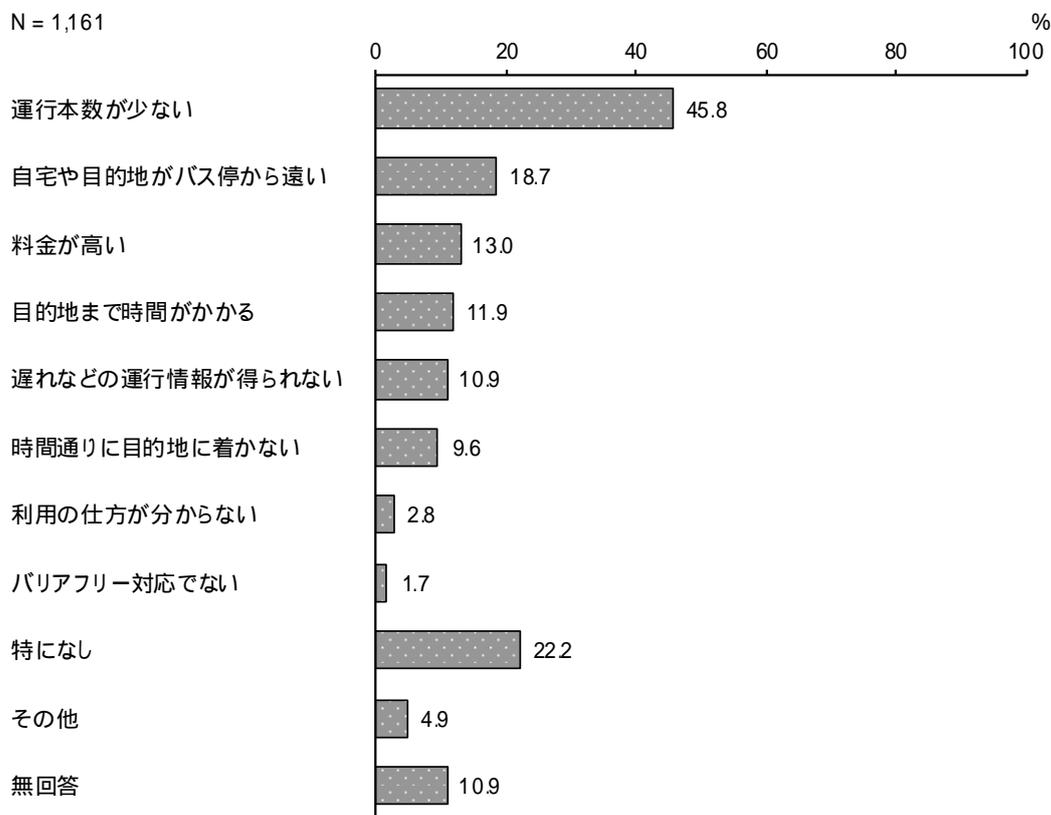
2 位

3 位

(2) バスの場合

- バスを利用しての外出や移動がしにくいと感じる理由は
「運行本数が少ない」が 45.8% -

「運行本数が少ない」の割合が 45.8%と最も高く、次いで「特になし」の割合が 22.2%、「自宅や目的地がバス停から遠い」の割合が 18.7%となっています。



【属性別比較】

性別で見ると、男性・女性ともに「運行本数が少ない」（男性43.1%、女性47.7%）が、最も高くなっています。

年代別で見ると、「運行本数が少ない」は50代（58.8%）が、最も高くなっています。

居住地区別で見ると、「運行本数が少ない」は錦田（52.3%）が、最も高くなっています。

単位：%

区分		回答者数（件）	利用の仕方が分からない	自宅や目的地がバス停から遠い	運行本数が少ない	目的地まで時間がかかる	時間通りに目的地に着かない	遅れなどの運行情報が得られない	料金が高い	バリアフリー対応でない	特になし	その他	無回答
性別	男性	494	3.4	17.8	43.1	12.3	9.5	10.3	10.5	1.4	25.3	4.5	9.1
	女性	650	2.2	19.7	47.7	11.7	10.0	11.5	15.1	2.0	19.8	5.4	12.0
年代別	10・20代	76	6.6	14.5	53.9	13.2	18.4	28.9	14.5	—	23.7	2.6	3.9
	30代	107	4.7	17.8	47.7	10.3	15.9	12.1	12.1	1.9	25.2	7.5	0.9
	40代	172	3.5	24.4	47.7	15.7	14.5	15.7	15.1	—	18.6	5.8	5.2
	50代	199	1.5	18.6	58.8	19.1	8.5	12.6	19.1	2.0	15.1	7.0	5.5
	60代	201	2.0	24.4	49.3	12.4	12.9	9.5	13.9	2.5	23.4	3.0	10.0
	70代以上	391	2.0	14.8	34.5	6.6	3.3	4.9	8.7	2.3	25.6	4.3	20.2
居住地区別	旧市内	306	3.6	15.4	35.3	10.1	12.1	10.1	11.1	2.0	28.8	5.6	12.4
	北上	214	1.4	18.7	51.4	7.9	11.7	13.6	14.5	1.9	19.2	5.1	11.2
	錦田	176	1.7	15.3	52.3	15.3	5.7	7.4	13.6	0.6	18.8	4.5	10.8
	中郷	200	5.0	23.5	45.5	14.0	6.5	5.5	12.5	1.0	19.0	4.0	10.5

1 位

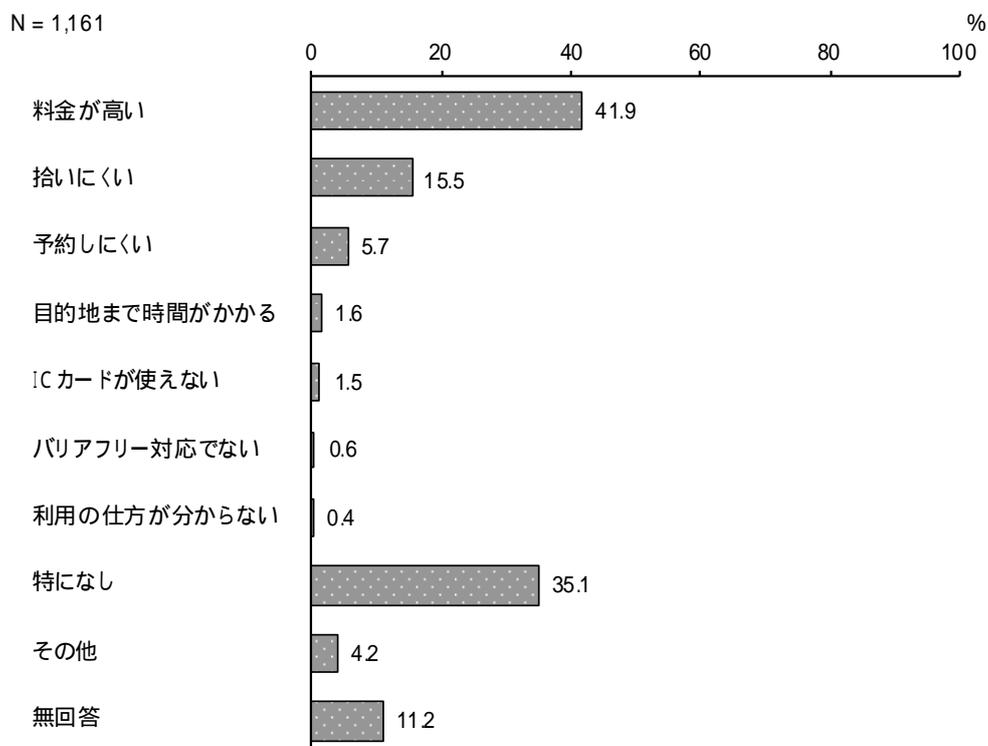
2 位

3 位

(3) タクシーの場合

- タクシーを利用しての外出や移動がしにくいと感じる理由は
「料金が高い」が41.9% -

「料金が高い」の割合が41.9%と最も高く、次いで「特になし」の割合が35.1%、「拾いにくい」の割合が15.5%となっています。



【属性別比較】

性別で見ると、男性・女性ともに「料金が高い」（男性41.1%、女性42.9%）が、最も高くなっています。

年代別で見ると、30代～60代で「料金が高い」が、最も高くなっています。

居住地区別で見ると、旧市内を除き、すべての地区で「料金が高い」が、最も高くなっています。

単位：%

区分		回答者数(件)	利用の仕方が分からない	目的地まで時間がかかる	料金が高い	ICカードが使えない	拾いにくい	予約しにくい	バリアフリー対応でない	特になし	その他	無回答
性別	男性	494	0.6	1.8	41.1	1.8	19.8	6.5	0.6	36.8	3.2	9.3
	女性	650	0.3	1.4	42.9	1.2	12.5	5.2	0.6	33.8	4.9	12.2
年代別	10・20代	76	3.9	5.3	40.8	1.3	27.6	7.9	2.6	42.1	1.3	3.9
	30代	107	—	0.9	50.5	1.9	25.2	8.4	—	32.7	4.7	0.9
	40代	172	0.6	2.3	56.4	2.9	15.7	5.8	0.6	27.9	1.7	5.8
	50代	199	—	1.0	49.7	1.0	18.1	7.0	0.5	31.2	6.5	6.5
	60代	201	—	0.5	47.8	2.0	15.4	4.5	0.5	34.8	2.0	9.0
	70代以上	391	0.3	1.5	26.9	0.8	9.5	4.6	0.5	39.9	5.9	20.5
居住地区別	旧市内	306	1.0	1.3	35.6	1.6	15.4	6.2	1.0	35.9	5.6	14.1
	北上	214	0.5	1.9	44.4	1.9	15.4	5.6	0.9	33.2	3.7	11.7
	錦田	176	—	1.1	40.9	0.6	14.8	6.3	—	39.2	3.4	9.1
	中郷	200	—	1.5	43.5	1.0	16.5	3.0	—	36.0	4.5	10.5

1位

2位

3位

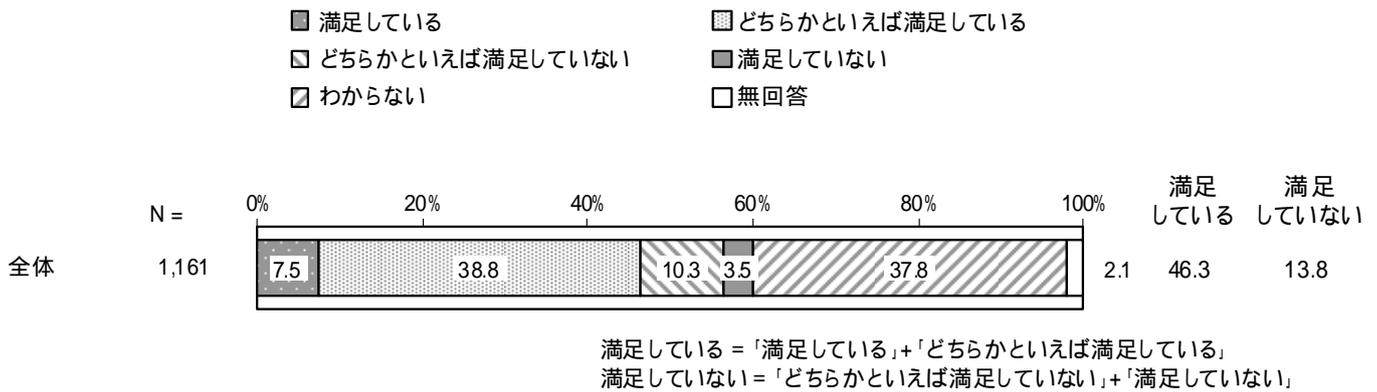
(13) 『文化的環境』について

問 30 あなたは、三島市の文化的環境（鑑賞機会、創作・参加機会、文化財や伝統的街並みの保存・整備など）に満足していますか。（ ）は一つ

- 文化的環境に“満足”している人は46.3% -

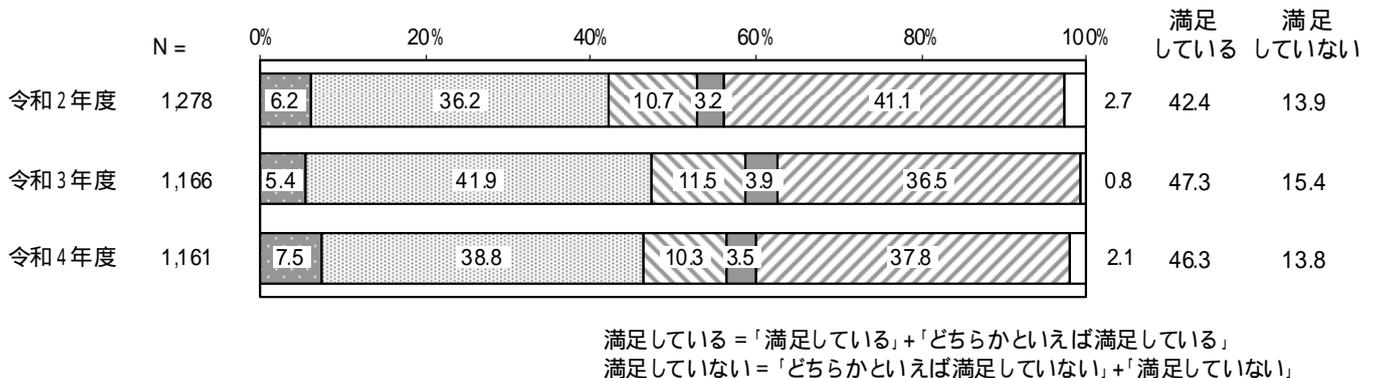
「満足している」（7.5%）と「どちらかといえば満足している」（38.8%）を合わせた“満足している”は46.3%となっています。

「どちらかといえば満足していない」（10.3%）と「満足していない」（3.5%）を合わせた“満足していない”は13.8%となっています。



【経年比較】

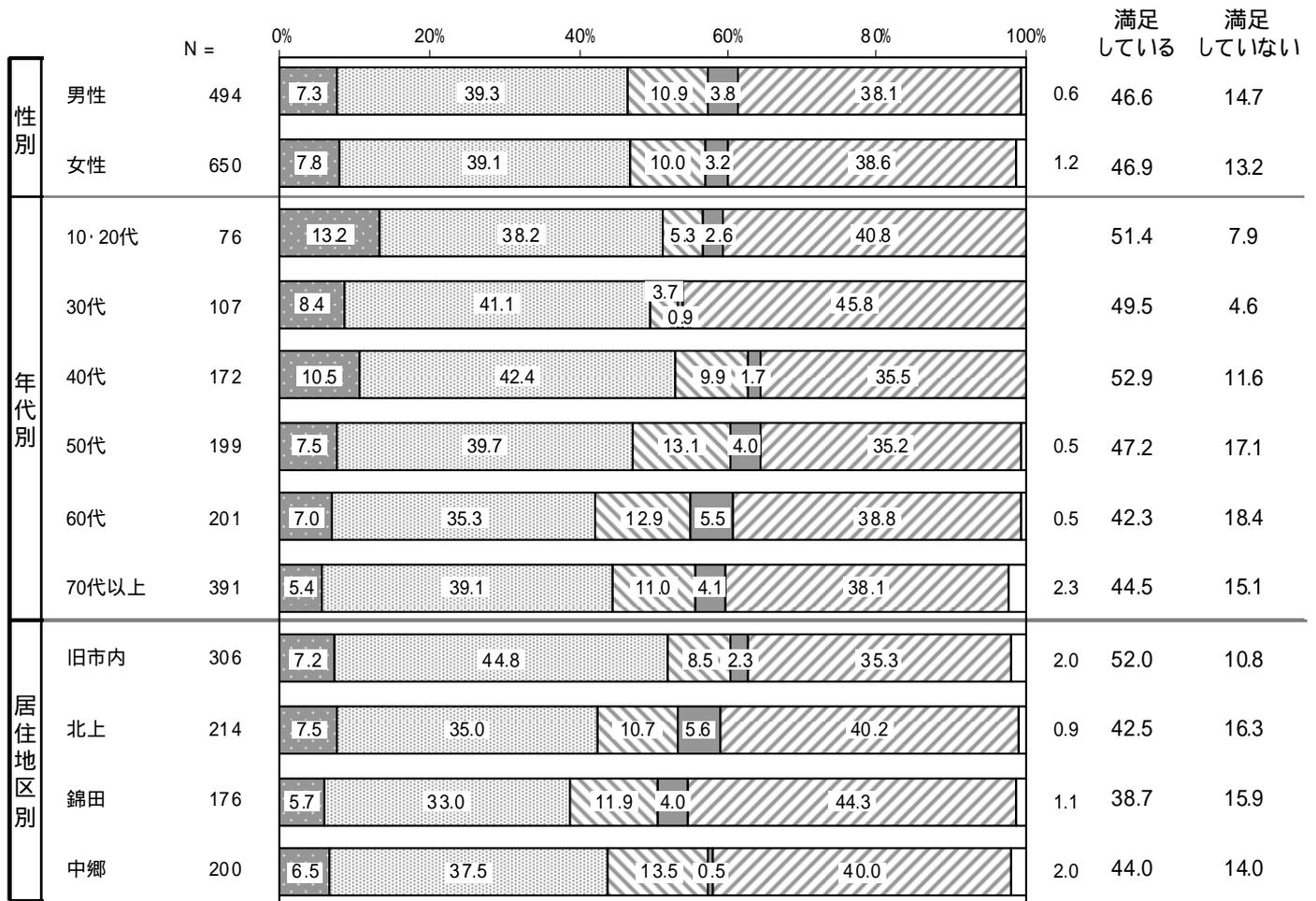
時系列でみると、大きな差異はみられません。



【属性別比較】

性別でみると、“満足している”（男性 46.6%、女性 46.9%）は、大きな差異はみられません。
 年代別でみると、“満足している”は40代（52.9%）が、最も高くなっています。
 居住地区別でみると、“満足している”は旧市内（52.0%）が、最も高くなっています。

- 満足している
- どちらかといえば満足している
- どちらかといえば満足していない
- 満足していない
- わからない
- 無回答



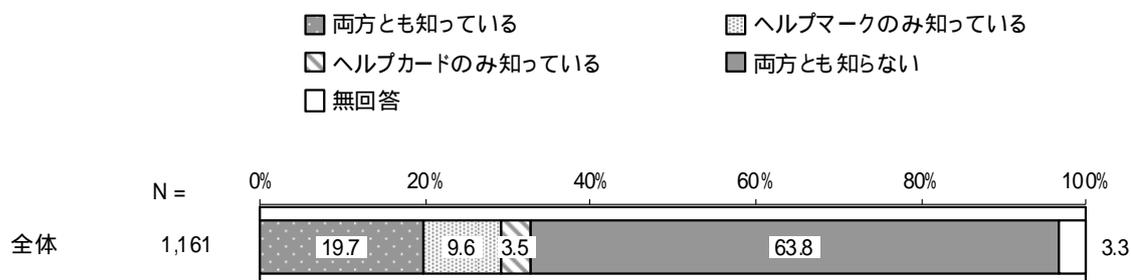
満足している = 「満足している」+「どちらかといえば満足している」
 満足していない = 「どちらかといえば満足していない」+「満足していない」

(14) 『障がいのある人への理解』について

問 31 ヘルプマーク・ヘルプカードを知っていますか？（ ひとつ）

- ヘルプマーク・ヘルプカード、両方とも知っている人は19.7% -

「両方とも知らない」の割合が63.8%と最も高く、次いで「両方とも知っている」の割合が19.7%となっています。

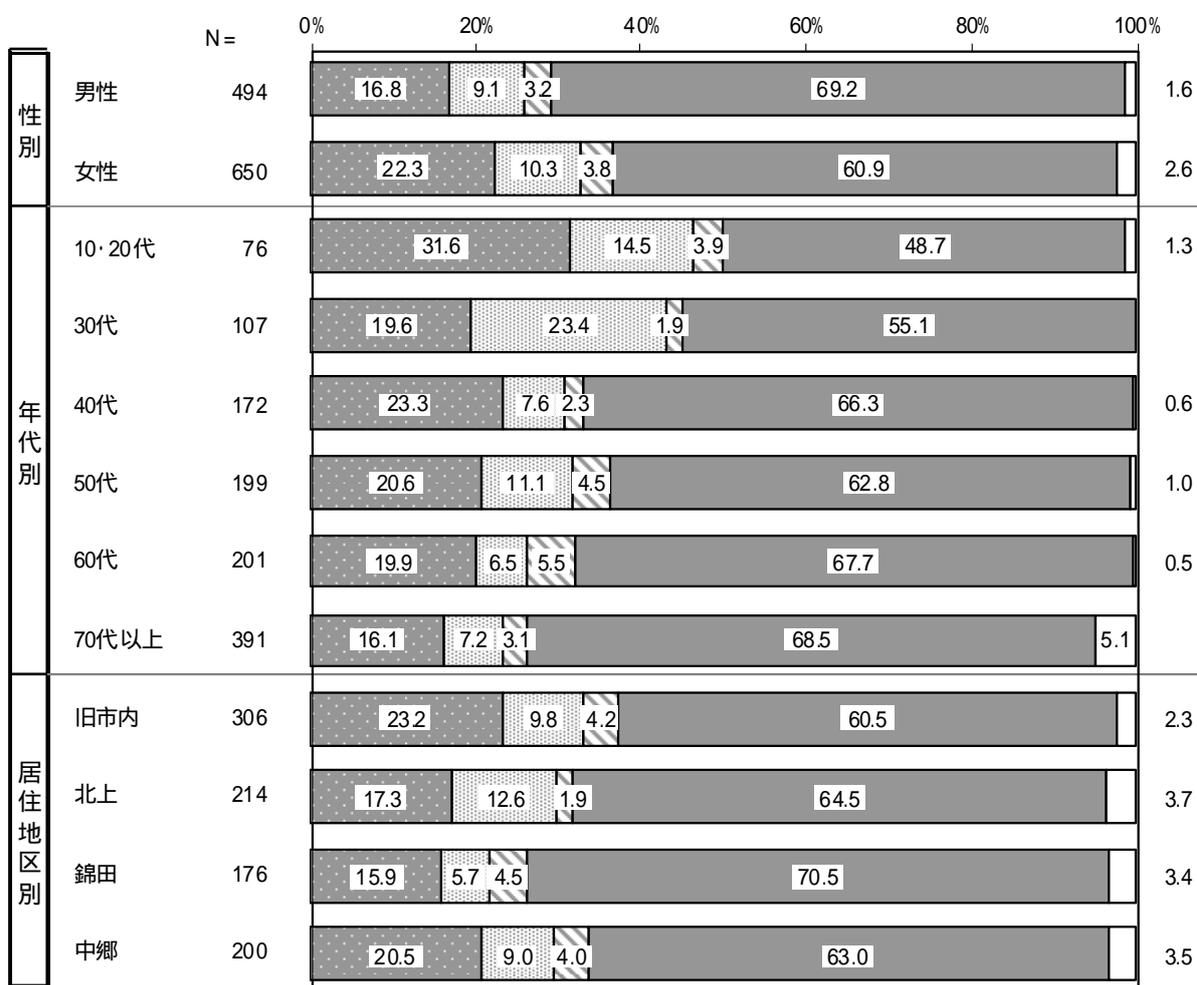


【属性別比較】

性別でみると、「両方とも知らない」は、女性（60.9%）より男性（69.2%）で、割合が高くなっています。

年代別でみると、「両方とも知っている」は10・20代（31.6%）が、最も高くなっている。

居住地区別でみると、「両方とも知らない」は錦田（70.5%）が、最も高くなっている。

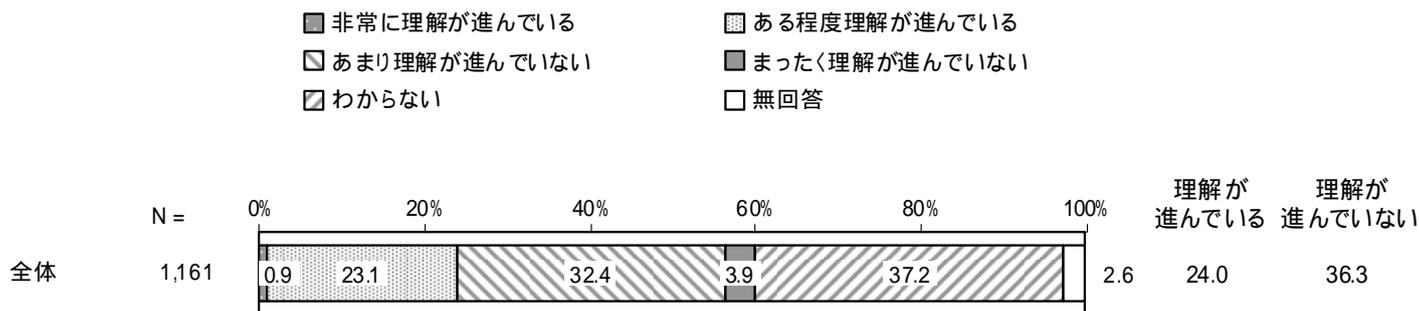


問 32 市民の間に障がいのある人に対する理解が進んでいると感じますか。
(は一つ)

- 障がいのある人に対する“理解が進んでいる”と感じる人は24.0% -

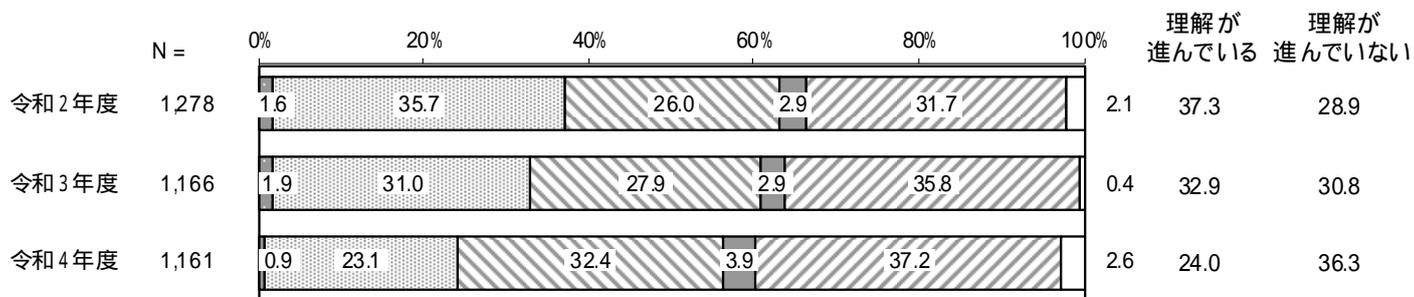
「非常に理解が進んでいる」(0.9%)と「ある程度理解が進んでいる」(23.1%)を合わせた“理解が進んでいる”は24.0%となっています。

「あまり理解が進んでいない」(32.4%)と「まったく理解が進んでいない」(3.9%)を合わせた“理解が進んでいない”は36.3%となっています。



【経年比較】

時系列でみると、“理解が進んでいない”が増加傾向にあります。

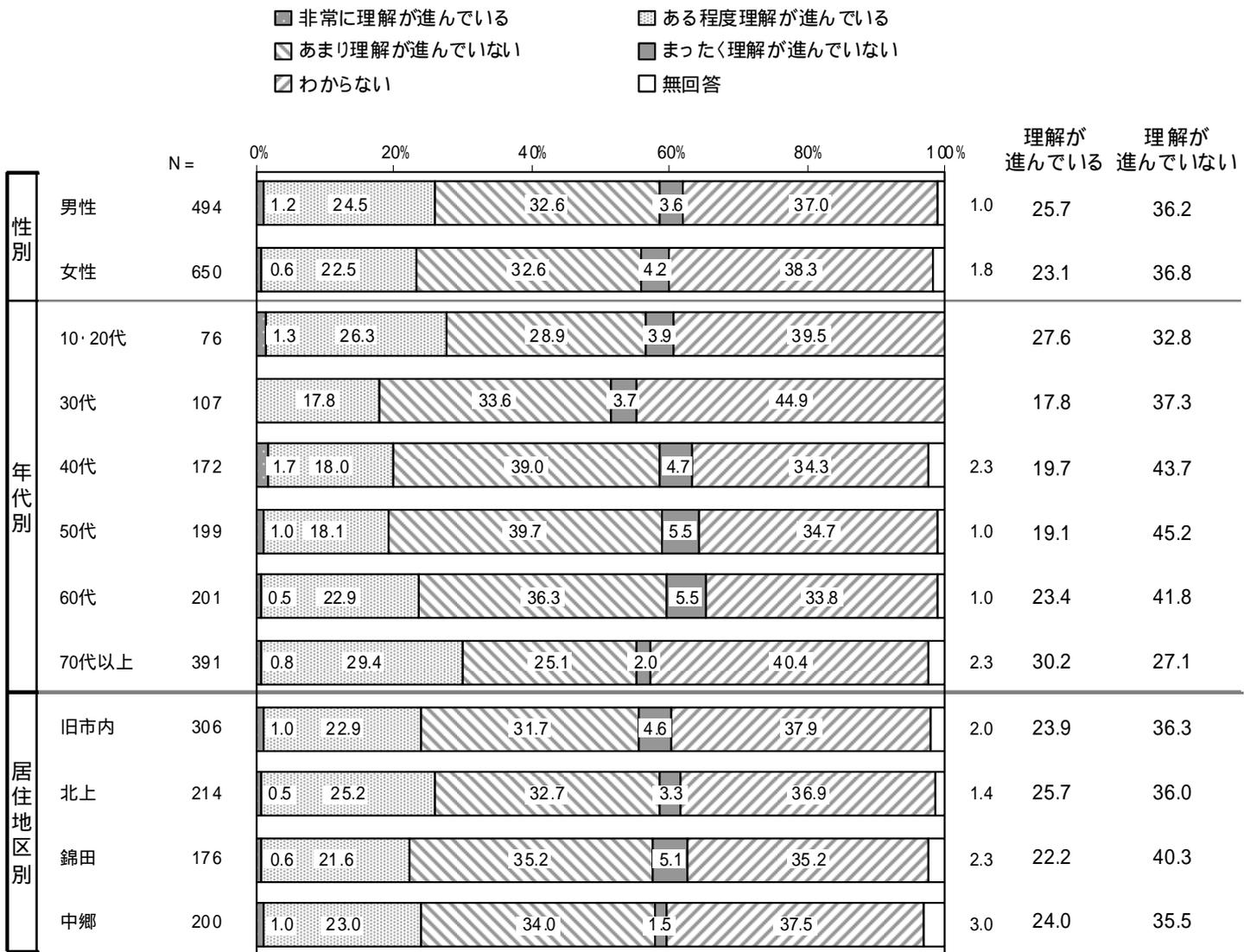


【属性別比較】

性別でみると、“理解が進んでいる”（男性 25.7%、女性 23.1%）は、大きな差異はみられません。

年代別でみると、“理解が進んでいる”は70代以上（30.2%）が、最も高くなっています。

居住地区別でみると、“理解が進んでいる”は北上地区（25.7%）が、最も高くなっています。



理解が進んでいる = 「非常に理解が進んでいる」+「ある程度理解が進んでいる」
 理解が進んでいない = 「あまり理解が進んでいない」+「まったく理解が進んでいない」

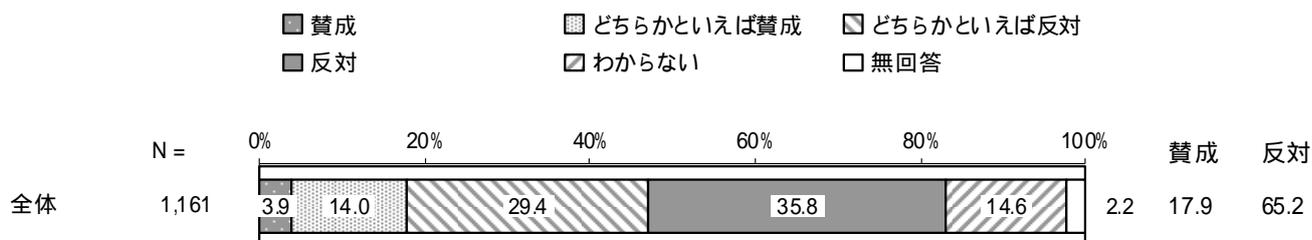
(15)『男女共同参画』について

問 33 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方についてどう思いますか。(一つ)

- 性別役割分担意識に“反対”は65.2% -

「賛成」(3.9%)と「どちらかといえば賛成」(14.0%)を合わせた“賛成”は17.9%となっています。

「どちらかといえば反対」(29.4%)と「反対」(35.8%)を合わせた“反対”は65.2%となっています。



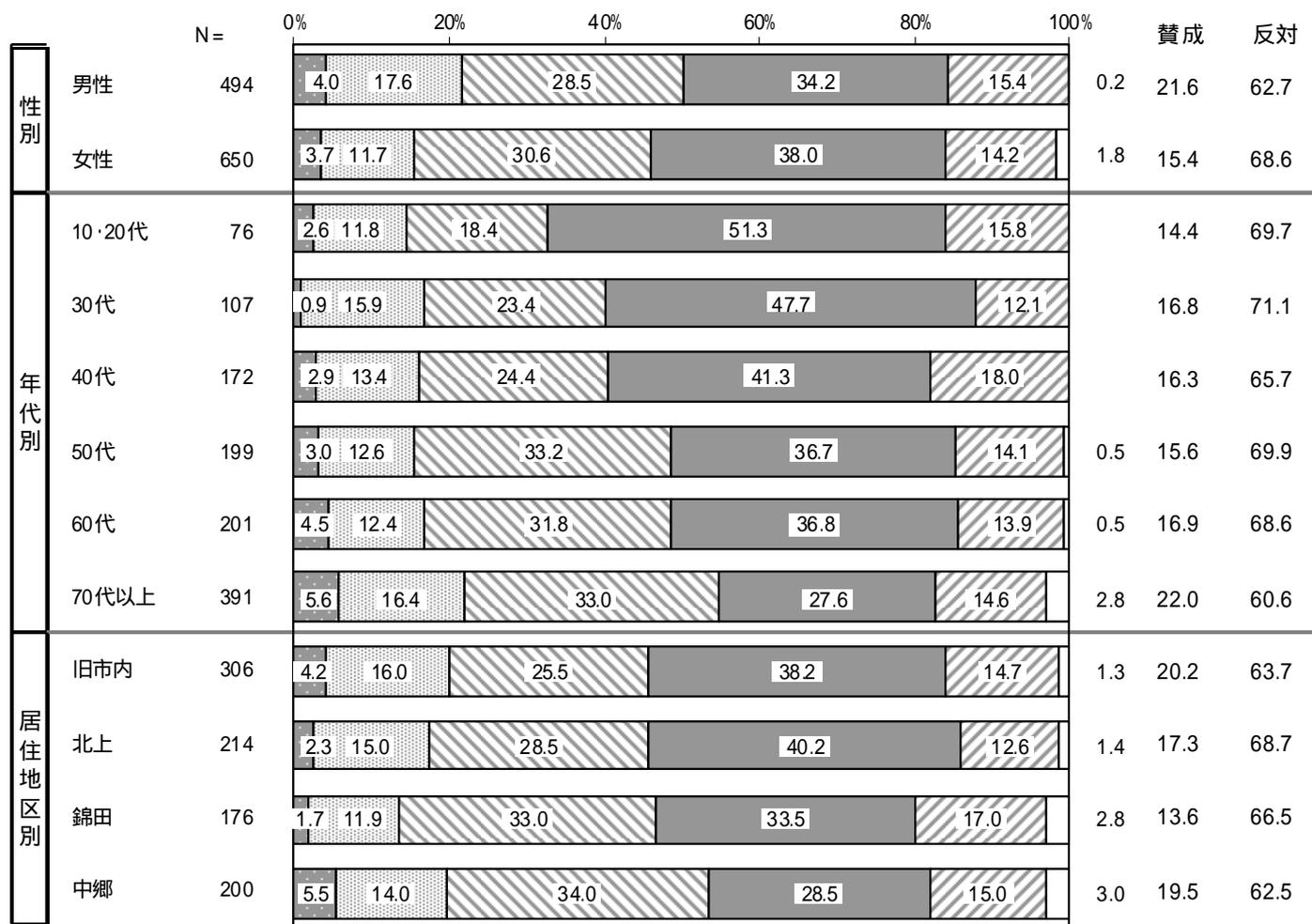
賛成 = 「賛成」+「どちらかといえば賛成」
 反対 = 「どちらかといえば反対」+「反対」

【属性別比較】

性別でみると、“賛成”は、女性(15.4%)より男性(21.6%)で、割合が高くなっています。

年代別でみると、“賛成”は70代以上(22.0%)が、最も高くなっています。

居住地区別でみると、“反対”は北上(68.7%)が、最も高くなっています。



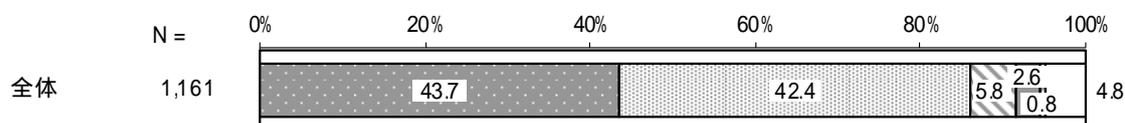
賛成 = 「賛成」+「どちらかといえば賛成」
 反対 = 「どちらかといえば反対」+「反対」

問 34 一般的に女性の働き方で望ましいと思われるものはどれが一番近いですか。
(は一つ)

**- 女性の働き方で望ましいと思われるものは
「ずっと職業を続けるのがよい」が 43.7% -**

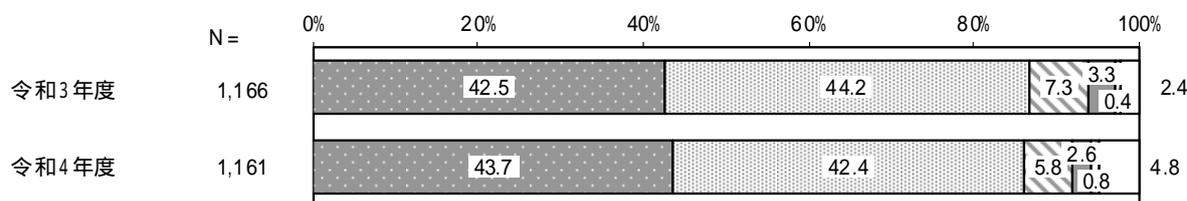
「ずっと職業を続けるのがよい」の割合が 43.7%と最も高く、次いで「子どもができれば職業をやめ、手を離れたら再就職をするのがよい」の割合が 42.4%となっています。

- ずっと職業を続けるのがよい
- ▨ 子どもができれば職業をやめ、手を離れたら再就職をするのがよい
- ▩ 子どもができるまでは職業をもつほうがよい
- 結婚するまでは職業をもつほうがよい
- ▨ 女性は職業をもたないほうがよい
- 無回答



【経年比較】

時系列で見ると、大きな差異はみられません。



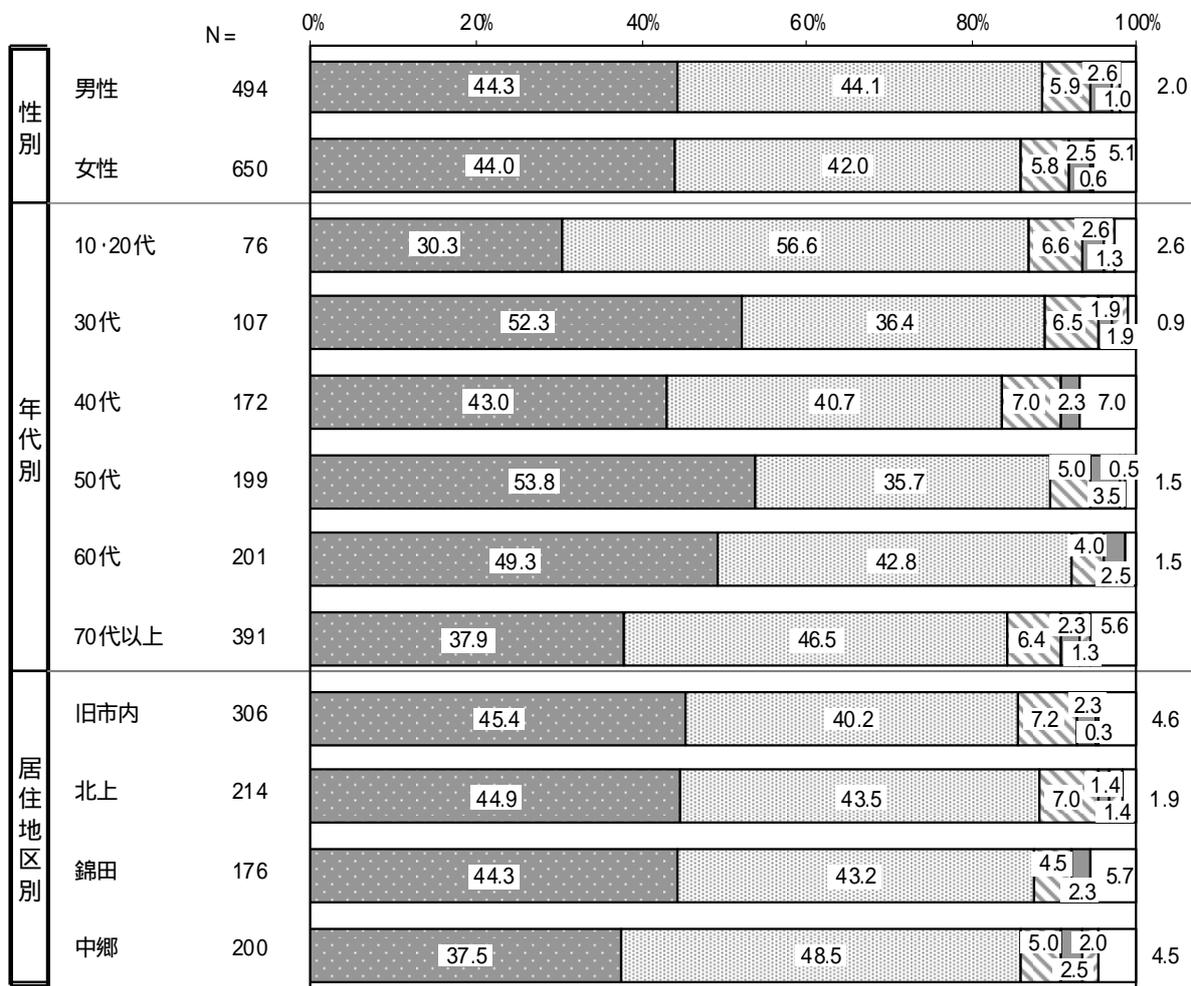
【属性別比較】

性別でみると、男性・女性ともに「ずっと職業を続けるのがよい」（男性 44.3%、女性 44.0%）が、最も高くなっています。

年代別でみると、「子どもができたら職業をやめ、手を離れたら再就職をするのがよい」は10・20代（56.6%）が、最も高くなっています。

居住地区別でみると、「子どもができたら職業をやめ、手を離れたら再就職するのがよい」は中郷（48.5%）が、最も高くなっています。

- ずっと職業を続けるのがよい
- ▨ 子どもができたら職業をやめ、手を離れたら再就職をするのがよい
- ▩ 子どもができるまでは職業をもつほうがよい
- 結婚するまでは職業をもつほうがよい
- ▨ 女性は職業をもたないほうがよい
- 無回答

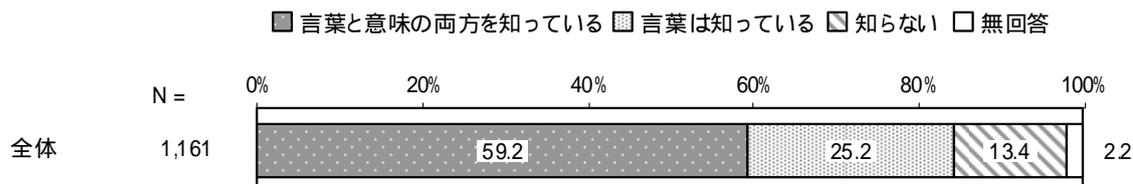


(16)『性的マイノリティ（LGBTQなどの性的少数者）』について

問 35 あなたは性的マイノリティ（LGBTQなどの性的少数者）という言葉を知っていますか。（○は一つ）

- 性的マイノリティ（LGBTQなどの性的少数者）という言葉と意味の両方を知っている人は59.2% -

「言葉と意味の両方を知っている」の割合が59.2%と最も高く、次いで「言葉は知っている」の割合が25.2%、「知らない」の割合が13.4%となっています。

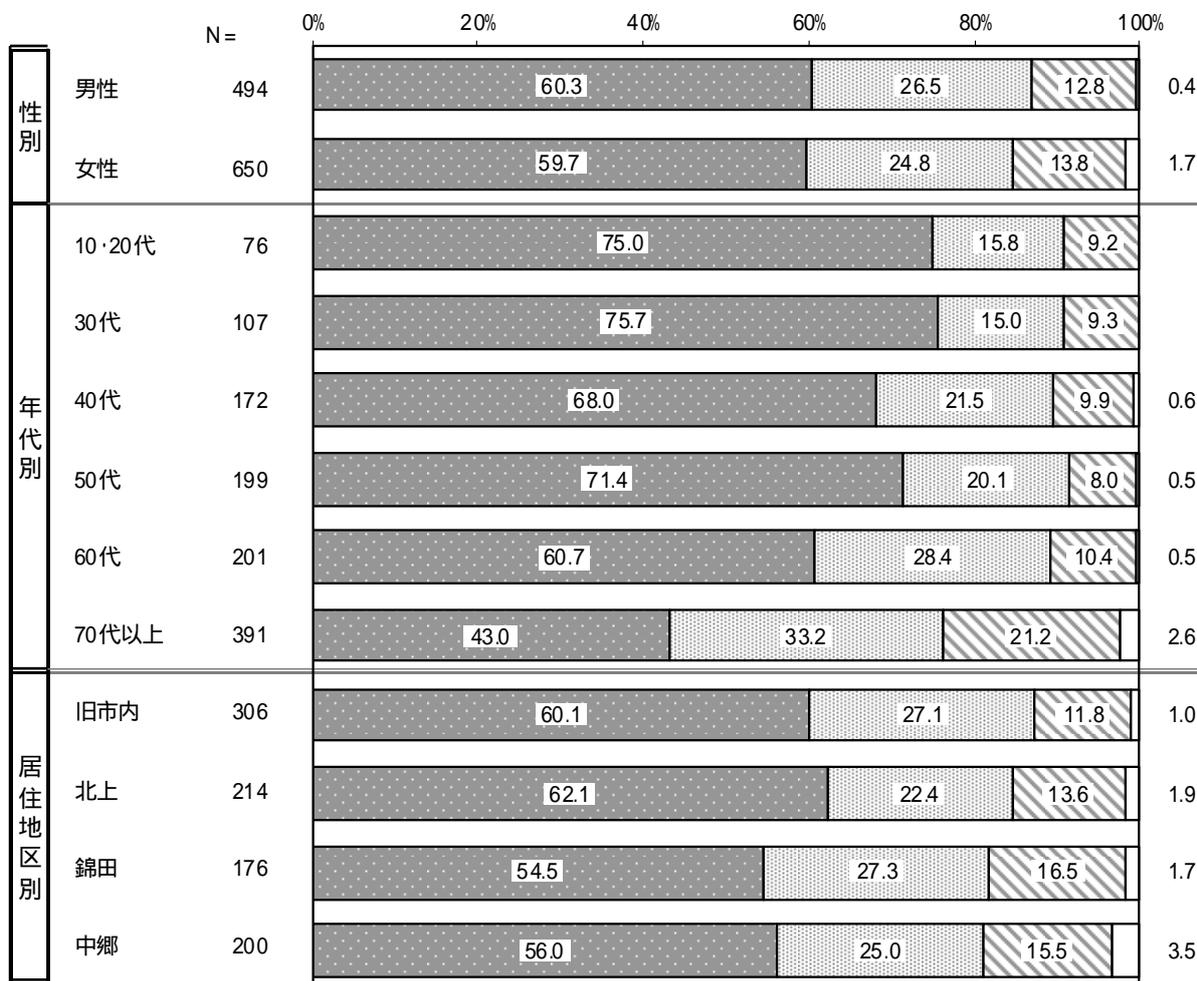


【属性別比較】

性別でみると、大きな差異はみられません。

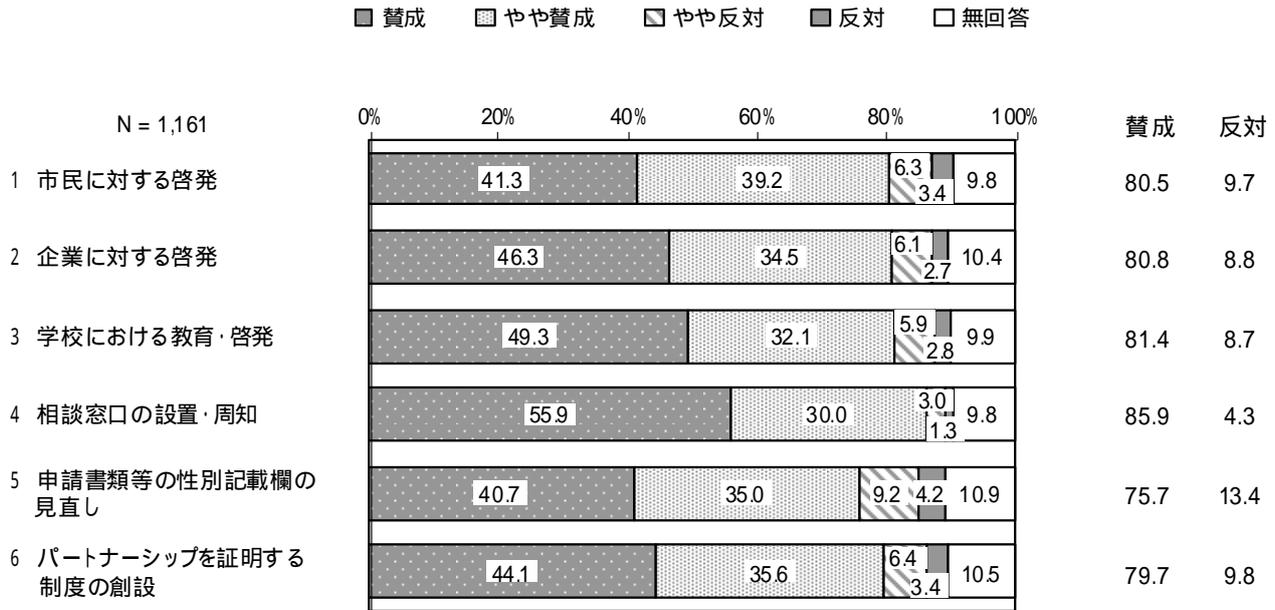
年代別でみると、「言葉と意味の両方を知っている」は70代以上（43.0%）が、最も低くなっています。

居住地区別でみると、「言葉と意味の両方を知っている」は北上（62.1%）が、最も高くなっています。



問 36 性的マイノリティの方々に対する差別や偏見をなくし、生きづらさを解消するために、次のような取組等を行うことについて、あなたの考えに最も近いものをお答えください。1～6の項目ごとに該当する番号を選んでください。
(それぞれ は一つ)

「賛成」と「やや賛成」を合わせた“賛成”の割合が最も高いのは『4 相談窓口の設定・周知』(85.9%) となっています。一方、「やや反対」と「反対」を合わせた“反対”の割合が最も高いのは『5 申請書類等の性別記載欄の見直し』(13.4%) となっています。



賛成 = 「賛成」+「やや賛成」
反対 = 「やや反対」+「反対」

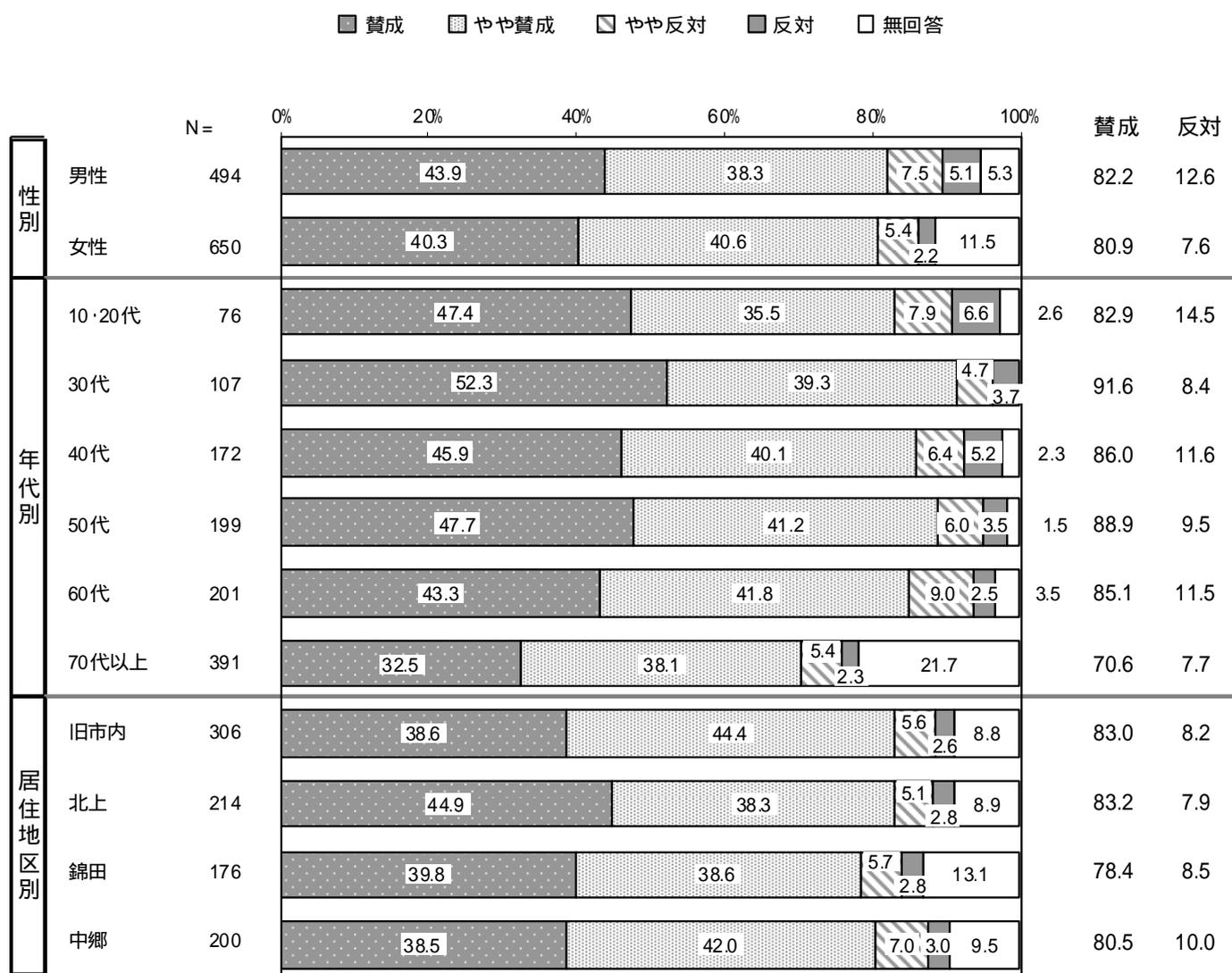
1 市民に対する啓発

【属性別比較】

性別で見ると、“賛成”（男性 82.2%、女性 80.9%）は、大きな差異はみられません。

年代別で見ると、“賛成”は30代（91.6%）が、最も高くなっています。

居住地区別で見ると、“賛成”は北上（83.2%）が、最も高くなっています。



賛成 = 「賛成」+「やや賛成」
 反対 = 「やや反対」+「反対」

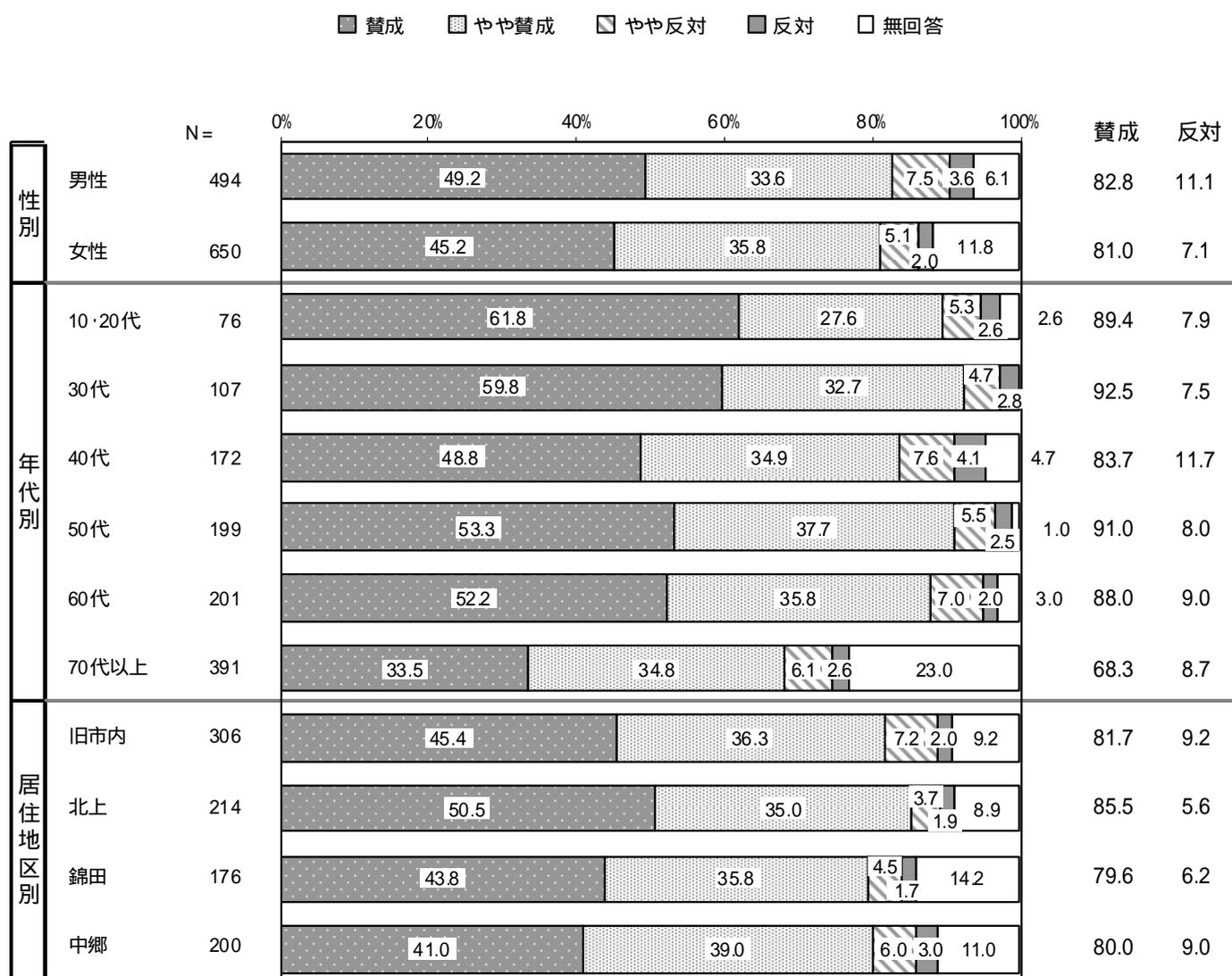
2 企業に対する啓発

【属性別比較】

性別で見ると、“賛成”（男性 82.8%、女性 81.0%）は、大きな差異はみられません。

年代別で見ると、“賛成”は30代（92.5%）が、最も高くなっています。

居住地区別で見ると、“賛成”は北上（85.5%）が、最も高くなっています。



賛成 = 「賛成」+「やや賛成」
 反対 = 「やや反対」+「反対」

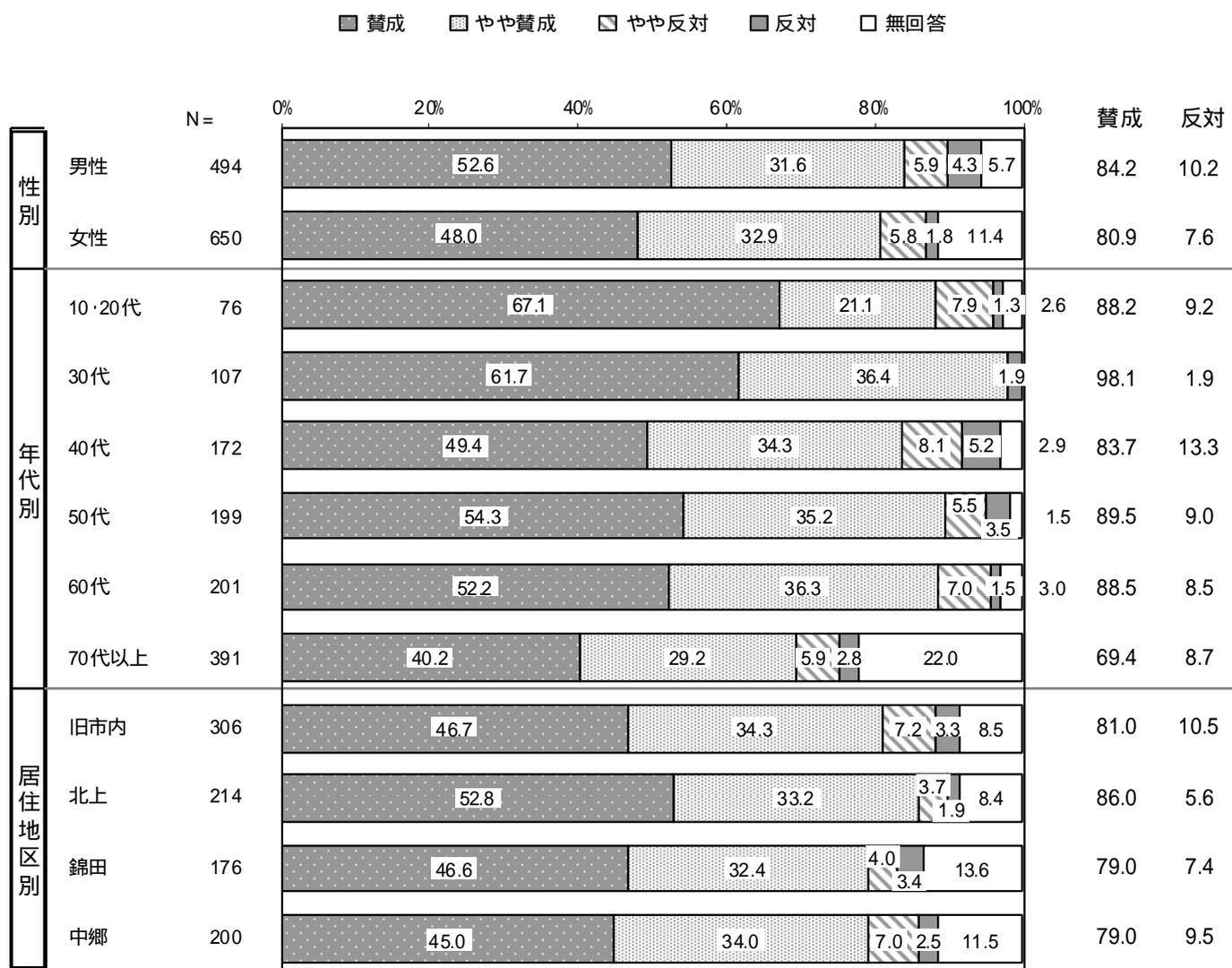
3 学校における教育・啓発

【属性別比較】

性別で見ると、“賛成”（男性 84.2%、女性 80.9%）は、大きな差異はみられません。

年代別で見ると、“賛成”は30代（98.1%）が、最も高くなっています。

居住地区別で見ると、“賛成”は北上（86.0%）が、最も高くなっています。



賛成 = 「賛成」+「やや賛成」
 反対 = 「やや反対」+「反対」

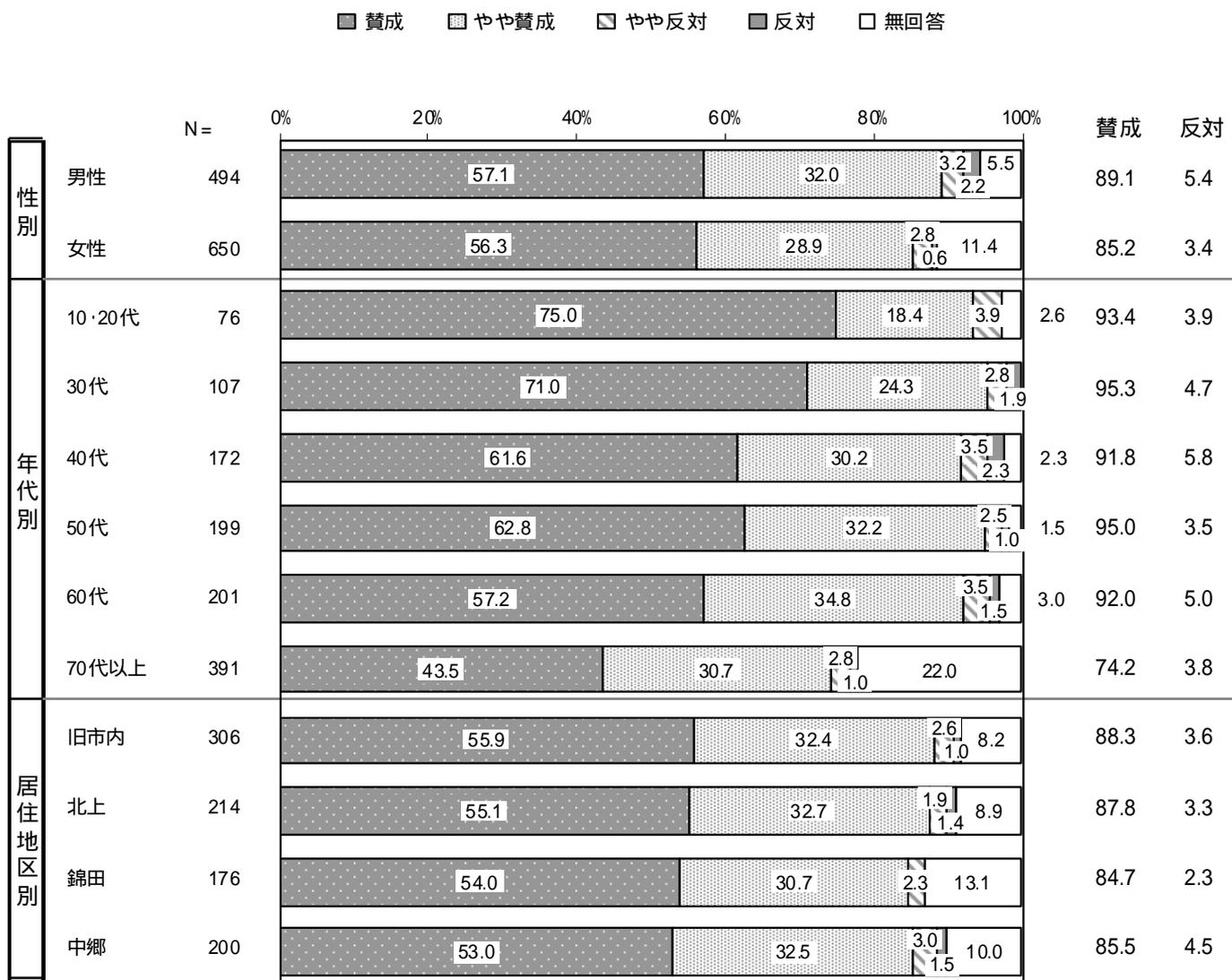
4 相談窓口の設置・周知

【属性別比較】

性別で見ると、“賛成”（男性 89.1%、女性 85.2%）は、大きな差異はみられません。

年代別で見ると、“賛成”は30代（95.3%）が、最も高くなっています。

居住地区別で見ると、“賛成”は旧市内（88.3%）が、最も高くなっています。



賛成 = 「賛成」+「やや賛成」
 反対 = 「やや反対」+「反対」

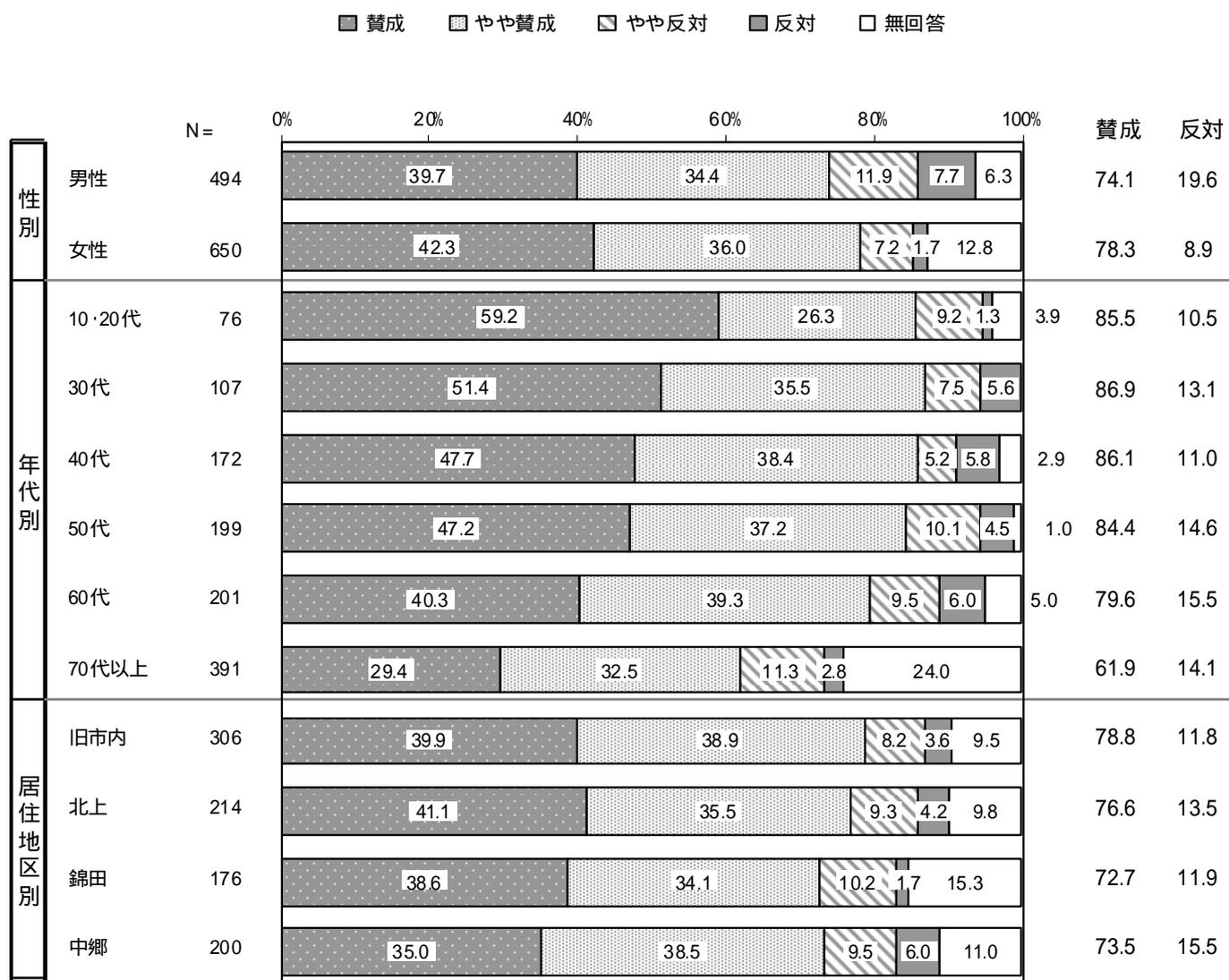
5 申請書類等の性別記載欄の見直し

【属性別比較】

性別でみると、“賛成”（男性 74.1%、女性 78.3%）は、大きな差異はみられません。

年代別でみると、“賛成”は30代（86.9%）が、最も高くなっています。

居住地区別でみると、“賛成”は旧市内（78.8%）が、最も高くなっています。



賛成 = 「賛成」+「やや賛成」
 反対 = 「やや反対」+「反対」

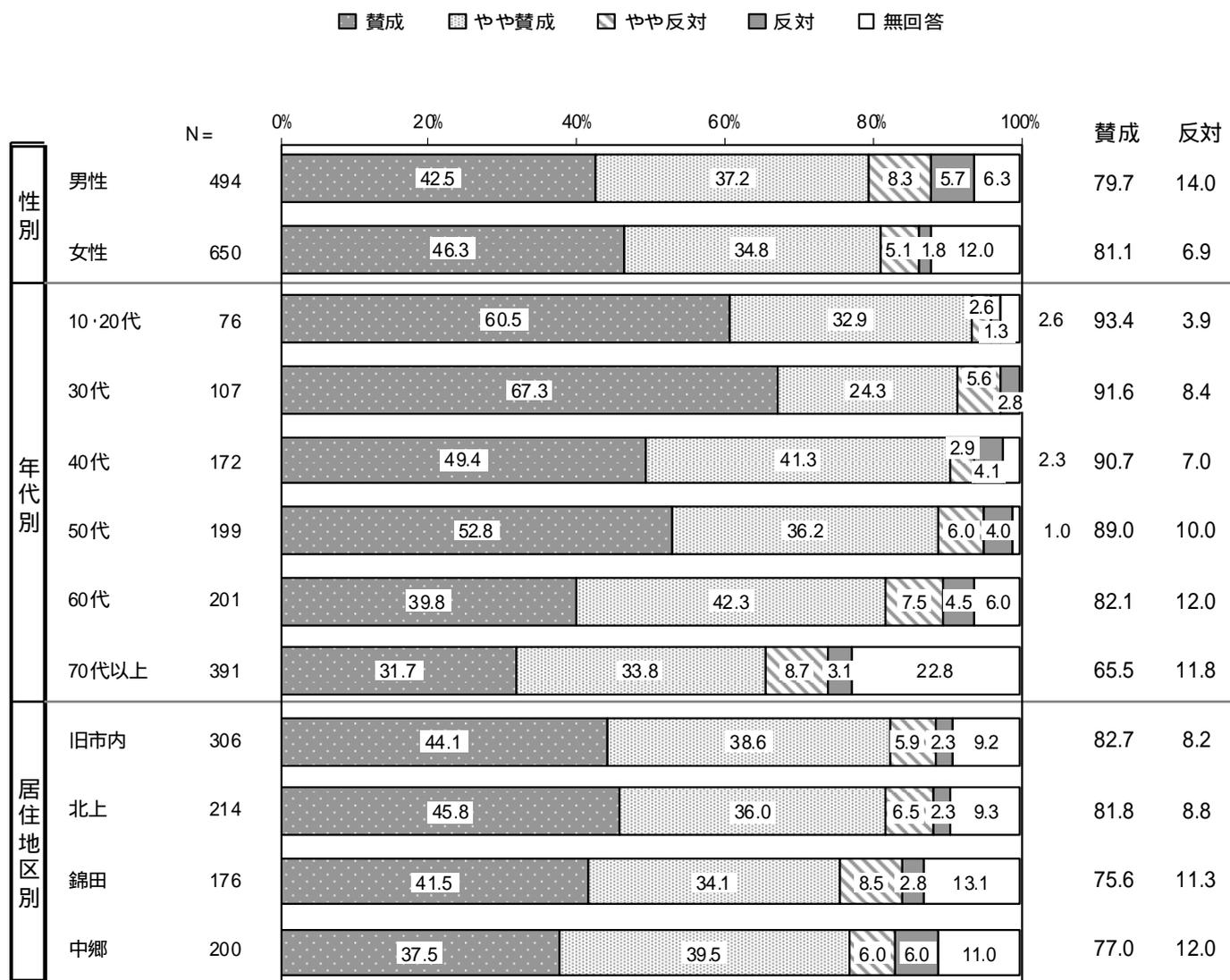
6 パートナーシップを証明する制度の創設

【属性別比較】

性別で見ると、“賛成”（男性 79.7%、女性 81.1%）は、大きな差異はみられません。

年代別で見ると、“賛成”は10・20代（93.4%）が、最も高くなっています。

居住地区別で見ると、“賛成”は旧市内（82.7%）が、最も高くなっています。



賛成 = 「賛成」 + 「やや賛成」
 反対 = 「やや反対」 + 「反対」

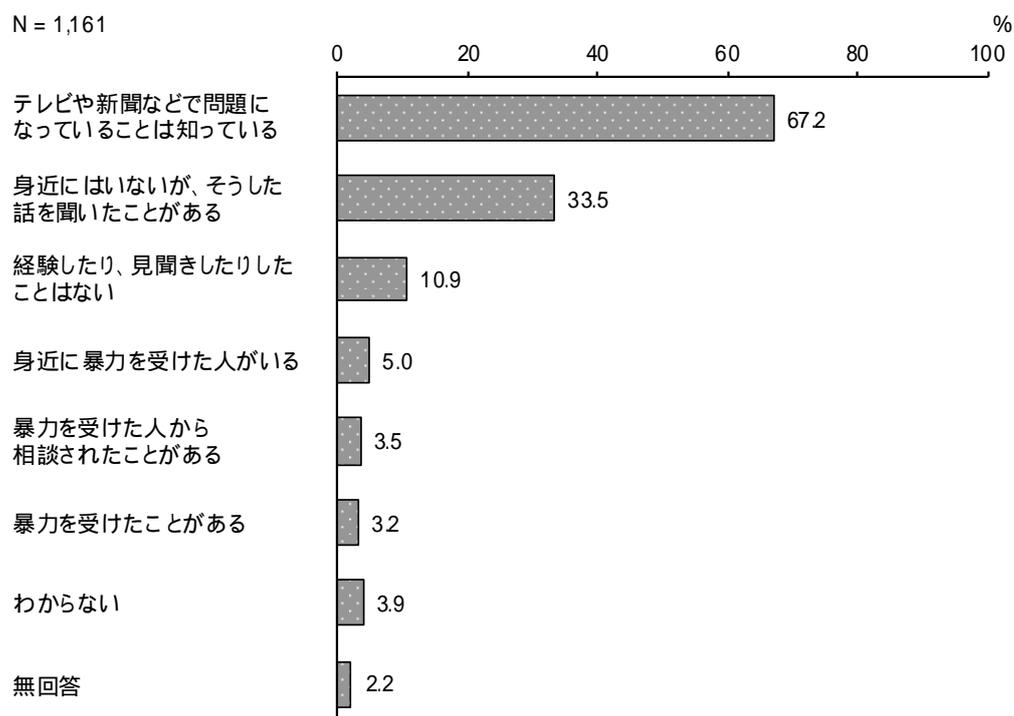
(17)『ドメスティック・バイオレンス』について

問 37 ドメスティック・バイオレンス（DV・夫婦や交際相手など親しい間柄にある男女間の暴力）を過去1年間に経験したり、見聞きしたりしたことがありますか。暴力には、身体的暴力、精神的暴力、性的暴力や経済的暴力などがあります。（はいくつでも）

- DVの経験、見聞きの有無は

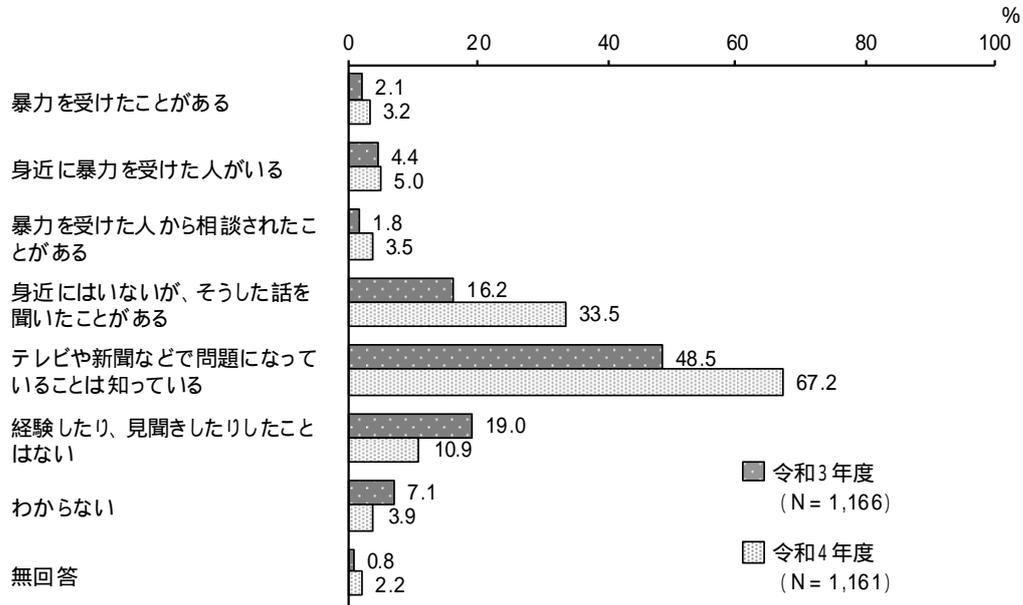
「テレビや新聞などで問題になっていることは知っている」が67.2% -

「テレビや新聞などで問題になっていることは知っている」の割合が67.2%と最も高く、次いで「身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある」の割合が33.5%、「経験したり、見聞きしたりしたことはない」の割合が10.9%となっています。



【経年比較】

時系列でみると、「身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある」「テレビや新聞などで問題になっていることは知っている」が増加し、「経験したり、見聞きしたりしたことはない」が減少しています。



【属性別比較】

性別で見ると、「テレビや新聞などで問題になっていることは知っている」（男性 67.2%、女性 68.6%）は、大きな差異はみられません。

年代別で見ると、「テレビや新聞などで問題になっていることは知っている」は 70 代以上（73.7%）が、最も高くなっています。

居住地区別で見ると、「テレビや新聞などで問題になっていることは知っている」は北上（73.8%）が、最も高くなっています。

単位：%

区分		回答者数（件）	暴力を受けたことがある	身近に暴力を受けた人がいる	暴力を受けた人から相談されたことがある	身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある	テレビや新聞などで問題になっていることは知っている	経験したり、見聞きしたりしたことはない	わからない	無回答
性別	男性	494	1.0	2.2	2.4	34.0	67.2	14.2	4.7	0.4
	女性	650	4.9	7.2	4.5	33.7	68.6	8.6	3.4	1.7
年代別	10・20代	76	5.3	5.3	2.6	31.6	60.5	17.1	5.3	—
	30代	107	6.5	7.5	4.7	34.6	61.7	7.5	5.6	—
	40代	172	2.9	4.7	4.7	34.9	59.3	16.3	1.2	0.6
	50代	199	3.5	3.0	3.5	33.7	64.8	15.1	1.0	—
	60代	201	2.5	6.0	4.0	33.3	73.1	9.0	2.5	—
	70代以上	391	2.3	5.1	2.8	34.0	73.7	7.7	6.6	3.1
居住地区別	旧市内	306	4.6	6.2	3.9	32.0	70.9	10.5	2.6	1.3
	北上	214	1.9	4.7	3.3	32.2	73.8	8.9	4.2	1.4
	錦田	176	2.3	3.4	3.4	34.7	61.9	13.1	5.7	2.3
	中郷	200	2.5	5.0	3.5	40.0	64.5	8.0	3.0	3.0

1 位

2 位

3 位